Forum on Information Technology 2015

第14回情報科学技術フォーラム

プログラム

FIT2015実行委員長･プログラム委員長ご挨拶	……	1
インフォメーション	……	2
交通案内図	……	3
キャンパス図・会場図	……	4
各種イベントのご案内	……	7
プログラム(タイムテーブル)	……	8
会場別スケジュール	……	12
イベント企画概要	……	15
講演論文集の内容	……	38
展示会のご案内	……	39
査読付き論文について	……	40
一般講演プログラム	……	41
論文査読者一覧	……	61
FIT委員名簿	……	63

平成27年9月15日（火）～17日（木）
愛媛大学　城北キャンパス

懇親会　9月16日(水)　18:30より
リジェール松山

FIT2015本部　愛媛大学　城北キャンパス　校友会館2F サロン
臨時電話 080-6624-2658（会期中のみ通話可能）

【主催】
一般社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

一般社団法人 電子情報通信学会
The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
情報・システムソサイエティ（ISS）　Information and Systems Society
ヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）　Human Communication Group

【共催】 国立大学法人　愛媛大学

【後援】 公益財団法人松山観光コンベンション協会
一般社団法人愛媛県観光物産協会

FIT2015 実行委員長・プログラム委員長 ご挨拶

FIT2015 実行委員会 委員長
住田　一男
東芝リサーチ・コンサルティング（株）／（株）東芝

FIT2015 プログラム委員会 委員長
佐藤　敦
日本電気（株）メディア情報研究所

今回、第 14 回目を迎える FIT2015 は、愛媛大学 城北キャンパスでの開催となります。

FIT2015 は船井業績賞受賞記念講演、研究会等からの意欲的な提案による 15 件のイベント企画セッション、査読付き論文・一般論文からなる一般講演セッションで構成されています。なお、査読付き論文を含む一般講演数は 587 件を数えます。

本年度の船井業績賞は、この四半世紀に渡って並列計算機の世界的権威であり、トップリーダーであり続けている希有な研究者・技術者であり、オンチップの相互結合網、Stream Processor、低消費電力プロセッサ、GPGPU などの研究を推進し、大きな成果をあげられ、産業界・教育界にも貢献されました、スタンフォード大学教授／ NVIDIA 社 研究担当上級副社長（SVP） William James Dally 氏に贈呈することになり、受賞記念講演をしていただきます。船井業績賞受賞記念講演については、一般の方々にも広く聴講いただきたいという趣旨で、無料公開講演としております。

一般講演セッションのプログラム編成には、情報処理学会各研究会、電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、および、ヒューマンコミュニケーショングループ各研究専門委員会のご協力をいただきました。ここに FIT2015 開催に関するご協力に深く感謝いたします。

最後になりますが、会場をご提供くださいました愛媛大学様、ならびに、開催準備と運営に多大なご尽力をいただきました現地実行委員会の皆様に深く御礼申し上げます。

―インフォメーション―

■総受付（インフォメーションコーナー）［校友会館 1F］
受付時間：15 日（火）8:30-16:30　16 日（水）8:30-16:30　17 日（木）8:30-15:00
各種受付、講演論文集・DVD-ROM 販売、問合せ窓口

■ FIT2015 本部・手荷物預かり［校友会館 2F］
臨時電話 080-6624-2658（会期中のみ）

■聴講参加費［プログラム・参加章・DVD-ROM 付き］（税込）
正会員：12,000 円　一般非会員：24,000 円　学生：無料（プログラム・参加章のみ）
ただし、船井業績賞受賞記念講演／イベント企画「地域を活かす、地域で活きる ICT」：限定参加は無料（会員・非会員不問。参加章のみ）

■講演論文集・DVD-ROM（税込）
講演論文集セット（全論文集・DVD-ROM・カバー付き）：個人購入・法人購入共 60,000 円
講演論文集各分冊：個人購入 13,000 円　/　法人購入 16,000 円
講演論文集 DVD-ROM：個人購入 9,000 円 / 法人購入 56,000 円 / 学割会場販売：4,000 円
*DVD-ROM には一般講演全論文とプログラム収録

■懇親会
日時：9 月 16 日（水）18:30-20:30
会場：リジェール松山（松山市駅より徒歩 5 分）　8F クリスタルホール
受付：FIT2015 総合受付（当日受付も行う予定ですが、参加いただける人数に限りがありますので、ご了承ください。）
参加費（税込）：　一般（正会員・非会員）5,000 円、学生 2,000 円
　　一般講演セッション座長・査読付き論文査読者 3,000 円

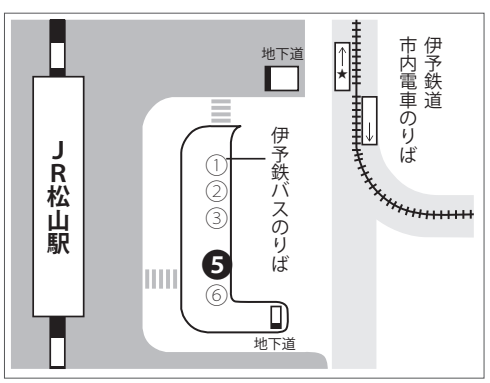
■お知らせ事項
［連絡掲示板］
FIT に関する周知および伝言等は、総受付前に設置する「連絡掲示板」に掲示しますのでご注意下さい。各会場への個別の連絡や館内アナウンス等は致しません。
［休憩室］：講 22（収容人数 54 名）、EL11（収容人数 26 名）、EL14（収容人数 27 名）、EL25（収容人数 18 名）
［無線 LAN のご利用］
えひめ Free Wi-Fi (詳しくは下記をご参照ください)
愛媛県庁 Website　https://www.pref.ehime.jp/h12600/wifi/osirase260822.html
愛媛大学 Website　http://www.cite.ehime-u.ac.jp/news-php/popup.php?id=20141023163321
［食堂］
校友会館 1F「レストラン　セ・トリアン（生協）」　営業時間 11:30-14:00
大学会館 1F「カファテリア食堂パルト（生協）」　営業時間 11:00-14:00　17:00-19:40
愛大ミューズ 1F「アクアカフェ（生協）」　営業時間 10:00-16:30
［売店／お土産・観光案内］
愛大ショップえみか（生協）/ お土産コーナー　営業時間 10:00-17:30
生協ショップ　/ 観光案内　営業時間 10:00-17:00
［喫煙について］
キャンパス図をご参照ください。
［駐車場について］
一般参加者用の駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。障がい者用駐車場はキャンパス図をご参照ください。会場へは、公共交通機関等をご利用のうえ、お越し下さいますようお願い致します。
［会場（愛媛大学）までの交通］
・松山空港から空港リムジンバスで JR 松山駅まで 15 分、松山市駅まで 23 分
・JR 松山駅・松山市駅より伊予鉄道市内電車「赤十字病院前」下車約 2 ～ 5 分
・JR 松山駅より伊予鉄バス「愛媛大学前」下車約 2 ～ 5 分
・松山空港から会場までタクシーで約 20 分
・タクシー会社　愛媛近鉄タクシー：089-924-6111

■今後の FIT・大会情報
・FIT2016 第 15 回情報科学技術フォーラム
　会期：2016 年 9 月 7 日（水）～ 9 日（金）　会場：富山大学
・情報処理学会 第 78 回全国大会
　会期：2016 年 3 月 10 日（木）～ 12 日（土）　会場：慶應義塾大学　矢上キャンパス
・電子情報通信学会 2016 年総合大会
　会期：2016 年 3 月 15 日（火）～ 18 日（金）　会場：九州大学

交通案内図

※空港リムジンバスの時刻表は8月初旬に伊予鉄道 Web ページ（http://www.iyotetsu.co.jp/bus/limousine/airport/）で公開予定です。

● JR 松山駅前
伊予鉄道市内電車のりば



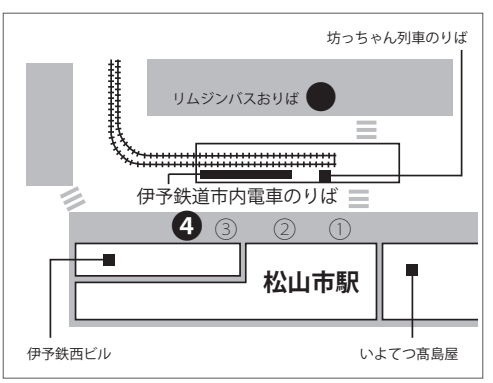
伊予鉄道市内電車

JR 松山駅前～赤十字病院前
環状線【古町方面行き】路線番号 **1**（約 16 分）　160 円
地下道を通り★ののりばから乗車

松山空港リムジンバス

空港からのリムジンバスは❺あたりに停車
空港へのリムジンバスののりば　❺
約 15 分／ 310 円

● 松山市駅前
伊予鉄道市内電車のりば



伊予鉄道市内電車

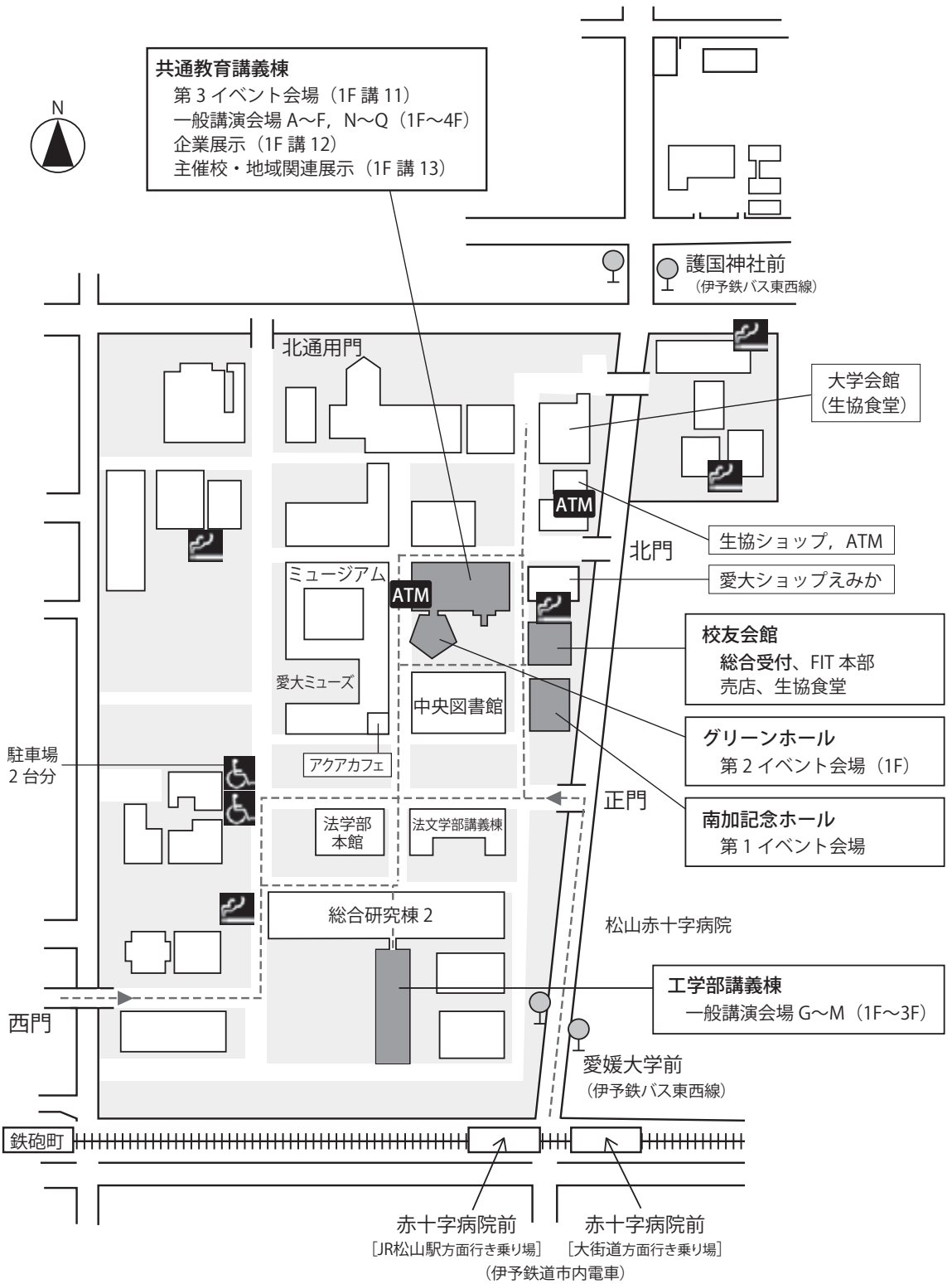
松山市駅前～赤十字病院前
環状線【大街道方面行き】路線番号 **2**（約 17 分）　160 円

松山空港リムジンバス

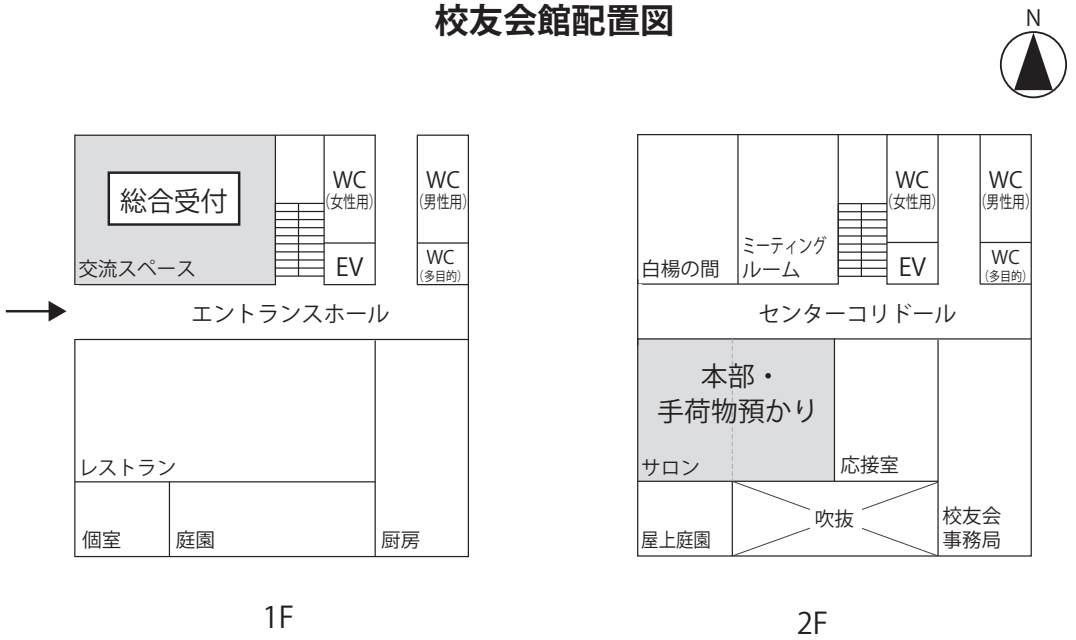
空港からのリムジンバスは●あたりに停車
空港へのリムジンバスののりば　❹
約 20 分／ 410 円

※伊予鉄道市内電車は 10 分間隔で運転しております。1Day チケット 500 円、2Day チケット 800 円（JR 松山駅観光案内所（JR 松山駅構内）・いよてつチケットセンター（松山市駅構内）で販売。1Day チケットは市内電車内でも購入可能）。
伊予鉄道 Web ページ：http://www.iyotetsu.co.jp/

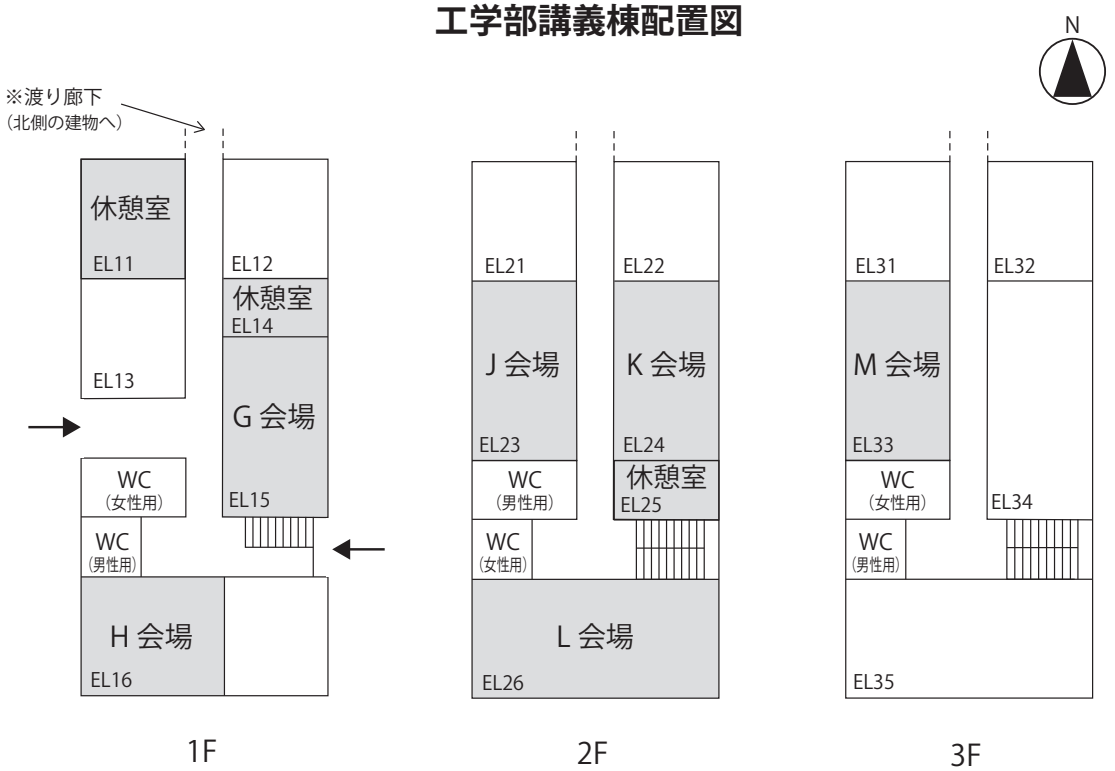
愛媛大学キャンパス図


共通教育講義棟
第 3 イベント会場（1F 講 11）
一般講演会場 A〜F，N〜Q（1F〜4F）
企業展示（1F 講 12）
主催校・地域関連展示（1F 講 13）
N
護国神社前
（伊予鉄バス東西線）
北通用門
大学会館
（生協食堂）
ATM
生協ショップ，ATM
北門
ミュージアム
ATM
愛大ショップえみか
校友会館
総合受付、FIT 本部
売店、生協食堂
愛大ミューズ
中央図書館
グリーンホール
第 2 イベント会場（1F）
駐車場
2 台分
アクアカフェ
正門
法学部
本館
法文学部講義棟
南加記念ホール
第 1 イベント会場
総合研究棟 2
松山赤十字病院
工学部講義棟
一般講演会場 G〜M（1F〜3F）
西門
愛媛大学前
（伊予鉄バス東西線）
鉄砲町
赤十字病院前
［JR松山駅方面行き乗り場］
赤十字病院前
［大街道方面行き乗り場］
（伊予鉄道市内電車）

校友会館配置図

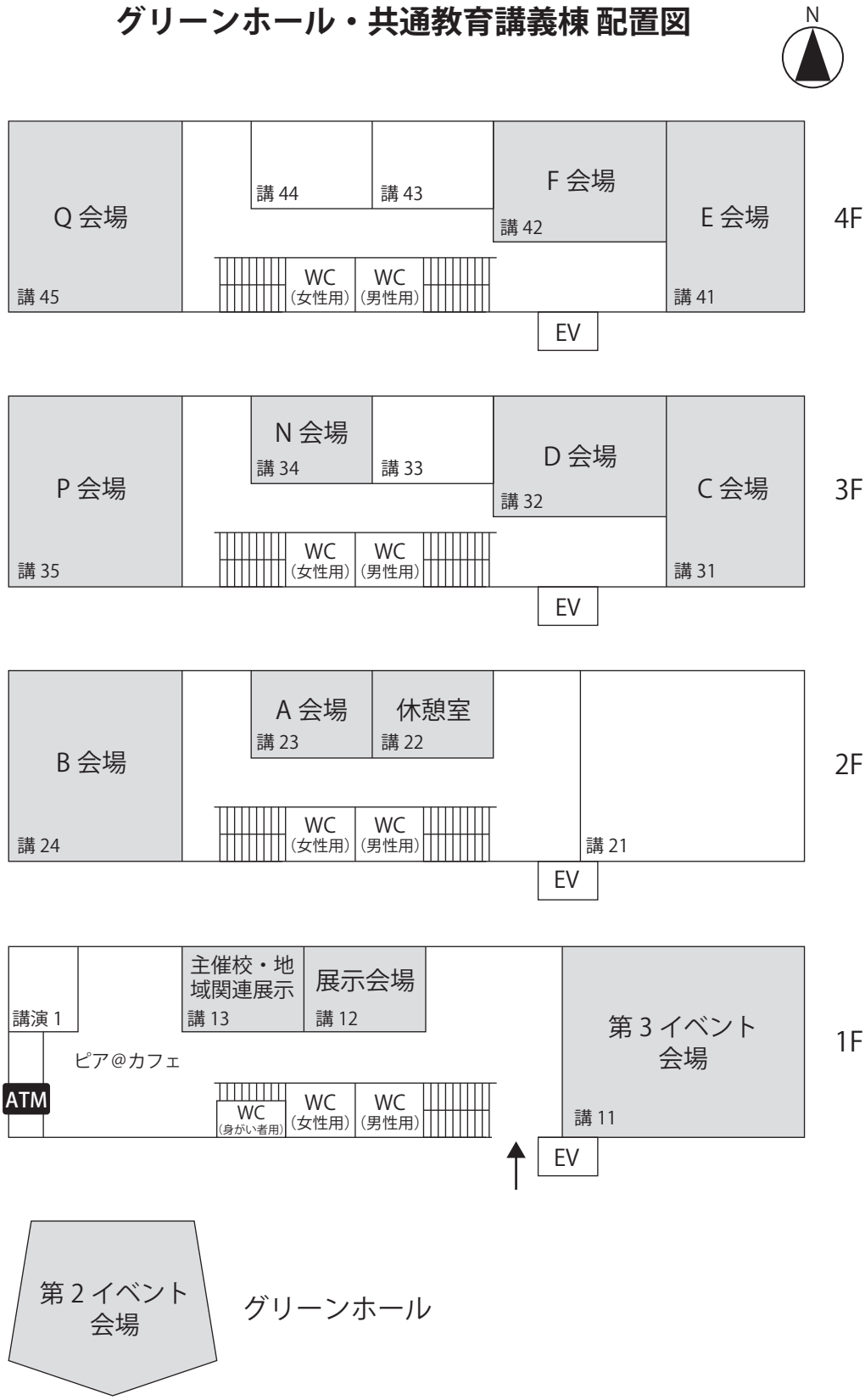


工学部講義棟配置図



※身がい者の方も利用できるエレベータは，渡り廊下でつながっている北側の建物に設置されています.

グリーンホール・共通教育講義棟 配置図



各種イベントのご案内

■船井業績賞受賞記念講演　16 日（水）14:00-15:15　【無料公開】

第 1 イベント会場（南加記念ホール）
「Efficiency and Programmability: The Challenges of Future Computing」
William J Dally
Professor (Research) of EE and CS, Stanford University
Chief Scientist and Senior Vice President of Research, NVIDIA Corporation

■ FIT 学術賞表彰式　16 日（水）13:00-13:50

第 1 イベント会場（南加記念ホール）
FIT2015 船井業績賞・船井ベストペーパー賞・論文賞／ FIT2014 ヤングリサーチャー賞

■イベント企画

第 1 イベント会場（南加記念ホール）
- 15 日 13:00-15:00　地域を活かす、地域で活きる ICT【無料公開】
- 15 日 15:30-17:30　地方における実践的人材育成
- 16 日 15:30-17:30　今日からあなたもビッグデータ活用者 ～オープンデータ、クラウドサービスの波に乗れ～
- 17 日　9:30-12:00　医療用ソフトウェアの最新動向：高信頼設計、法規制、および、ビジネス展開

第 2 イベント会場（講義棟 1 階 グリーンホール）
- 15 日　9:30-12:00　スマートデバイスやクラウドを用いた教育・学習インフラとその活用技術
- 15 日 13:00-15:00　IT によって教育はどのように変わるか？
- 15 日 15:30-17:30　学術研究におけるビッグデータの安全な活用はどこまで可能か？：日本の研究力の飛躍的向上に向けて
- 16 日　9:30-12:00　新世代 XXX 乗っ取り作戦
- 16 日 15:30-17:30　災害コミュニケーションとその課題
- 17 日　9:30-12:00　第 6 回 相磯秀夫杯 デザインコンテスト The 1st RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 予選
- 17 日 13:00-16:00　第 6 回 相磯秀夫杯 デザインコンテスト The 1st RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 本選

第 3 イベント会場（講義棟 1 階 講 11）
- 15 日　9:30-12:00　シンギュラリティ問題が社会に与える影響
- 15 日 13:00-15:00　サイバーワールドの 10 年 ーこれまでと今後の展望ー
- 16 日　9:30-12:00　人工知能のため標準問題としてのゲーム研究
- 16 日 15:30-17:30　オノマトペ利活用技術の最前線
- 17 日　9:30-12:00　ビッグデータ解析のための機械学習技術

■展示会

展示会場：共通教育講義棟 講義室 12
展示期間：15 日（火）9:30 ～ 17:00　16 日（水）9:30 ～ 17:00　17 日（木）9:30 ～ 15:00
出展企業・団体（五十音順）
- 株式会社インフォテック・サーブ
- 株式会社　愛媛キャンパス情報サービス
- パンドウィットコーポレーション
- PTC ジャパン株式会社
- 富士通株式会社
- 株式会社 UBIC

■懇親会　16 日（水）18:30-20:30

会場：リジェール松山　8 階クリスタルホール

日時 ＼ 会場		第1イベント会場 南加記念ホール	第2イベント会場 講義棟 1 階 グリーンホール	第3イベント会場 講義棟 1 階 講 11	展示会場 講義棟 1 階 講 12
9月15日（火）	9:30 **1** 12:00		スマートデバイスやクラウドを用いた教育・学習インフラとその活用技術 P. 20	シンギュラリティ問題が社会に与える影響 P. 30	展示会 9:30 ～ 17:00 P. 39
	13:00 **2** 15:00	【無料公開】 地域を活かす、地域で活きる ICT P. 15	IT によって教育はどのように変わるか？ P. 22	サイバーワールドの 10 年 －これまでと今後の展望－ P. 32	
	15:30 **3** 17:30	地方における実践的人材育成 P. 16	学術研究におけるビッグデータの安全な活用はどこまで可能か？：日本の研究力の飛躍的向上に向けて P. 24		
9月16日（水）	9:30 **4** 12:00		新世代 XXX 乗っ取り作戦 P. 25	人工知能のため標準問題としてのゲーム研究 P. 33	展示会 9:30 ～ 17:00 P. 39
	13:00 13:50	FIT 学術賞 表彰式	第 1 イベント会場を中継予定		
	14:00 15:15	【無料公開】 FIT2015 船井業績賞 受賞記念講演 「Efficiency and Programmability: The Challenges of Future Computing」 William J Dally　P. 15			
	15:30 **5** 17:30	今日からあなたもビッグデータ活用者 ～オープンデータ、クラウドサービスの波に乗れ～ P. 18	災害コミュニケーションとその課題 P. 27	オノマトペ利活用技術の最前線 P. 35	
		18:30 - 20:30　懇　親　会（リジェール松山）			
9月17日（木）	9:30 **6** 12:00	医療用ソフトウェアの最新動向：高信頼設計、法規制、および、ビジネス展開 P. 19	第 6 回 相磯秀夫杯 デザインコンテスト The 1st RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 予選 P. 28	ビッグデータ解析のための機械学習技術 P. 36	展示会 9:30 ～ 15:00 P. 39
	13:00 **7** 16:00		第 6 回 相磯秀夫杯 デザインコンテスト The 1st RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 本選 P. 29		

※ 右下の数字は当プログラム冊子の掲載ページ番号です。

プログラム（タイムテーブル）

A 講義棟 2 階 講 23	B 講義棟 2 階 講 24	C 共通教育講義棟 3 階 講 31	D 共通教育講義棟 3 階 講 32	E 共通教育講義棟 4 階 講 41
プログラミング 富永 浩之 （香川大） A 分野 P. 41	システムソフトウェアと OS 毛利 公一 （立命館大） B 分野 P. 42	ディペンダブルシステム 金川 信康 （日立） C 分野 P. 43	情報検索アルゴリズム 青野 雅樹 （豊橋技科大） D 分野 P. 44	音声情報処理 西村 竜一 （和歌山大） E 分野 P. 46
アルゴリズム 河村 泰之 （愛媛大） A 分野 P.41			DBMS 大森 匡 （電通大） D 分野 P. 45	ユーザモデルと応用 峯 恒憲 （九大） F 分野 P.46
コンピュテーション 河村 泰之 （愛媛大） A 分野 P. 41	ソフトウェアテスト・検証 山本 博章 （信州大） B 分野 P. 42	情報抽出 藤原 真二 （日立） D 分野 P. 44	データ基盤 大沢 裕 （埼玉大） D 分野 P. 45	知能ロボット 菅原 俊治 （早大） F 分野 P. 46
数理モデル化と問題解決 但馬 康宏 （岡山県大） A 分野 P. 41	専用計算機とアーキテクチャ 三好 健文 （イーツリーズ・ジャパン） C 分野 P.42	情報推薦 山口 実靖 （工学院大） D 分野 P. 44	音楽情報処理 帆足 啓一郎 （KDDI 研） E 分野 P. 45	AI 応用システム 大囿 忠親 （名工大） F 分野 P. 46
第 1 イベント会場で 「FIT 学術賞表彰式」及び「FIT2015 船井業績賞受賞記念講演」を開催				
ソフトウェア開発 土屋 達弘 （阪大） B 分野 P. 41	コンピュータシステム 天野 英晴 （慶大） C 分野 P. 42	情報推定 波多野 賢治 （同志社大） D 分野 P. 44	自然言語処理・基礎 松本 和幸 （徳島大） E 分野 P. 45	ゲームに勝つ人工知能 保木 邦仁 （電通大） F 分野 P. 46
18:30 - 20:30　懇　親　会（リジェール松山）				
ソフトウェア科学・知識・教育 飯島 正 （慶大） B 分野 P. 41	システムと LSI の設計技術 曾 剛 （名大） C 分野 P. 43	情報分類 安藤 一秋 （香川大） D 分野 P. 44	自然言語処理と Web 奥村 紀之 （香川高専） E 分野 P. 45	学習とアルゴリズム 清 雄一 （電通大） F 分野 P. 47
高性能計算 横川 三津夫 （神戸大） B 分野 P. 42	組込みシステム 枝廣 正人 （名大） C 分野 P. 43	Web データ応用 蓬莱 尚幸 （茨城高専） D 分野 P. 44	自然言語処理・応用 江原 遥 （NICT） E 分野 P. 45	機械学習 岩田 具治 （NTT） F 分野 P. 47

日時＼会場		F 共通教育講義棟 4 階 講 42	G 工学部講義棟 1 階 EL15	H 工学部講義棟 1 階 EL16	J 工学部講義棟 2 階 EL23	K 工学部講義棟 2 階 EL24
9月15日（火）	9:30 1 12:00	エージェントと最適化 松原 繁夫 （京大） F 分野 P. 47	シーン解析 佐藤 真一 （NII） H 分野 P. 49	映像符号化 高橋 桂太 （名大） I 分野 P. 51	コミュニケーション 倉本 到 （京都工繊大） J 分野 P. 52	サイバーワールド 磯 和之 （NTT） K 分野 P. 53
	13:00 2 15:00	知能システム 大原 剛三 （青学大） F 分野 P. 47	特徴量、物体認識 小嶋 和徳 （岩手県大） H 分野 P. 49	ホログラム 宮田 高道 （千葉工大） I 分野 P. 51	実環境 松下 光範 （関西大） J 分野 P. 52	教育工学（1） 國宗 永佳 （信州大） K 分野 P. 53
	15:30 3 17:30	ME とバイオ情報学 神原 裕行 （東工大） G 分野 P. 47	AVM・画像表現 森 博志 （宇都宮大） I 分野 P. 50		入力手法 大囿 忠親 （名工大） J 分野 P. 52	教育工学（2） 光原 弘幸 （徳島大） K 分野 P. 53
9月16日（水）	9:30 4 12:00	医用画像 平野 靖 （山口大） G 分野 P. 48	画像認識 高村 誠之 （NTT） I 分野 P. 50	視線・視覚 湯浅 将英 （湘南工科大） J 分野 P. 51	生体センシングとその応用 安藤 英由樹 （阪大） J 分野 P. 52	教育工学（3） 山元 翔 （近畿大） K 分野 P. 53
	13:00 13:50 14:00 15:15	第 1 イベント会場で 「FIT 学術賞表彰式」及び「FIT2015 船井業績賞受賞記念講演」を開催				
	15:30 5 17:30	線、文字認識 宮田 繁春 （近畿大） H 分野 P. 49	画像処理一般 内藤 整 （KDDI 研） I 分野 P. 50	会話・協業 飯塚 重善 （神奈川大） J 分野 P. 51	行動と多言語コミュニケーション 中平 勝子 （長岡技科大） J 分野 P. 52	教育工学（4） 小尻 智子 （関西大） K 分野 P. 54
		18:30 - 20:30　懇　親　会（リジェール松山）				
9月17日（木）	9:30 6 12:00	3D ビジョン 岡部 孝弘 （九工大） H 分野 P. 49	画像ノイズ除去 坂東 幸浩 （NTT） I 分野 P. 50	認知・行動 田中 貴紘 （名大） J 分野 P. 51	ロボットインタラクション 大澤 博隆 （筑波大） J 分野 P. 53	福祉情報工学：空間支援 布川 清彦 （東京国際大） K 分野 P. 54
	13:00 7 16:00	実世界モデリングとパターン認識 岩田 浩康 （早大） H 分野 P. 49	コンピュータグラフィクス 阿倍 博信 （三菱） I 分野 P. 50	人の状態推定・知覚 繁桝 博昭 （高知工科大） J 分野 P. 52	MVE 三上 弾 （NTT） K 分野 P. 53	福祉情報工学：情報支援 苅田 知則 （愛媛大） K 分野 P. 54

プログラム（タイムテーブル）

L 工学部講義棟 2 階 EL26	M 工学部講義棟 3 階 EL33	N 共通教育講義棟 3 階 講 34	P 共通教育講義棟 3 階 講 35	Q 共通教育講義棟 4 階 講 45
マルチメディア エンリッチメント 薗田 光太郎 （長崎大） K 分野 P. 54	脆弱性 甲斐 博 （愛媛大） L 分野 P. 56	ユビキタス コンピューティング 中澤 仁 （慶大） M 分野 P. 57	ネットワークと 電力システム 岡本 学 （NTT） O 分野 P. 58	行動分析 渡部 智樹 （NTT） O 分野 P. 60
マルウェア 須賀 祐治 （インターネット イニシアティブ） L 分野 P. 55	暗号 座長　未定 L 分野 P. 56	教育システム開発 森本 康彦 （東京学芸大） N 分野 P. 57	安全安心 情報通信システム 塚田 晃司 （和歌山大） O 分野 P. 58	教育支援システム 大場 みち子 （はこだて未来大） O 分野 P. 60
	ITS 中村 嘉隆 （はこだて未来大） M 分野 P. 56	コンピュータと 教育・教材 中鉢 直宏 （島根大） N 分野 P. 57	非常時支援・異常検知 山下 倫央 （産総研） O 分野 P. 59	生活支援システム・ 嗜好推定 小舘 亮之 （津田塾大） O 分野 P. 60
認証 森井 昌克 （神戸大） L 分野 P. 55	位置推定 清原 良三 （神奈川工科大） M 分野 P. 56		Web 情報システム 刀川 眞 （室蘭工大） O 分野 P. 59	農業・文化 丸山 文宏 （富士通研） O 分野 P. 60
第 1 イベント会場で 「FIT 学術賞表彰式」及び「FIT2015 船井業績賞受賞記念講演」を開催				
アクセス制御と安全性 南 和宏 （統計数理研） L 分野 P. 55	仮想化と負荷分散 金子 雄 （東芝） M 分野 P. 56	照明システム・ センシング 森井 昌克 （神戸大） O 分野 P. 58	業務支援システム 上杉 志朗 （松山短大） O 分野 P. 59	
18:30 - 20:30　懇　親　会（リジェール松山）				
システム運用開発 山之上 卓 （福山大） L 分野 P. 55	スマートデバイス応用 山口 実靖 （工学院大） M 分野 P. 56	サービス コンピューティング 細野 繁 （NEC） O 分野 P. 58	位置情報と センサシステム 西 宏之 （崇城大） O 分野 P. 59	
ネットワーク開発 松本 直人 （さくらインターネット） L 分野 P. 55	スマートフォン 薄井 智貴 （名大） M 分野 P. 57	社会とデータ分析 耒代 誠仁 （桜美林大） N 分野 P. 58	システム開発 神沼 靖子 （情報処理学会フェロー） O 分野 P. 59	

会場別スケジュール

第１イベント会場（南加記念ホール）

日	時　間	内　　容
9月15日（火）	**地域を活かす、地域で活きる ICT　［無料公開］**	
	13:00-15:00	講演 1「クラウドテクノロジーが創る IT の未来」 田丸健三郎（マイクロソフト）
		講演 2「地域会社が考える閉域ネットワークを活かした ICT 戦略について」 白石成人（愛媛 CATV）
	地方における実践的人材育成	
	15:30-15:35	オープニング　小林真也（愛媛大）
	15:35-15:55	講演 1「産業界から見た実践的人材育成」 佐野徹夫（高度情報通信人材育成支援センター）
	15:55-16:15	講演 2「分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク enPiT の狙いと現状」 井上克郎（阪大）
	16:15-16:30	講演 3「公立はこだて未来大学における実践的人材育成の課題と強み」 大場みち子（はこだて未来大）
	16:30-16:45	講演 4「山口大学における実践的人材育成の課題と強み」 浜本義彦（山口大）
	16:45-17:00	講演 5「愛媛大学における実践的人材育成の課題と強み」 黒田久泰（愛媛大）
	17:00-17:30	パネル討論「地方における実践的人材育成」 司　　会：小林真也（愛媛大） パネリスト：佐野徹夫（高度情報通信人材育成支援センター），井上克郎（阪大）， 大場みち子（はこだて未来大），浜本義彦（山口大），黒田久泰（愛媛大）
9月16日（水）	**FIT 学術賞　表彰式**	
	13:00-13:50	FIT 運営委員長 挨拶 FIT2014 ヤングリサーチャー賞 表彰式 FIT2015 論文賞 表彰式 公益財団法人 船井情報科学振興財団 挨拶 FIT2015 船井ベストペーパー賞 表彰式 FIT2015 船井業績賞 表彰式 FIT2015 船井業績賞 受賞挨拶
	FIT2015 船井業績賞受賞記念講演　［無料公開］	
	14:00-15:15	**「Efficiency and Programmability: The Challenges of Future Computing」 William J Dally（スタンフォード大学教授 /NVIDIA 社研究担当上級副社長）**
	今日からあなたもビッグデータ活用者 ～オープンデータ、クラウドサービスの波に乗れ～	
	15:35-16:10	講演 1「「BODIC.org (BigData & OpenData in the Cloud)」にあなたのデータ、、、預けてみません？」 村上和彰（九大）
	16:10-16:45	講演 2「Amazon Machine Learning 概要紹介」 能登諭（クラスメソッド）
	16:45-17:20	講演 3「機械学習のシステム活用の事例とノウハウ」 本橋洋介（NEC）
	17:20-17:30	クロージング
9月17日（木）	**医療用ソフトウェアの最新動向：高信頼設計、法規制、および、ビジネス展開**	
	9:30-9:40	司会　土屋達弘（阪大）
	9:40-10:20	講演 1「医療用ソフトウェアの規制の内側と外側」 鈴木孝司（医療機器センター）
	10:20-11:00	講演 2「ヘルスソフトウェアにおける GHS 開発ガイドラインについて」 飯島直人（ヘルスソフトウェア推進協議会）
	11:00-11:40	講演 3「ヘルスソフトウェアのビジネス展開」 森川文夫（クーメディカル）
	11:40-12:00	パネル討論「医療，ヘルスケア分野における ICT の今後」 司　　会：山田憲嗣（阪大） パネリスト：鈴木孝司（医療機器センター），飯島直人（ヘルスソフトウェア推進協議会）， 森川文夫（クーメディカル），石原謙（愛媛大）

第２イベント会場（講義棟１階グリーンホール）

9月15日（火）	**スマートデバイスやクラウドを用いた教育・学習インフラとその活用技術**	
	9:30-10:30	講演「スマートデバイスを用いた教育・学習インフラとその活用技術」 竹村治雄（阪大）
	10:40-12:00	パネル討論「スマートデバイスの今後の発展と教育現場への導入のための課題」 司　　会：松原行宏（広島市大） パネリスト：光原弘幸（徳島大），田村恭久（上智大），村上正行（京都外大），森本康彦（東京学芸大）， 西端律子（畿央大）
	IT によって教育はどのように変わるか？	
	13:00-13:05	挨拶・研究総括　安浦寛人（九大）
	13:05-13:30	講演 1「デジタル教材の閲覧履歴を中心とした教育ビッグデータの利活用に向けて」 緒方広明（九大）
	13:30-13:50	講演 2「個別学習環境におけるマルチモーダルインタラクション」 川嶋宏彰（京大）
	13:50-14:10	講演 3「IT が変える教育－ソフトウェアによる学習意欲の維持」 坂本一憲（NII）
	14:10-14:30	講演 4「脳情報と IT の融合による教育効果向上への試み －脳情報の教育における有用性－」 細田千尋（JST）
	14:30-15:00	パネル討論「IT によって教育はどのように変わるか？」 司　　会：安浦寛人（九大） パネリスト：緒方広明（九大），川嶋宏彰（京大），坂本一憲（NII），細田千尋（JST）

第２イベント会場（講義棟１階グリーンホール）

日	時　間	内　　容
9月15日（火）	**学術研究におけるビッグデータの安全な活用はどこまで可能か？：日本の研究力の飛躍的向上に向けて　［パネルセッション］**	
	15:30-17:30	司　　会：南和宏（統計数理研） パネリスト：長谷川孝（横浜市），丸山宏（統計数理研），佐久間淳（筑波大），花岡悟一郎（産総研），伊藤伸介（中大）
9月16日（水）	**新世代 XXX 乗っ取り作戦**	
	9:30-9:32	司会「新世代 XXX 乗っ取り作戦」 土井美和子（NICT）
	9:32-9:50	講演 1「新世代電波乗っ取り作戦」 松永真由美（愛媛大）
	9:50-10:08	講演 2「新世代「Bluetooth/ZigBee/Wi-SUN/Z-Wave」乗っ取り計画」 鈴木誠（東大）
	10:08-10:26	講演 3「認証乗っ取り作戦」 高橋健太（日立）
	10:26-10:44	講演 4「質問イルカ乗っ取り作戦」 保木邦仁（電通大）
	10:44-11:02	講演 5「教科書乗っ取り作戦」 遠藤慶一（愛媛大）
	11:02-11:20	講演 6「Hijack Mission of Smart Cities」 Verotiana H. Rabarijaona（NICT）
	11:20-11:38	講演 7「異文化コラボレーション乗っ取り大作戦」 高崎俊之（パンゲア）
	11:38-11:56	講演 8「バーチャルリアリティ乗っ取り作戦」 青木崇行（カディンチェ）
	11:56-12:00	司会　松尾昭彦（富士通研）
	災害コミュニケーションとその課題　［パネルセッション］	
	15:30-17:30	司　　会：松本直人（さくらインターネット） パネリスト：渡邉英徳（首都大），八木浩一（バンプレコーダー），畑山満則（京大）
9月17日（木）	**第 6 回 相磯秀夫杯 デザインコンテスト The 1st RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 予選**	
	9:30-10:00	司会　天野英晴（慶大）
	10:00-10:30	司会　泉知論（立命館大）
	10:30-11:15	司会　大川猛（宇都宮大）
	11:15-12:00	司会　長名保範（琉球大）
	第 6 回 相磯秀夫杯 デザインコンテスト The 1st RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 本選	
	13:00-13:45	司会　佐藤幸紀（東工大）
	13:45-14:30	司会　中原啓貴（愛媛大）
	14:30-15:15	司会　保木邦仁（電通大）
	15:15-16:00	司会　三好健文（イーツリーズ・ジャパン）

第３イベント会場（講義棟１階 講 11）

9月15日（火）	**シンギュラリティ問題が社会に与える影響**	
	9:30-10:00	講演 1「ビジネス倫理とシンギュラリティ」 上杉志朗（松山短大）
	10:00-10:30	講演 2「あと 30 年で超知能が来る」 松田卓也（あいんしゅたいん）
	10:30-11:00	講演 3「法律の世界にシンギュラリティは来るのか？」 須川賢洋（新潟大）
	11:00-12:00	パネル討論：「シンギュラリティ問題の本質」 司　　会：原田要之助（情報セキュリティ大） パネリスト：上杉志朗（松山短大），松田卓也（あいんしゅたいん），須川賢洋（新潟大）
	サイバーワールドの 10 年 －これまでと今後の展望－	
	13:00-13:20	講演 1「これまでのサイバーワールド －当初の目的とその後－」 田中英彦（情報セキュリティ大）
	13:20-13:40	講演 2「「宇」と「宙」から見たサイバーワールド」 羽鳥好律（神奈川工科大／東工大）
	13:40-14:00	講演 3「サイバーワールドはどこへ向かうか？」 井原雅行（NTT）
	14:00-15:00	パネル討論：「新たなサイバーワールドフィールドマップを作る －今後の発展領域と研究分野－」 司　　会：磯和之（NTT） パネリスト：田中英彦（情報セキュリティ大），羽鳥好律（神奈川工科大／東工大），井原雅行（NTT）
9月16日（水）	**人工知能のため標準問題としてのゲーム研究**	
	9:30-10:00	講演 1「標準問題としての人狼知能研究の可能性」 篠田孝祐（電通大）
	10:00-10:25	講演 2「カーリングを科学する」 伊藤毅志（電通大）
	10:25-10:50	講演 3「サッカーにおける戦術モデリングとシミュレーション」 大森隆司（玉川大）
	10:50-11:15	講演 4「ミニ四駆 AI 大会の意味するもの」 西野順二（電通大）
	11:15-12:00	パネル討論：「ゲーム研究の人工知能への貢献とは」 司　　会：篠田孝祐（電通大） パネリスト：伊藤毅志（電通大），大森隆司（玉川大），西野順二（電通大），稲葉通将（広島市大），大澤博隆（筑波大）
	オノマトペ利活用技術の最前線　［パネルセッション］	
	15:30-17:30	司　　会：小松孝徳（明大） パネリスト：坂本真樹（電通大），松下光範（関西大），柳井啓司（電通大），渡辺知恵美（筑波大）

第３イベント会場（講義棟１階 講 11）		
9月17日（木）	ビッグデータ解析のための機械学習技術	
	9:30-10:20	講演 1「統計的パターンマイニング」 杉山麿人（阪大）
	10:20-11:10	講演 2「Deep Learning の基礎と応用」 得居誠也（Preferred Networks）
	11:10-12:00	講演 3「コンパクトなデータ表現による機械学習」 田部井靖生（JST）
一般講演会場 Ａ～Ｑ会場（講義棟２階 共通教育講義棟３，４階 工学部講義棟１，２，３階）		
15 日（火）9:30 ～ 12:00 , 13:00 ～ 17:30　16 日（水）9:30 ～ 12:00 , 15:30 ～ 17:30 17 日（木）9:30 ～ 12:00 , 13:00 ～ 16:00		

展示会会場（共通教育講義棟１階 講 12）
15 日（火）9:30 ～ 17:00　16 日（水）9:30 ～ 17:00　17 日（木）9:30 ～ 15:00

懇親会会場（リジェール松山）
16 日（水）18:30 ～ 20:30

イベント企画概要

FIT2015 船井業績賞受賞記念講演
Efficiency and Programmability: The Challenges of Future Computing
9 月 16 日（水）14:00-15:15［第 1 イベント会場（南加記念ホール）］

［講演概要］

The computing demands of mobile devices, data centers, and HPC are increasing exponentially. At the same time, the end of Dennard scaling has slowed the rate of improvement and made all computing power limited. With improvements in semiconductor process technology offering little increase in efficiency, innovations in architecture and circuits are required to maintain the expected performance scaling. Specialized hardware gives excellent efficiency but at the expense of generality and programmability.

To compensate for slower scaling, emerging computer systems have heterogenous processors, deep memory hierarchies, and large-scale parallelism - making them challenging to program. Target-independent programming has the potential to greatly simplify the programming of these machines. The programmer expresses all of the parallelism and abstract representations of locality. Mapping tools adapt the program to the characteristics of a particular target machine.

This talk will discuss these challenges of efficiency and programmability in more detail and introduce some of the technologies being developed to address them.

William J Dally（スタンフォード大学教授／ NVIDIA 社研究担当上級副社長（SVP））

Bill is Chief Scientist and Senior Vice President of Research at NVIDIA Corporation and a Professor (Research) and former chair of Computer Science at Stanford University. Bill and his group have developed system architecture, network architecture, signaling, routing, and synchronization technology that can be found in most large parallel computers today. While at Bell Labs Bill contributed to the BELLMAC32 microprocessor and designed the MARS hardware accelerator. At Caltech he designed the MOSSIM Simulation Engine and the Torus Routing Chip which pioneered wormhole routing and virtual-channel flow control. At the Massachusetts Institute of Technology his group built the J-Machine and the M-Machine, experimental parallel computer systems that pioneered the separation of mechanisms from programming models and demonstrated very low overhead synchronization and communication mechanisms. At Stanford University his group has developed the Imagine processor, which introduced the concepts of stream processing and partitioned register organizations, the Merrimac supercomputer, which led to GPU computing, and the ELM low-power processor. Bill is a Member of the National Academy of Engineering, a Fellow of the IEEE, a Fellow of the ACM, and a Fellow of the American Academy of Arts and Sciences. He has received the ACM Eckert-Mauchly Award, the IEEE Seymour Cray Award, and the ACM Maurice Wilkes award. He currently leads projects on computer architecture, network architecture, circuit design, and programming systems. He has published over 200 papers in these areas, holds over 100 issued patents, and is an author of the textbooks, Digital Design: A Systems Approach, Digital Systems Engineering, and Principles and Practices of Interconnection Networks.

地域を活かす、地域で活きる ICT
9 月 15 日（火）13:00-15:00［第 1 イベント会場（南加記念ホール）］

［セッション概要］

政府の世界最先端 IT 国家創造宣言において「新たな街づくりの推進として、地域の元気を創造する IT を活用した新たな街づくりの実現に向けて、既存の成功モデルも活かしつつ、新たな街づくり課題に対する実証プロジェクトを推進するとともに、地域や社会が抱える課題を解決する新しいアイデアや技術を持つ若手やベンチャー企業を発掘・育成し、新しいビジネスモデルも踏まえた IT を活用した街づくりの共通的な基盤と成功モデルを構築する」ことが謳われている。この企画では、産官学のメンバーが、情報技術、通信技術を用いた地域活性化の事例や、地域からの情報技術、通信技術への期待、要望を話題として、会場の参加者と共に、ディスカッションを行う。

●講演（1）「クラウドテクノロジーが創る IT の未来」

田丸　健三郎（マイクロソフト）

●講演（2）「地域会社が考える閉域ネットワークを活かした ICT 戦略について」

白石　成人（愛媛 CATV）
1990 年愛媛ＣＡＴＶ入社。営業、放送、カスタマー、経営企画等の業務を経て、2006 年取締役就任。2009 年常務取締役。

地方における実践的人材育成
9 月 15 日（火）15:30-17:30［第 1 イベント会場（南加記念ホール）］

［セッション概要］
大学・大学院に対して実践的情報通信人材の育成が強く求められている。社会からの要請を受け、地方にある大学においても、enPiT の取り組みへの参加や、実践的 ICT 人材育成の取り組みが行われている。実践的人材育成の全体の話題は勿論、特に、地方の大学で取り組むがゆえの課題や強みなどを取り上げる講演を行う。

司会：小林　真也（愛媛大）
愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻教授。同専攻 ICT スペシャリスト育成コース長。1985 年大阪大学工学部通信工学科卒業、1991 年大阪大学大学院工学研究科通信工学専攻博士後期課程修了。工学博士。金沢大学助手、講師、助教授、愛媛大学助教授を経て、現職。

●［15:30-15:35］オープニング

小林　真也（愛媛大）
写真および略歴は「地方における実践的人材育成」司会紹介を参照。

●［15:35-15:55］講演（1）「産業界から見た実践的人材育成」

［講演概要］
高度情報通信人材育成支援センター（CeFIL）では、大学・企業との連携のもと、実践重視カリキュラム（PBL の導入、実践研修型インターンシップの実施、企業講師の派遣による実践講義）を策定し、筑波大学大学院および九州大学大学院をモデル拠点として、ICT を高度に活用できる人材育成に取り組んでいる。これまでの活動を振り返るとともに、今後の動向も踏まえて、産業界から見た実践的人材育成への期待を述べる。

佐野　徹夫（高度情報通信人材育成支援センター）
1979 年、日本電気株式会社に入社。主に、ソフトウェア製品の開発、事業管理に従事。2012 年 10 月より、特定非営利活動法人 高度情報通信人材育成支援センター（CeFIL）の理事を兼務。産学連携による実践的 ICT 人材育成に取り組んでいる。

●［15:55-16:15］講演（2）「分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク enPiT の狙いと現状」

［講演概要］
現在、日本は高齢化、産業の国際競争力の低下、エネルギー・環境問題、東日本震災からの復興等、様々な課題を抱えている。これらの課題に対し、情報通信技術を活用して解決することのできる人材が社会から強く求められている。このような要請を受け、全国の 15 大学が中心となって「分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク」（通称 enPiT）事業が平成 24 年度よりスタートしている。enPiT では、大学間／大学・企業間で緊密に連携をとりながら、クラウドコンピューティング、セキュリティ、組込みシステム、ビジネスアプリケーションの 4 つの分野を対象に、グループワークを中心とした短期集中合宿や分散 PBL を実施し、世界に通用する実践力を備えた人材を全国規模で育成している。本講演では、enPiT の取組の目標や、現在までの成果について報告する。

井上　克郎（阪大）
1979 年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。1984 年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了（工学博士）。同年大阪大学基礎工学部助手より、ハワイ大学マノア校助教授、大阪大学基礎工学部講師、同助教授等を経て、1995 年より教授。現在、大阪大学大学院情報科学研究科教授。ソフトウェア工学、特にコードクローンやソースコードの起源・発展の分析に興味を持つ。文部科学省の情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業 enPiT の代表者。

●［16:15-16:30］講演（3）「公立はこだて未来大学における実践的人材育成の課題と強み」

［講演概要］
情報系大学では、実践型の IT 人材育成カリキュラムとして学生が自ら計画・推進してソフトウェア開発の全工程を体験する Project Based Learning（PBL）が効果を上げはじめている。公立はこだて未来大学では PBL をベースとした実践的 ICT 人材育成教育を 3 種類実施している。観光や防災などの地域情報や教育など、実際にユーザのいる情報システムの開発をテーマとしている、この実践的人材育成の実施内容とそこでの課題や強みについて紹介する。

大場　みち子（はこだて未来大）
1982 年日立製作所入社。同システム開発研究所にて知識工学応用システムの研究、同ソフトウェア事業部でミドルウェアの開発等に従事。現在は公立はこだて未来大学にてソフトウェア工学、ドキュメントコミュニケーションなどの研究と実践的 ICT 人材育成に従事。2001 年大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。情報処理学会理事（2009 年度 -2010 年度）。

●［16:30-16:45］講演（4）「山口大学における実践的人材育成の課題と強み」

［講演概要］
山口県の IT 産業を活性化させるために、地域の基幹大学として山口大学への人材育成に対するニーズは高い。しかし実施にあたり課題となるのが資金である。そこで、本学では山口県情報産業協会と連携し、協会の会員企業から派遣された講師と山口大学の教員が大学を会場として共同で、会員企業の入社数年の若手社員と大学生を対象とした合同研修を、2012 年度から毎年継続的に行っている。

浜本　義彦（山口大）
1983 年山口大学大学院工学研究科電子工学専攻修了、同年日本電気株式会社に入社。文字認識装置の開発に従事。博士（工学）。1987 年山口大学工学部助手、1998 年山口大学工学部教授、2006 年山口大学大学院医学系研究科教授。現在に至る。

●［16:45-17:00］講演（5）「愛媛大学における実践的人材育成の課題と強み」

［講演概要］
文部科学省の平成 26 年度「地（知）の拠点整備事業」に、愛媛大学の事業プログラム「地域の未来をステークホルダーと共に創る実践的人材の育成」が採択された。そこで、現在、県内の多くの自治体と協力し、地域課題の解決や地域イノベーションを創出する実践力を有する人材の育成に取り組んでいる。本講演では、その中でも特に工学部における実践的人材育成の課題と強みについて紹介する。

黒田　久泰（愛媛大）
1993 年名古屋大学理学部物理学科卒業。1995 年京都大学大学院工学研究科応用システム科学専攻修士課程修了。2000 年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程単位取得退学。同年同大学情報基盤センター助手。2007 年同助教。2009 年より現職。高性能計算、自動チューニングに関する研究に従事。

●［17:00-17:30］パネル討論　「地方における実践的人材育成」

司会：小林　真也（愛媛大）
写真および略歴は「地方における実践的人材育成」司会紹介を参照。

パネリスト：佐野　徹夫（高度情報通信人材育成支援センター）
略歴は「講演（1）産業界から見た実践的人材育成」を参照。

パネリスト：井上　克郎（阪大）
写真および略歴は「講演（2）分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク enPiT の狙いと現状」を参照。

パネリスト：大場　みち子（はこだて未来大）
写真および略歴は「講演（3）公立はこだて未来大学における実践的人材育成の課題と強み」を参照。

パネリスト：浜本　義彦（山口大）
写真および略歴は「講演（4）山口大学における実践的人材育成の課題と強み」を参照。

パネリスト：黒田　久泰（愛媛大）
写真および略歴は「講演（4）愛媛大学における実践的人材育成の課題と強み」を参照。

今日からあなたもビッグデータ活用者 ～オープンデータ、クラウドサービスの波に乗れ～
9 月 16 日（水）15:30-17:30［第 1 イベント会場（南加記念ホール）］

［セッション概要］
近年、様々な分野でビッグデータの利活用に注目が集まっている。収集・蓄積された多種多様な情報を分析することで新たな価値を創出するサービスの実現が期待されている。また、ビッグデータのオープン化やその処理を支えるクラウドサービスなども充実化してきており、ビッグデータをより身近に触れることができる時代が到来している。本企画では、多量のメディアの活用事例やビッグデータのオープン利用、さらにはクラウドサービスの活用術に関する講演を行う。

司会：島田　敬士（九大）
2002 年九州大学工学部電気情報工学科飛び級のため退学。2007 年九州大学大学院システム情報科学府知能システム学専攻博士後期課程修了。同年、九州大学大学院システム情報科学研究院助教。2013 年 10 月九州大学基幹教育院准教授。博士（工学）。パターン認識、画像処理、人工神経回路網に関する研究に従事。電子情報通信学会、情報処理学会、IEEE 各会員。

●［15:35-16:10］講演（1）「「BODIC.org（BigData & OpenData in the Cloud）」にあなたのデータ、、、預けてみません？」

［講演概要］
「BODIC.org（BigData & OpenData in the Cloud）」は名前が示唆する通り、クラウド上にビッグデータやオープンデータを収集・蓄積・分析・活用するための所謂データレイク（data lake）です。いろいろな使い方が可能ですが、PRMU 研究会の皆さんにとって興味ある使い方は、「あなたがセンサー等で収集したデータを BODIC.org 上にアップロードし、それを研究仲間で共有して分析・利活用したり、さらにはオープンデータ化して世界中の研究者に利用して貰う」ことだと思います。本講演では、このような「オープンサイエンス」的な利用法を今日から始めて頂けるようご説明いたします。

村上　和彰（九大）
国立大学法人九州大学教授および公益財団法人九州先端科学技術研究所副所長。「ビッグデータ＆オープンデータ研究会 in 九州（BODIK）」代表として、ビッグデータの利活用＆オープン化推進、行政データのオープン化推進、オープンデータビジネス起業支援、データサイエンティスト育成、そして「BODIC.org」の整備・運用に注力中。 情報処理学会フェロー。

●［16:10-16:45］講演（2）「Amazon Machine Learning 概要紹介」

［講演概要］
Amazon Machine Learning 概要について紹介させていただきます。機能の概要や費用感、実際の利用方法についてスクリーンショットを交え紹介させていただく予定です。また、弊社の事例についてもご紹介できればと考えております。

能登　諭（クラスメソッド）
2013 年 11 月よりクラスメソッド株式会社 AWS コンサルティング部にソリューションアーキテクトとして勤務。Amazon Web Services に関するコンサルティングから設計・構築・運用保守まで総合的に従事。

●［16:45-17:20］講演（3）「機械学習のシステム活用の事例とノウハウ」

［講演概要］
機械学習技術を活用したシステムを企画・設計・運用するにあたってはアルゴリズムの精度以外にも様々な検討ポイントがあります。本講演では、機械学習技術のシステム適用事例を紹介するとともに、システム化の際に留意すべきことについて説明します。

本橋　洋介（NEC）
東京大学大学院工学系研究科産業機械工学専攻修了。2006 年 NEC 入社。NEC 中央研究所で機械学習・データマイニング・ナレッジマネジメントの研究開発に従事。近年は、機械学習の研究開発成果を活用した分析案件を多数推進。小売・金融・交通・エネルギー・建設・製造など向けの分析シナリオコンサルティング、データ分析、システム化を実施している。2014 年よりビッグデータ戦略本部兼務。

医療用ソフトウェアの最新動向：高信頼設計、法規制、および、ビジネス展開
9 月 17 日（木）9:30-12:00［第 1 イベント会場（南加記念ホール）］

［セッション概要］
2014 年 11 月に改正薬事法が施行され、日本国内でも医療機器としてソフトウェア単体の販売が認可されることになった。今回の法律改正と、世界規模での社会の高齢化の中で、医療用、ヘルスケア用ソフトウェアの役割は一段と重要性を増すものと予想される。本イベントでは、ヘルスソフトウェアの法規制、ソフトウェアの信頼性、安全性の実現と開発ガイドライン、および、ビジネス展開等について、講演とパネルディスカッションを通して議論を深める。

●［9:30-9:40］司会

土屋　達弘（阪大）
1995 年大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程修了、1998 年同大博士（工学）。1996 年大阪大学基礎工学部助手を経て、現在同大大学院情報科学研究科教授。ソフトウェアを中心とする情報システムのテスト、検証、高信頼化に関する研究に従事。

●［9:40-10:20］講演（1）「医療用ソフトウェアの規制の内側と外側」

［講演概要］
2014 年 11 月 25 日に医薬品医療機器等法が施行され、ハードウェアと組み合わされた形ではないソフトウェア単体も「医療機器プログラム」として医療機器の 1 つに定義され、規制対象となった。医療機関で用いられる全てのソフトウェアが規制を受けるわけではなく、そのソフトウェアの用途や治療・診断への寄与度・リスクに応じて法規制への該当性が決定する。本講演では医薬品医療機器等法の概説から始め、厚生労働省の通知「プログラムの医療機器への該当性に関する基本的な考え方について（薬食監麻発 1114 第 5 号）」に示されている該当性の考え方について解説する。医療機器に該当する場合に要求されるライセンス制度の仕組みや品質管理の要件についても紹介する。

鈴木　孝司（医療機器センター）
2002 年東京大学工学部精密機械卒、学士（工学）。2004 年同大学院新領域創成科学研究科修士課程修了、修士（環境学）。2007 年同博士課程修了、博士（科学）。2004 年 4 月～ 2005 年 9 月国立がんセンター外来研究員。2007 年 4 月から東京女子医科大学博士研究員、同病院循環器小児科助教を経て、先端生命医科学研究所助教。2014 年 9 月より現職。専門は医療機器における医工連携・産学連携、mHealth。

●［10:20-11:00］講演（2）「ヘルスソフトウェアにおける GHS 開発ガイドラインについて」

［講演概要］
医療用ソフトウェア市場が拡大する中で、経済産業省は医療や健康に係るソフトウェアについて、2 年間に渡る「医療用ソフトウェアに関する研究会」を開催し、2014 年 3 月に「ヘルスソフトウェア開発に関する基本的考え方　開発ガイドライン 2014（手引き）」を策定・公表した。これを踏まえ、研究会にメンバーとして参加していた医療系の 3 工業会（JEITA, JIRA, JAHIS）は、産業界が考えるヘルスソフトウェア開発に必要な要求事項として「ヘルスソフトウェア開発ガイドライン（GHS ガイドライン）」を 2014 年 8 月に策定、公表した。本講演では、この「ヘルスソフトウェア開発ガイドライン」の概要について紹介する。

飯島　直人（ヘルスソフトウェア推進協議会）
京都大学理学部理学研究科（化学教室）修了後、1984 年株式会社島津製作所に入社。医療画像診断装置ソフトウェア、診療所向け電子カルテシステムの開発に従事した後、現在は株式会社島津製作所にて社内業務システムの構築に携わる。また、日本画像医療システム工業会（JIRA）、電子技術情報産業協会（JEITA）にて医療ソフトウェアにかかわる工業会活動に参加している。株式会社島津製作所医用機器事業部勤務。一般社団法人ヘルスソフトウェア協議会技術教育委員会副委員長。

●［11:00-11:40］講演（3）「ヘルスソフトウェアのビジネス展開」

［講演概要］
日本アイ・ビー・エムの責任者として、20 年間、医療情報システムのビジネスに携わってきました。定年退職後は今までの経験を生かすべく、医療情報システム分野の会社を設立、起業しました。ヘルスソフトウェアのビジネスモデルやビジネス展開は今後益々重要性を増してくると思われますが、そう簡単に実現、成功できる世界ではないと思います。これまでの経験を基に、この分野に参入しようと考えておられる方々に少しでも参考になるようなお話ができればと思います。

森川　文夫（クーメディカル）
1953 年生まれ。1977 年京都大学理学部卒業、日本アイ・ビー・エム株式会社入社。1994 年から医療情報システムを担当し、営業部長や統括部長を歴任。2013 年日本アイ・ビー・エム株式会社定年退職、株式会社クーメディカル設立（代表取締役就任）。現在に至る。

●［11:40-12:00］パネル討論

司会：　山田　憲嗣（阪大）
1998 年大阪市立大学大学院工学研究科後期博士課程修了。工学博士。1998 年大阪科学技術センター研究員、2003 年広島市立大学情報科学部助手、2004 年広島工業大学工学部講師、2006 年助教授、2007 年准教授。2008 年大阪大学臨床医工学融合研究教育センター特任准教授、2010 年大阪大学大学院医学系研究科特任准教授。2012 年同 特任教授、現在に至る。日本生体医工学会、計測自動制御学会、電気学会、SPIE、IEEE の会員。

パネリスト：鈴木　孝司（医療機器センター）
写真および略歴は「講演（1）医療用ソフトウェアの規制の内側と外側」を参照。

パネリスト：飯島　直人（ヘルスソフトウェア推進協議会）
写真および略歴は「講演（2）ヘルスソフトウェアにおける GHS 開発ガイドラインについて」を参照。

パネリスト：森川　文夫（クーメディカル）
写真および略歴は「講演（3）ヘルスソフトウェアのビジネス展開」を参照。

パネリスト：石原　謙（愛媛大）
大阪大学医学科卒。同大助手を経て、1995 年国立大阪病院臨床研究部部長。循環器専門医、超音波指導医。超音波 ME、動画像 処理、病院情報システムの研究で、国内外に特許約 100 件。1998 年愛媛大学医療情報部教授。不可能とされていた異ベンダー間の電子カルテ更新に成功。日本医師会総合政策研究機構研究部長としてORCA プロジェクト成功。2011 年同機構アカデミックアドバイザー。生体医工学会理事。医療情報学会評議員。国立大学病院医療情報部長会会長。日本不振は理系文系に分ける教育にあると憂う。

スマートデバイスやクラウドを用いた教育・学習インフラとその活用技術
9 月 15 日（火）9:30-12:00［第 2 イベント会場（講義棟 1 階グリーンホール）］

［セッション概要］
近年のスマートフォンやタブレット型情報端末のようなスマートデバイスの普及は、教育・学習にも画期的な変化をもたらしています。スマートデバイスの多くが有するタッチパネル式の直感的なインタフェース操作は、教科書・参考書・ノートを含めた学習ツールの電子化への移行を促進しています。また、軽量で持ち運びが容易という特性は学習のユビキタス化を促し、さらには家での自習と学校での演習という反転授業をも可能としています。このようなスマートデバイスの多くはクラウドコンピューティングに基づいており、学習横断的な学習データの分析とその活用は、永続的で効果的な学習環境の実現に必要不可欠なものとなっています。特に、電子教科書分野では、IMS Global Learning Consortium が策定を進めているラーニングアナリティクス標準規格 Caliper に基づいたデータ収集のセンサが取り込まれようとしており、LMS との連携を行うための Learning Tool Interoperability の機能拡張も進んでいます。本シンポジウムでは、スマートデバイスやクラウドコンピューティングを活用した教育・学習環境の可能性と技術的な課題を、最先端の応用事例の紹介を通じて議論します。

司会：上田　真由美（流通科学大）
2003 年関西大学大学院総合情報学研究科博士後期課程修了。博士（情報学）。大阪大学、名古屋大学、京都大学を経て、2012 年流通科学大学講師、2013 年同准教授。情報推薦および教育学習支援システムの研究に従事。

●［9:30-10:30］講演「スマートデバイスを用いた教育・学習インフラとその活用技術」

［講演概要］
本講演では、ICT を用いた教育支援、学習支援の変遷をたどりながら、最近急速に普及しているスマートデバイスを用いた教育学習支援の可能性について議論する。具体的には、講演者が運用している大阪大学での教育支援システム、学習支援システムの具体的な導入事例や整備状況を紹介し、これらの基盤の上にスマートデバイスを導入するために検討解決すべき課題について整理する。また、実際に iPad を用いた授業支援の大阪大学での実施例も紹介する。さらに、講演者らが研究している複合現実感とウェアラブルデバイスを用いた教育・学習支援の可能性についても展望する。

竹村　治雄（阪大）
1987 年大阪大学大学大学院博士課程単位取得退学。（株）国際電気通信基礎技術研究所（ATR）研究員、主任研究員を経て、1994 年 4 月奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授。2001 年 4 月大阪大学サイバーメディアセンター教授。2013 年 6 月教育学習支援センター長（兼任）、現在に至る。主として 3 次元ユーザインタフェース、HCI の教育・研究に従事。教育用計算機システム、授業支援システムの運用に従事。

●［10:40-12:00］パネル討論「スマートデバイスの今後の発展と教育現場への導入のための課題」

［討論概要］
スマートデバイスを用いた教育・学習インフラとその活用技術に関する現状を解説した基調講演の後に、スマートデバイスの今後の発展と教育現場への導入のための技術的課題を探るためにパネル討論を行います。5 名のパネリストの方から、防災教育シーンでのスマートデバイスの利用例、電子教科書としての具体的な活用例、教員や学習者のモニタリングツールとしての応用例、e ポートフォリオとしての利用例、教員養成系大学での実践例などの具体的かつ最先端な活用事例を報告して頂き、スマートデバイスやクラウドコンピューティングを活用した教育・学習環境の可能性と技術的な課題を議論します。

司会：松原　行宏（広島市大）
1987 年広島大学工学部第 II 類卒業、1989 年広島大学大学院工学研究科博士課程前期修了。1989 年広島大学工学部助手、1998 年香川大学工学部助教授を経て、2003 年より広島市立大学情報科学部教授。博士（工学）。知識工学、知的教育システム、感性工学に関する研究に従事。1997 年、2000-2001 年ノッティンガム大学（英国）客員研究員。電子情報通信学会、教育システム情報学会、日本教育工学会、情報処理学会、人工知能学会、日本人間工学会、日本感性工学会各会員。

パネリスト：光原　弘幸（徳島大）
Smart Device を学びの Start Device にするには？ー防災教育システムの開発を通じて
［概要］ スマートデバイスを活用した教育・学習支援システムは、「いつでもどこでも」だけでなく、さまざまなセンサや人工知能技術を用いるなどして「その時その場その人」に適した教育･学習を提供できる。また、近年、小中学校へのスマートデバイス導入が盛んであり、子どもたちがスマートデバイスで学ぶ土壌も整いつつある。このような状況において、子どもを含めた幅広いユーザが興味を持ってスムーズかつ継続的に利用できるシステムが求められる。講演者は、興味を持ってスムーズかつ継続的に学ぶことが比較的難しい防災を対象として、タブレット端末やセンサ内臓 HMD を用いた防災教育システムを開発している。本講演では開発システムを紹介しながら、スマートデバイスを活用した教育･学習支援システムの理想像を考えてみる。
［略歴］ 1998 年近畿大学工学部卒。2000 年同大学院工業技術研究科博士前期課程修了。2003 年徳島大学大学院工学研究科博士後期課程修了。同年徳島大学工学部助手。現在、徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部講師。博士（工学）。Edutainment や Web-based Learning を含めた防災教育システムに関する研究開発に従事。

パネリスト：田村　恭久（上智大）
教育の情報化における電子教科書の役割
1987 年上智大学大学院博士前期課程修了。同年日立製作所システム開発研究所。1993 年上智大学助手。1996 年博士（工学）。現在同教授。専門分野は教育工学。e ラーニング、電子教科書、協調学習支援、スキル学習支援などを研究。ISO/IEC JTC1/SC36（Learning Technology）e-Textbook Project co-editor、ICT Connect 21 技術標準化 WG 座長、学習分析学会理事長、日本 e ラーニング学会理事、JEPA フェロー。

パネリスト：村上　正行（京都外大）
大学授業における教員・受講生の行動の可視化と授業雰囲気の推測
1997 年京都大学総合人間学部卒、2002 年京都大学大学院情報学研究科博士後期課程指導認定退学。2002 年京都外国語大学外国語学部講師、2003 年同大学マルチメディア教育研究センター講師、2007 年准教授、2015 年より現職。博士（情報学）。大学教育における ICT を活用した教育､FD に関する研究に従事。電子情報通信学会、日本教育工学会、教育システム情報学会、人工知能学会、大学教育学会、AACE など会員。

パネリスト：森本　康彦（東京学芸大）

教育分野における e ポートフォリオ活用の現状と課題

1991 年三菱電機株式会社・情報技術総合研究所にて基本ソフトウェアの開発に従事。1996 年広島市立牛田中学校教諭（数学）、2004 年千葉学芸高等学校教諭（情報）。その後、富士常葉大学准教授を経て、2009 年東京学芸大学准教授（現在に至る）。2007 年長岡技術科学大学大学院修了、博士（工学）。教育工学（特に、e ポートフォリオ、e ラーニング、ICT 活用教育）を専門とする。

パネリスト：西端　律子（畿央大）

教員養成系大学での COPE 実践

［概要］ 教員養成系大学において、Surface Pro を貸与することにより、教育の情報化に対応できる教員の養成を目指している。2014 年度の取り組み（当時の 1 年生 500 人に Surface Pro2 貸与）全体を通し、学生の変化や情報プレイスメントテストの結果について報告する。また、2015 年度の取り組み（新規に、1 年生 550 人に Surface Pro3 貸与）の一部も合わせて報告する。

［略歴］ 大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程修了。大阪府立工業高等専門学校助手、講師、大阪大学人間科学部助手、人間科学研究科助教を経て、畿央大学教育学部准教授、教授。博士（人間科学）。日本情報科教育学会、情報コミュニケーション学会理事。教育の情報化、特に特別支援教育の情報化に関する研究に従事。学生への Surface Pro 貸与をきっかけに MS Technology にも力を入れ始めている。

IT によって教育はどのように変わるか？
9 月 15 日（火）13:00-15:00［第 2 イベント会場（講義棟 1 階グリーンホール）］

［セッション概要］

JST のさきがけ「社会と調和した情報基盤技術の構築」（研究総括：安浦寛人（九州大学））では、より良い社会の実現を目的とする情報基盤の要素技術の研究と、それらの技術を対象とする社会と調和させるために必要な制度や運用体制、ビジネスモデルまでも含めた総合的な研究を幅広い分野の若手研究者が進めている。

本シンポジュームでは、IT による教育改革の可能性を、種々の角度から提案し、社会受容性や実現可能性等を技術的な側面と社会的な側面の双方から議論する。招待講演 1 件とさきがけの研究者からのショートプレゼンテーションを行い、参加者との議論を展開する。教育は、社会の健康管理ともいえる。個人や集団の教育情報の管理や活用などの社会的課題についても議論する。

●［13:00-13:05］挨拶・研究総括

安浦　寛人（九大）

1978 年京都大学工学研究院情報工学博士課程中退。工学博士。京都大学工学部情報工学科助手、同電子工学科助教授を経て、1991 年より九州大学大学院総合理工学研究科情報システム学専攻教授。九州大学大学院システム情報科学研究院教授および研究院長を経て、2008 年より国立大学法人九州大学理事・副学長。この間、（財）京都高度技術研究所研究室長、（財）九州情報システム技術研究所研究室長などを兼務。現在、（公財）福岡アジア都市研究所理事長を兼務。電子情報通信学会情報システムソサイエティ会長、JST さきがけ領域代表等も務めている。集積回路設計から社会情報基盤の研究まで、幅広く活動している。

●［13:05-13:30］講演（1）研究領域招待講演「デジタル教材の閲覧履歴を中心とした教育ビッグデータの利活用に向けて」

［講演概要］

本研究では、e-Learning システムなどの利用履歴やデジタル教材の閲覧履歴を統合して、教育ビッグデータを構成し、それを分析することによって教育の改善を行う取り組みを報告する。現在、この取り組みは、九州大学基幹教育を受講する学生 2,700 名を対象に行っている。

緒方　広明（九大）

徳島大学工学部卒、同大学院修了。博士（工学）。徳島大学工学部助手を経て、2013 年より九州大学基幹教育院教授。米国コロラド大学ボルダー校客員研究員（2001-2003 年）。JST さきがけ「情報環境と人」兼任研究員（2009-2013 年）。mLearn2009 Best Paper Award, ICCE 2009 Best Technology Design Paper Award, APSCE Distinguished Researcher Award 等受賞。モバイル学習、協調学習環境などの研究に従事。

●［13:30-13:50］講演（2）さきがけ研究者「個別学習環境におけるマルチモーダルインタラクション」

［講演概要］
対面での演習や家庭学習の環境では、ティーチングアシスタントや親などが、学び手自身に考え方などの説明を求めるとともに、理解の状況に応じて適切なヒントを出して気づきを促すという、インタラクティブな学習の場が形成される。オープンエデュケーションの個別学習では、このインタラクティブ性がしばしば失われるという問題に対し、本研究では、個々の学習者に寄り添うような対話型の学習支援システムを開発することで、学習者の特性に合わせたインタラクティブな働きかけによって、興味や学習意欲を喚起・維持することを目指している。特に本講演では、学ぶ側へ適切なフィードバックを行うための、学習者の理解の状況や集中度といった状態を、視線や表情等のメディア処理を通じて記録・推定する技術について紹介する。

川嶋　宏彰（京大）
2001 年京都大学大学院情報学研究科修士課程修了。博士（情報学）。2015 年より同大学院准教授。2010 年 6 月より 2012 年 6 月までジョージア工科大学客員研究員。2014 年 10 月よりさきがけ研究者。時系列パターンのモデル化や認識、画像メディア処理、マルチエージェントの分散協調制御の研究に従事。電子情報通信学会、情報処理学会、ヒューマンインタフェース学会、IEEE 各会員。

●［13:50-14:10］講演（3）さきがけ研究者「IT が変える教育ーソフトウェアによる学習意欲の維持」

［講演概要］
近年、情報通信技術（ICT）の教育分野に対する利活用が進んでいる。ICT 利活用の例として、黒板やノートを電子化するなど、教育現場の利便性を向上させる道具として導入されるケースや、反転授業と呼ばれるビデオによる事前学習を導入することで、従来と異なる教育手法を実現する技術として導入されるケースがある。以上のような ICT の導入によって、教育者が学習者のそばにいない状態でも学習可能な環境が整いつつある。一方、従来の ICT の導入例では、教材の提供等により学習者を支援することができても、学習者を褒めたり励ましたりして、学習意欲を維持する仕組みを備えていないことがあり、学習者の学習意欲を引き出して維持することが課題として残っている。本講演では、学習意欲を引き出すという課題に対して、ICT 技術を利用した手法について議論する。

坂本　一憲（NII）
2009 年早稲田大学コンピュータ・ネットワーク工学科卒。2010 年同大学大学院基幹理工学研究科修士課程修了。2013 年同研究科博士課程修了。同年国立情報学研究所特任助教を経て、2014 年より同研究所助教および科学技術振興機構さきがけ研究者となり現在に至る。博士（工学）。プログラミング教育、モチベーション、プログラム解析、ソフトウェアテストなどに興味を持つ。情報処理学会、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、ACM、IEEE 各会員。

●［14:10-14:30］講演（4）さきがけ研究者「脳情報と IT の融合による教育効果向上への試み ー脳情報の教育における有用性ー」

［講演概要］
私たちの脳は、生後のさまざまな環境に適応して学習する柔軟性を持っている。近年、脳科学の進歩により、非侵襲的に脳機能や構造の変化を捉えられるようになった。それに伴い、臨界期をすぎた成人の脳でも、外部入力に応じて脳が可塑的に変化する様子を可視化する事ができるようになった。このように、脳、特に人においては、遺伝子ばかりではなく、後天的（epigenetic）な要因が脳の形成、発育、修飾に非常に大きく関わっている事が明らかになってきた。そこでまず、成人の英語能力獲得に伴う脳の可塑的変化についての研究結果を中心に、能力獲得と脳可塑性についての紹介をする。その上で、能力獲得には欠かす事のできない、‘やる気’や‘忍耐強さ’に由来する、遂行能力と脳構造の関連性について紹介する。脳科学、IT 技術、学、教育、の融合による新しい観点から、あたらしい教育のあり方を検討する。

細田　千尋（JST）
2010 年 3 月東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程修了。博士号（医学）取得。国立精神・神経医療研究センター疾病研究第七部流動研究員、国際電気通信基礎技術研究所脳情報研究所専任研究員、東京大学大学院総合文科研究科生命環境科学系研究員を経て、2014 年 12 月～科学技術振興機構さきがけ研究員に着任。脳可塑性と個人特性、能力、モチベーション維持の関係性を研究主題とし、現在はさきがけ研究として、生体情報フィードバックを利用したテーラーメードオンライン教育システム開発をおこなっている。

● ［14:30-15:00］パネル討論

［討論概要］
4 名の講演を受けて、情報技術による今後の教育改革の可能性を、種々の角度から議論する。初等中等教育から高等教育、さらには生涯教育や社会人教育における変化、教育に関する学習者や教育者の各種情報の利用や管理などの新しい問題について幅広く議論する。また、教育学、心理学、脳科学などの知見を情報技術で結びつけ、教育効果の測定やアクティブラーナーの育成等、教育手法の改革と学習者のモーティベーションの向上・維持を支援する手法やシステムについても多角的な視点から意見交換を行う。社会受容性や実現可能性等を技術的な側面と社会的な側面の双方から議論し、参加者も交えて教育の将来像を展望する。個人や集団の教育情報の管理や活用などの社会的課題についても議論する。

司会：安浦　寛人（九大）
写真および略歴は「IT によって教育はどのように変わるか？」司会紹介を参照。

パネリスト：緒方　広明（九大）
写真および略歴は「講演（1）デジタル教材の閲覧履歴を中心とした教育ビッグデータの利活用に向けて」を参照。

パネリスト：川嶋　宏彰（京大）
写真および略歴は「講演（2）個別学習環境におけるマルチモーダルインタラクション」を参照。

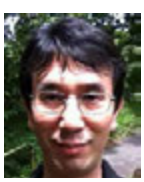
パネリスト：坂本　一憲（NII）
写真および略歴は「講演（3）IT が変える教育－ソフトウェアによる学習意欲の維持」を参照。

パネリスト：細田　千尋（JST）
写真および略歴は「講演（4）脳情報と IT の融合による教育効果向上への試み －脳情報の教育における有用性－」を参照。

学術研究におけるビッグデータの安全な活用はどこまで可能か？ 日本の研究力の飛躍的向上に向けて　［パネルセッション］

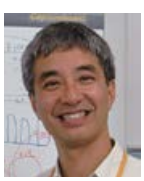
9 月 15 日（火）15:30-17:30［第 2 イベント会場（講義棟 1 階グリーンホール）］

［セッション概要］
現在、多くの学術分野で人間の行動分析が主要な研究テーマとなり、ビッグデータへのアクセスが研究の可否を決める大きな鍵になってきました。しかしプライバシー保護に対する懸念から異なる組織のデータを統合的に利用可能なデータ基盤の整備は進まず、複雑な社会システムのモデル化を伴う研究は困難です。本パネルセッションでは、自治体、企業等のデータ提供者、利用者であるデータ分析の研究者、そして情報基盤の構築に必要な情報セキュリティとクラウド技術の専門家を交え、学術研究のためのセキュアなデータ基盤の要件を整理し、最新のプライバシー保護技術の有効性、またその検証方法について議論します。



司会：南　和宏（統計数理研）
2006 年 US ダートマス大学コンピュータサイエンス学科 Ph.D. 修了。その後、イリノイ大学アーバナシャンペーン校、国立情報学研究所を経て、2014 年より現職。情報セキュリティ、特にビッグデータの中で個人のプライバシーにかかわる位置情報等の行動履歴データの匿名化、アクセス制御を専門とする。情報処理学会会員、コンピュータセキュリティ研究会運営委員、モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会運営委員。

パネリスト：長谷川　孝（横浜市）
1994 年自治省（現・総務省）入省。同省行政課主査、鹿児島県情報企画監、財政課長など、総務省管理課訟務専門官、選挙課企画官などを経て、2012 年に横浜市入庁。高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT 総合戦略本部）電子行政オープンデータ実務者会議構成員。



パネリスト：丸山　宏（統計数理研）
1983 年東京工業大学理工学研究科情報科学専攻修士課程修了、同年日本アイ・ビー・エム入社。ジャパン・サイエンス・インスティチュート（後の東京基礎研究所）で論理型言語、自然言語処理、機械翻訳、手書き文字認識、XML、Web サービス、セキュリティなどの研究に従事。2006 年 -2009 年同社東京基礎研究所所長。2011 年より現職。工学博士。

パネリスト：佐久間　淳（筑波大）
1997 年東京工業大学生命理工学部生物工学科卒業、2003 年 3 月同大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻博士後期課程修了。博士（工学）。同年 4 月日本アイ・ビー・エム株式会社入社、東京基礎研究所に配属。2004 年 7 月、東京工業大学総合理工学研究科助手、2007 年 4 月同助教、2009 年 4 月、筑波大学システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻准教授、2009 年 10 月、科学技術振興事業団さきがけ研究員兼任、現在に至る。機械学習と知識発見、セキュリティとプライバシの研究に従事。

パネリスト：花岡　悟一郎（産総研）
1997 年東京大学工学部卒業、2002 年同大学院工学系研究科電子情報工学専攻博士課程修了（博士（工学））、以降日本学術振興会特別研究員 PD を経て 2005 年産総研入所。現在、産総研セキュアシステム研究部門次世代暗号研究グループ長。効率的な公開鍵暗号方式の設計・安全性証明をはじめとする暗号・情報セキュリティ技術の研究開発に従事。英国計算機学会 The Wilkes Award（2007 年）、電子情報通信学会論文賞（2008 年）、暗号と情報セキュリティシンポジウム（SCIS）イノベーション論文賞（2012,2014 年）、電気通信普及財団賞（2005 年）、SCIS20 周年賞（2005 年）、SCIS 論文賞（2006 年）、情報理論とその応用シンポジウム（SITA）奨励賞（2000 年）等受賞。

パネリスト：伊藤　伸介（中大）
福岡県出身。九州大学大学院経済学府博士後期課程単位修得退学。博士（経済学）。2007 年明海大学経済学部専任講師。その後，同准教授を経て，2014 年 4 月より中央大学経済学部准教授に就任し，現在に至る。内閣官房 IT 総合戦略本部「パーソナルデータに関する検討会」技術検討ワーキンググループ構成員，内閣府統計委員会専門委員，国立開発研究法人科学技術振興機構「データシェアリングを利用した科学技術」に関する勉強会アドバイザー等を歴任。

新世代 XXX 乗っ取り作戦
9 月 16 日（水）9:30-12:00［第 2 イベント会場（講義棟 1 階グリーンホール）］

［セッション概要］
学会活動に限らず、日本活性のカギは若手にある。情報処理学会全国大会では研究会若手代表によるプレゼンにより研究会活動がアピールされた。それに対し、本企画では、企業家、NPO 代表、異能ベーション採択者、地元愛媛大学在校生など新世代 8 名から、研究開発への思い、研究開発環境への提言、自らのキャリア形成、起業のおもしろさなど、日ごろの思いを一人 15 分語ってもらい、新世代の思いを共有し、多くの新世代からのフィードバックを得る。

●［9:30-9:32］司会

土井　美和子（NICT）
1979 年東京大学工学系修士課程修了。1979 年東京芝浦電気（株）（現（株）東芝）入社。2002 年博士（工学）取得。2005 年（株）東芝研究開発センター技監。2009 年（株）東芝研究開発センター首席技監（2014 年退社）。2013 年大阪大学大学院情報科学科招へい教授。2014 年（独）情報通信研究機構（現（研）情報通信研究機構）監事。（株）国際電気通信基礎技術研究所客員研究員。東京農工大客員教授。

●［9:32-9:50］講演（1）「新世代電波乗っ取り作戦」

［講演概要］
情報ネットワークにどう接続しているのか意識することも無く、必要な情報が必要なタイミングで提供され、人と人とのコミュニケーションまでもがシームレスに実現する、そんな電波応用技術の展望を熱く語る。

松永　真由美（愛媛大）
福岡県福岡市出身。九州大学工学部情報工学科卒業、九州大学大学院システム情報科学研究科情報工学専攻修士課程および博士後期課程修了。博士（工学）。米国ウィスコンシン大学マディソン校留学。2000 年より愛媛大学工学部電気電子工学科に勤務。2005 年米国ワシントン大学客員教員。

●［9:50-10:08］講演（2）「新世代「Bluetooth/ZigBee/Wi-SUN/Z-Wave」乗っ取り計画」

［講演概要］
「マルチホップ無線通信は使えないし、そもそも不要である。」同時送信という新しい技術を武器に、こういった意見・偏見と戦っています。マルチホップ無線通信が、いかに有効な手段であるかを示すため、Choco と呼ばれるプラットフォームの開発および橋梁／農場などへの展開を進めています。研究開発のあり方、大学の役割など、日頃考えていることをお話します。

鈴木　誠（東大）
2005 年東大・工・電気卒。2007 年同大学院・新領域創成科学研究科・基盤情報学専攻修士課程了。2010 年同大学院・同研究科・同専攻博士課程了。科博。2008 年～ 2010 年日本学術振興会特別研究員。2010 年～ 2012 年東大・先端研・特任助教。現在、同大・先端研・助教。無線センサネットワーク、リアルタイムシステム、データ解析等の研究に従事。2010 年電子情報通信学会論文賞。

●［10:08-10:26］講演（3）「認証乗っ取り作戦」

［講演概要］
急速に拡大する ICT 社会において、自己を証明し相手を確認する「認証技術」は、セキュリティの根幹を成す最も基本的な要素として増々重要性を増している。これまでにない、安全・安心・便利なセキュリティ基盤の実現に向け、生体認証と暗号を融合した新たな認証技術の理論構築から実用化までの展望を語る。

高橋　健太（日立）
2000 年東京大学大学院理工学系研究科修士課程修了。同年（株）日立製作所入社。2012 年同大学院にて博士号（情報理工学）取得。現在、日立製作所研究開発グループ主任研究員、東京大学大学院客員准教授。情報セキュリティ、バイオメトリクス認証の研究開発に従事。2008 年度情報処理学会論文賞、2011 年 ACM SISAP Best paper、2012 年 IEEE BTAS Best reviewed paper、2014 年度情報処理学会長尾真記念特別賞等受賞。

●［10:26-10:44］講演（4）「質問イルカ乗っ取り作戦」

［講演概要］
近年、人工知能応用の分野で一定の発展がみられた。将棋プログラムの局面優劣評価性能は名人レベルに迫り、質問応答システムはアメリカのクイズ番組で人間チャンピオンに勝った。今こそ、アプリケーションのヘルプシステムやメーラーの機能等を可愛らしい動物たちが行う試みに本気で挑戦できるのではないだろうか。

保木　邦仁（電通大）
1998 年 3 月東北大学理学部化学系卒業。2000 年 3 月東北大学大学院理学研究科博士前期課程修了。2003 年 3 月東北大学大学院理学研究科博士後期課程修了。2003 年 5 月 -2006 年 5 月トロント大学博士研究員。2006 年 6 月 -2007 年 3 月東北大学大学院理学研究科研究支援者。2007 年 4 月 -2010 年 3 月東北大学大学院理学研究科助教。2010 年 4 月 -2010 年 7 月東北大学高等教育開発推進センター助教。2010 年 8 月電気通信大学先端領域教育研究センター特任助教。現在に至る。

●［10:44-11:02］講演（5）「教科書乗っ取り作戦」

［講演概要］
近年、教育における情報通信技術（ICT）の活用について活発に議論が行われている。本講演では、ICT（とくにネットワーク技術）の活用によって、従来の教科書に基づいた授業がどのように変わると考えられるか考察する。

遠藤　慶一（愛媛大）
2003 年 3 月京都大学工学部情報学科卒業。2005 年 3 月京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻修士課程修了。2008 年 3 月同専攻博士後期課程修了。博士（情報学）。2007 年 10 月愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻助教、2012 年 2 月同専攻講師、現在に至る。情報処理学会、電子情報通信学会、日本応用数理学会各会員。

● ［11:02-11:20］講演（6）「Hijack Mission of Smart Cities」

［講演概要］
In a world where everything needs to be smart, cities are not left out. Smart cities will witness the rise of innumerable interconnected devices. They will face multiple challenges, but will also present the incredible potential to promote human well-being, address society crises and preserve our beautiful Earth for future generations.

Verotiana H. Rabarijaona（NICT）
2005 年 Athenee Saint Joseph Antsirabe 大学理工学科卒業（マダガスカル）、2007 年同大学大学院理工研究科国際情報通信専攻修士課程修了。2007 年から 2011 年まで、文部科学省奨学金受領者。2012 年早稲田大学大学院国際情報通信研究科情報通信技術専攻博士過程修了。2012 年より、情報通信研究機構、スマートワイヤレス研究室研究員。

● ［11:20-11:38］講演（7）「異文化コラボレーション乗っ取り大作戦」

［講演概要］
グローバル化が加速し紛争拡大する今日、多文化共生の重要性が益々高まっている。言語や文化が異なる子供たちにボルネオ奥地から先進国まで気持ち重視の異文化コラボレーション基盤を展開する経験・想い・今後を語る。

高崎　俊之（パンゲア）
1999 年東京大学工学部精密機械工学科卒、2001 年同大学院新領域創成科学研究科修了（環境学修士）。2001 年～ 2004 年 MIT Media Lab 客員研究員。9.11 同時多発テロを機に、世界の子供たちが言語・距離・文化の壁を超え「つながり」を感じられる場を構築するプロジェクト Pangaea を MIT Media Lab で開始。2003 年 NPO 法人設立。2004 年・2006 年 IPA 未踏ソフトウェア創造事業採択。ピースエンジニアリングをスローガンとし、絵文字・機械翻訳・Webcam など用いた異文化コラボレーション環境をケニア・カンボジアを含む国内外フィールドに展開。

● ［11:38-11:56］講演（8）「バーチャルリアリティ乗っ取り作戦」

［講演概要］
全方位カメラやヘッドマウントディスプレイの普及にともない、実写系バーチャルリアリティが民主化しつつある。そんなバーチャルリアリティの現在と未来を考えてみたい。

青木　崇行（カディンチェ）
2009 年慶應義塾大学にて博士（政策・メディア）取得。ソニー株式会社を経て、カディンチェ株式会社・特定非営利活動法人パックスアースを設立。カディンチェでは室内空間表現技術やパノラマコンテンツホスティングサービスの研究や運営に従事。パックスアースではネパールでの教育・環境保全活動に従事。VR クリエイティブアワード 2015 優秀賞受賞。

● ［11:56-12:00］司会

松尾　昭彦（富士通研）
1987 年東京理科大学理学部物理学科卒、同年（株）富士通研究所入社。業務アプリケーションの保守や再構築に関する研究開発に従事。本会論文誌編集委員主査（書評・ニュース分野）、ソフトウェア工学研究会運営委員、第 66 回全国大会プログラム委員等を歴任。

災害コミュニケーションとその課題　［パネルセッション］
9 月 16 日（水）15:30-17:30［第 2 イベント会場（講義棟 1 階グリーンホール）］

［セッション概要］
千年に一度といわれた東日本大震災では、様々なことが明らかになりました。改めて、震災時における情報処理がどうあるべきであったかを検証し、また何が今後の南海トラフの脅威に向けて、情報処理技術者が今から何をなすべきかをパネルディスカッションを通して考えます。

司会：松本　直人（さくらインターネット）
1996 年より特別第二種通信事業者のエンジニアとしてインターネット網整備に従事。システム・コンサルタント、ビジネス・コンサルタントを経て 2010 年より現職。研究テーマはネットワーク仮想化など。3 ～ 5 年先に必要とされる技術研究に取り組み、世の中に情報共有することを活動基本としている。情報処理学会 インターネットと運用技術研究会 幹事。一般社団法人クラウド利用促進機構 総合アドバイザー。著書にオープンソース・ソフトウェアルータ Vyatta 入門、Vyatta 仮想ルータ活用ガイドなど多数。

パネリスト：渡邉　英徳（首都大）
台風についての災害コミュニケーションとその課題
1996 年東京理科大学理工学部建築学科卒業（卒業設計賞受賞）、1998 年同大学院修士課程修了、2013 年筑波大学大学院博士後期課程修了。博士（工学）。2001 年より株式会社フォトン代表取締役社長（現スーパーバイザー兼取締役）。2008 年より首都大学東京システムデザイン学部准教授。2014 年より佐賀大学医学部客員研究員。

パネリスト：八木　浩一（バンプレコーダー）
災害時の段差ビッグデータ活用の可能性とその課題
［概要］ 災害発生後のいち早い被災全体像把握は、その後の救援活動、復旧活動にとって重要な意味を持つ。従来は国、自治体、あるいは報道からの情報がほとんどだったが、インターネットの発達やスマートフォンの登場などにより、市民などからの情報を活用する取り組みも始まっている。本講演ではスマートフォンの内蔵センサーで走行中の車両の振動情報を収集し、道路の状態を判断することで自動的に道路被災状況を収集するしくみについて紹介する。これまで災害専用システムは普及しない、災害時に使い方が分からないなどの問題が発生しており、平常時のシステムを災害時に転用することが重要である。そのため同システムを道路維持管理に活用する取り組みに力を入れている。現状の道路維持管理との違いや期待される効果、日本および世界での動向についても紹介する。
［略歴］ 1990 年長岡技術科学大学創造設計工学専攻修士課程修了。同年 4 月トヨタ自動車入社。道路課金システム開発、生産管理システム開発に従事。2010 年から NPO 法人 ITS Japan に出向し、プローブ情報を担当。東日本大震災において自動車メーカー、ナビメーカーのプローブ情報をもとに作成された災害時通行実績情報を担当。2013 年 12 月にトヨタ自動車退職。バンプレコーダー株式会社代表取締役就任。現職。

パネリスト：畑山　満則（京大）
災害コミュニケーションとその課題
2000 年東京工業大学大学院総合理工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。2002 年京都大学防災研究所助手、2005 年同助教授、2007 年より同准教授となり、現在に至る。災害時の自治体情報システム、時空間 GIS、レスキュー活動支援システムに関する研究に従事。FIT2003 論文賞、山下記念研究賞（2004 年）などを受賞。土木学会、計測自動制御学会、地理情報システム学会などの会員。

第 6 回 相磯秀夫杯 デザインコンテスト
The 1st RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 予選
9 月 17 日（木）9:30-12:00［第 2 イベント会場（講義棟 1 階グリーンホール）］

［セッション概要］
高度化・多様化が進むコンピュータシステムの基盤技術を支える研究者・技術者の育成と交流・研究開発の成果検証を目的に、零和二人ゲームである Trax を題材とした設計コンテストを開催します。ゲームはルールが明確で評価がしやすく、また、それ自体が興味深いことから、情報処理の例題として盛んに用いられ、探索、データベース、機械学習、専用アーキテクチャなど広い範囲で大きな成果につながっています。
本企画では、参加者に、予め、FPGA 上の専用回路あるいはソフトウェアとして Trax プレーヤを設計してもらいます。当日は、参加者が設計したプレーヤを持ち寄り対戦させ勝敗を競います。システム設計技術・アーキテクチャ技術・リコンフィギャラブル技術・人工知能応用技術やヒューリスティック探索技術および関連技術について、先端の研究開発の成果をアピールする機会となることを目指します。

● ［9:30-10:00］司会

天野　英晴（慶大）
慶應大学理工学部情報工学科教授。

● [10:00-10:30] 司会

泉　知論（立命館大）
1992 年東京工業大学工学部情報工学科卒。1994 年同大学院電気電子工学専攻修士課程修了。1998 年同博士課程修了。博士（工学）。1998 年から 2005 年まで、京都大学大学院情報学研究科助手。2005 年より、立命館大学理工学部。現在、電子情報工学科准教授。また、1998 年より株式会社シンセシス主幹研究員を兼務。電子情報システムの設計ならびに設計技術、特にリコンフィギャラブルシステムに関する研究開発に従事。

● [10:30-11:15] 司会

大川　猛（宇都宮大）
2003 年東北大学大学院工学研究科電子工学専攻博士後期課程修了。同専攻でポスドクを 1 年間勤めた後、2004 年に産業技術総合研究所に入所。以来、組込み・FPGA 向けのソフトウェア・ハードウェア協調システム設計手法に関する研究に従事。2009 年から（株）トプスシステムズにて、独自のヘテロジニアスマルチコアの研究開発を行った後、2011 年 12 月に宇都宮大学大学院工学研究科情報システム科学専攻に着任（助教）。ACM、情報処理学会、電子情報通信学会各会員。

● [11:15-12:00] 司会

長名　保範（琉球大）
2006 年、慶應義塾大学大学院理工学研究科博士後期課程修了、2011 年から現職。計算機アーキテクチャ・リコンフィギャラブルシステムとその応用を研究。

第 6 回 相磯秀夫杯 デザインコンテスト
The 1st RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 本選
9 月 17 日（木）13:00-16:00［第 2 イベント会場（講義棟 1 階グリーンホール）］

［セッション概要］
高度化・多様化が進むコンピュータシステムの基盤技術を支える研究者・技術者の育成と交流・研究開発の成果検証を目的に、零和二人ゲームである Trax を題材とした設計コンテストを開催します。ゲームはルールが明確で評価がしやすく、また、それ自体が興味深いことから、情報処理の例題として盛んに用いられ、探索、データベース、機械学習、専用アーキテクチャなど広い範囲で大きな成果につながっています。
本企画では、参加者に、予め、FPGA 上の専用回路あるいはソフトウェアとして Trax プレーヤを設計してもらいます。当日は、参加者が設計したプレーヤを持ち寄り対戦させ勝敗を競います。システム設計技術・アーキテクチャ技術・リコンフィギャラブル技術・人工知能応用技術やヒューリスティック探索技術および関連技術について、先端の研究開発の成果をアピールする機会となることを目指します。

● [13:00-13:45] 司会

佐藤　幸紀（東工大）
2006 年東北大学大学院情報科学研究科・博士課程修了、博士（情報科学）。同年半導体ファブレスのベンチャー企業に入社し圧縮音楽再生専用マイクロプロセッサの研究開発や東北大学民間等共同研究員として携帯機器向けシステムの低電力化に関する研究開発に従事。2007 年より北陸先端科学技術大学院大学情報社会基盤研究センターにて高性能計算システムやその応用、カスタムコンピューティング技術に関する研究に従事。2015 年 4 月より東京工業大学学術国際情報センターにてメモリ階層対応プログラミングモデル・アーキテクチャ協調設計に関する研究開発やビッグデータ処理のアクセラレーションに関する研究に従事。

● [13:45-14:30] 司会

中原　啓貴（愛媛大）
2007 年九州工業大学大学院情報創成工学研究科博士後期課程修了。2007 年九州工業大学産学官連携研究員、2011 年鹿児島大学大学院理工学研究科助教を経て、現在、愛媛大学大学院理工学研究科講師。組込みシステム・リコンフィギャラブルシステム・電波天文用信号処理装置の研究に従事。2012 年第 11 回情報科学技術フォーラム（FIT2012）船井ベストペーパー賞を受賞。情報処理学会、電子情報通信学会、IEEE、ACM 各会員。

● ［14:30-15:15］司会

保木　邦仁（電通大）
2003 年東北大学理学研究科博士後期課程修了。2003 年からトロント大学博士研究員。2006 年には東北大学大学院理学研究科研究支援者。2007 年から同研究科助手。2009 年には東北大学高等教育開発推進センターへ移動。2010 年には電気通信大学先端領域教育研究センター特任助教。2015 年から現所属。

● ［15:15-16:00］司会

三好　健文（イーツリーズ・ジャパン）
2007 年東京工業大学院物理情報システム専攻博士課程修了。博士（工学）。同年東京大学情報理工学系研究科特任助教。東京工業大学情報理工学研究科産学官連携研究員、電気通信大学大学院情報システム学研究科助教を経て、2012 年株式会社イーツリーズ・ジャパンに入社、2014 年わさらぼ合同会社を設立，現在に至る。FPGA によるネットワーク処理アクセラレータの研究、開発や Java を入力言語とする高位合成処理系 Synthesijer の開発に従事。

シンギュラリティ問題が社会に与える影響
9 月 15 日（火）9:30-12:00［第 3 イベント会場（講義棟 1 階 講 11）］

［セッション概要］
シンギュラリティの実現まで 30 年といわれている。実現により人類文明が消滅する場合は「社会に与える影響」は考えなくてよいことになるが、シンギュラリティと文明が共存する可能性も高い。そこで、このイベントではそのような状況になった場合に人間の知能を超える人工知能と人間社会の共存における社会的な問題点の検討を行う。
(1) 人工知能の創作物の知的財産
(2) 人格をもった人工知能の人権
(3) 人工知能の製造責任や、社会問題を防ぐ規制、法制度

司会：原田　要之助（情報セキュリティ大）
1979 年、京都大学大学院工学部数理工学専攻を修了。電信電話公社（現 NTT）の研究所で通信ネットワークの監視、制御システムを開発。1996 年から、社会科学と情報通信の境界領域の観点から情報セキュリティを研究。1999 年に情報通信総合研究所に出向し、情報セキュリティ分野のコンサルティングと情報セキュリティ監査を実施。とくに、海外の国連傘下の機関の外部監査のチームリーダを務める。2010 年から、情報セキュリティ大学院大学教授。2013 年、Information Security Leadership Achievements（ISLA）の Senior Information Security Professional 部門を受賞。

● ［9:30-10:00］講演（1）「ビジネス倫理とシンギュラリティ」

［講演概要］
技術の進歩がヒトに終焉をもたらす事は未来の話である。しかし、ビジネスにおいては、究極的に合理性を追求することが倫理に反する事例は、しばしば見られている。リーマンショックでは、拡張しすぎた市場の力からの手痛い経験から学んだ。その結果を受けて、アメリカをはじめ、世界のビジネススクールではビジネス倫理が必須と見做されるようになっている。野放しの競争状態から節度をもったビジネスの環境は生まれるのだろうか、もしそうならば、技術の世界で節度を論じることにも意義があるのではないだろうか。このような疑問を踏まえた議論を展開していきます。

上杉　志朗（松山短大）
1989 年大阪大学経済学部卒業後、東京銀行、外務省国際機構課勤務。1998 年ハーバード大学大学院修士課程修了。2001 年大阪大学大学院博士後期課程修了。大阪大学博士（国際公共政策）。同年松山大学経営学部講師、2002 年同助教授、2009 年同教授。2015 年 4 月から現職。明治大学ビジネス倫理研究所研究員兼任。専門は経営情報論、情報倫理論、電子商取引論とくに IT Enabled Services。

●［10:00-10:30］講演（2）「あと 30 年で超知能が来る」

［講演概要］
米国の未来学者カーツワイルによれば､2045 年にはシンギュラリティ（技術的特異点）が到来するという。シンギュラリティとは、人間をはるかに超越する超知能が誕生することにより、科学技術が爆発的に進歩して、その後の人類の生活や文明が一変するときであると考えられている。超知能がどのようなものかは、意見が分かれている。人工知能をもとにした機械超知能、人間の能力を機械で知能増強した超人間、あるいは人間と機械の全地球的共生系であるかもしれない。カーツワイルの予想では 2029 年には人工知能の能力が人間並みになるとしている。その方向への研究は米国のグーグル、IBM、マイクロソフト、フェイスブック、米政府、EU などが膨大な投資をしている。それに比較して日本は圧倒的に遅れている。このままでは 1945 年に日本が米国に敗戦したように、100 年度の 2045 年には再度敗戦する可能性が高い。本講演では超知能完成への道のりについて示す。

松田　卓也（あいんしゅたいん）
1943 年生まれ、京都大学理学研究科博士課程修了後、京都大学工学部航空工学教室助手、助教授を経て、1992 年神戸大学理学部地球惑星科学科教授、2006 年に定年退官、神戸大学名誉教授。この間、ユニバーシティカレッジ・カーディフ客員教授、国立天文台客員教授、日本天文学会理事長を歴任。現在ジャパンスケプティックス会長、中之島科学研究所研究員。

●［10:30-11:00］講演（3）「法律の世界にシンギュラリティは来るのか？」

［講演概要］
法律の世界は一般的には、もっとも変革が遅いと言われている。その法律がシンギュラリティに対応できるのだろうか。そもそも法は人を対象に作られており、機械を前提にはできていない。コンピュータが登場した際のプログラムの保護や、製造物責任法制定時の無体物に関する議論などといった過去の経緯も参考に、今後の IT 技術の延長線上にある社会と制度をフィクションも交えながら想像する。

須川　賢洋（新潟大）
新潟大学大学院法学研究科修了（法学修士）。専門はサイバー法で、コンピュータ犯罪、デジタル知的財産、情報セキュリティ制度、デジタル・フォレンジックなど、先端技術と法律の関係を中心に研究。共著に「IT セキュリティカフェ―見習いコンサルの事件簿」（丸善）、「実践的 e ディスカバリ―米国民事訴訟に備える」（NTT 出版）、「デジタル・フォレンジック事典」（日科技連）など。

●［11:00-12:00］パネル討論「シンギュラリティ問題の本質」

［討論概要］
2045 年問題の本質は、AI を今後どのように進歩させることにあるかがポイントと考える。とくに、開発に対する倫理コードを決めたり、国際的な標準にしたがって管理された形で発展させることが必要と考える。今回は講演をベースに上記の観点から、全体としての方向性を探りたい。

司会：原田　要之助（情報セキュリティ大）
写真および略歴は「シンギュラリティ問題が社会に与える影響」の司会紹介を参照。

パネリスト：上杉　志朗（松山短大）
写真および略歴は「講演（1）ビジネス倫理とシンギュラリティ」を参照。

パネリスト：松田　卓也（あいんしゅたいん）
写真および略歴は「講演（2）あと 30 年で超知能が来る」を参照。

パネリスト：須川　賢洋（新潟大）
写真および略歴は「講演（3）法律の世界にシンギュラリティは来るのか？」を参照。

サイバーワールドの 10 年 ーこれまでと今後の展望ー
9 月 15 日（火）13:00-15:00［第 3 イベント会場（講義棟 1 階 講 11）］

［セッション概要］
サイバーワールド研究会を設立 10 年を記念し、Cyberworlds を取り巻く環境について、この 10 年間を振り返りつつ、今後の展望などについて講演・議論を行う。本研究会では、Cyberworlds 構築のために必要となるヒューマンインターフェース分野、情報処理分野、さらに Web サービス技術などのネット応用など、幅広い分野の最新の成果を統一的に俯瞰しつつ、各分野に通底する技術基盤を明らかにするとともに、今後の展望を得るための幅広い分野の方々と相互に意見交換を行う場を作ってきた。この 10 年間で我々の生活に変化をもたらした Cyberworlds について、これまでの研究会の活動を振り返りながら、今後の展望などについて議論を行う。

司会：磯　和之（NTT）
2000 年北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士前期課程修了。2000 年日本電信電話株式会社入社。主に、バーチャルリアリティ、3 次元映像を用いた映像コミュニケーションに関する研究に従事。現在、NTT メディアインテリジェンス研究所主任研究員。IEEE、情報処理学会、バーチャルリアリティ学会会員。

●［13:00-13:20］講演（1）「これまでのサイバーワールド ー当初の目的とその後ー」

［講演概要］
2005 年に設立されたサイバーワールド時限研究会が、これまで 10 年間で扱った様々な研究活動分野のうち、主に前半 5 年の部分について、まとめて報告する。

田中　英彦（情報セキュリティ大）
1970 年東京大学大学院博士課程修了、工学博士。東京大学工学部教授、同情報理工学系研究科教授・研究科長を経て、2004 年情報セキュリティ大学院大学教授、研究科長。2012 年同学長。計算機アーキテクチャ、分散処理、知識処理、デペンダブル情報システム等に興味を持つ。著書に「非ノイマンコンピュータ」「計算機アーキテクチャ」「Parallel Inference Engine」など。情報処理学会名誉会員、人工知能学会名誉会員、電子情報通信学会フェロー、IEEE ライフフェロー。

●［13:20-13:40］講演（2）「「宇」と「宙」から見たサイバーワールド」

［講演概要］
サイバーワールド研究会の担当期間における活動概要を紹介する中から、他の研究項目との空間的拡がりや繋がり、そして本分野の時間的発展深化の歩みを見い出して（見いだせたら良いのだが・・・）、その結果を基に問題提議をしたい。

羽鳥　好律（神奈川工科大／東工大）
1971 年東大・工・電気卒。同年国際電信電話（株）（現 KDDI）入社。工博。 2003 年から東京工業大学大学院総合理工学研究科教授。2015 年より神奈川工科大学客員教授、東京工業大学特命教授。現時点における（本人の認識としての）本務は、博士課程修了者のキャリア開発支援。研究に関しては、映像信号の高能率符号化方式、特に非直交関数系を用いた符号化方式の開発に執念を燃やしている。

●［13:40-14:00］講演（3）「サイバーワールドはどこへ向かうか？」

［講演概要］
サイバーワールドはバスワードながらも ICT が欠かせなくなった社会で無視できない概念である。生まれては消えていく ICT サービスが乱立する中で、長く生き続けるサービスに必要な要素をサイバーワールドの方向性とともに展望する。

井原　雅行（NTT）
1994 年東工大・修士了。同年、NTT ヒューマンインタフェース研究所入所。人間の好みのモデル化、価値観共有、ヒューマンアフォーダンスの研究等に従事。近年は災害時向け情報流通技術の開発、事業化に取り組む。2002-2003 年加国 New Media Innovation Center およびブリティッシュコロンビア大学にて客員研究員。現在 NTT サービスエボリューション研究所主幹研究員。工学博士。ACM、電子情報通信学会、情報処理学会、画像電子学会各会員。

●［14:00-15:00］パネル討論「新たなサイバーワールドフィールドマップを作る ー今後の発展領域と研究分野ー」

［討論概要］
今後の 10 年間のサイバーワールドに関する研究分野や発展領域について、パネリストを含め、本企画に参加いただいた様々な分野の研究者の方々と議論し、新たなサイバーワールドフィールドマップを構築する。

司会：磯　和之（NTT）
写真および略歴は「サイバーワールドの 10 年 －これまでと今後の展望－」の司会紹介を参照。

パネリスト：田中　英彦（情報セキュリティ大）
写真および略歴は「講演（1）これまでのサイバーワールド －当初の目的とその後－」を参照。

パネリスト：羽鳥　好律（神奈川工科大／東工大）
写真および略歴は「講演（2）「宇」と「宙」から見たサイバーワールド」を参照。

パネリスト：井原　雅行（NTT）
写真および略歴は「講演（3）サイバーワールドはどこへ向かうか？」を参照。

人工知能のため標準問題としてのゲーム研究
9 月 16 日（水）9:30-12:00［第 3 イベント会場（講義棟 1 階 講 11）］

［セッション概要］
これまで人工知能における標準問題としてさまざまなものが提案されてきた。代表的なものとしてはチューリングテスト、チェス･囲碁･将棋、ロボカップなどがある。そして、近年、様々なゲーム課題に取り組める AI の開発が進むなど、ゲームは AI 研究･開発の進捗を測るのに有効な対象といえる。本企画では、ここ最近、ゲーム的課題として提案されてきた、カーリング･ミニ四駆･人狼知能に、ロボカップで取り上げられているサッカーを加えた 4 つの対象領域での研究課題とロードマップを紹介する。パネルでは、それぞれの課題が人工知能研究における技術の比較・評価にどのような貢献が期待できるかを議論する。

司会：篠田　孝祐（電通大）
2004 年北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科 博士後期課程終了。博士（知識科学）、現在、電気通信大学 大学院情報システム学研究科　助教として、社会デザインのための自己組織化構造の研究に従事。マルチエージェントシステム、大規模社会シミュレーション、複雑系ネットワークに興味をもつ。人工知能学会、情報処理学会各会員。

●［9:30-10:00］講演（1）「標準問題としての人狼知能研究の可能性」

［講演概要］
これまで人工知能における標準問題としてさまざまなものが提案されてきた。代表的なものとしてはチューリングテスト、チェス・囲碁・将棋、ロボカップなどがある。それらの中でも、チェスや将棋のような完全情報環境下でのゲームでは、人間とコンピュータという対決での勝敗は見えつつある。これらゲームを人工知能研究の対象とするということを考えたとき、人工知能に求められることはゲームの勝敗による優劣よりも、人間と一緒になって楽しめるのにはどうするか、そしてゲームを通して人間が何を学べるのかという視点であると考える。本セミナーでは、コミュニケーションゲームの一つである人狼ゲームを対象としたゲームを計算機に実装しプログラム同士で人狼を行えるゲーム（人狼知能）の環境を整えることで、参加者の研究環境を整え人狼を対象とした研究を勧められるよう支援する。具体的には、人狼知能サーバに接続してゲームに参加するエージェントプログラムの実装を通してプログラム学習の推進を図るとともに、HAI ならびにマルチエージェントの研究への入り口となることを目指す。

篠田　孝祐（電通大）
写真および略歴は「人工知能のため標準問題としてのゲーム研究」司会紹介を参照。

●［10:00-10:25］講演（2）「カーリングを科学する」

［講演概要］
カーリングは、氷の上をハウスと呼ばれるエリアをめがけて滑らせて得点を競うウインタースポーツである。カーリングはその戦略性の高さから「氷上のチェス」と呼ばれているが、戦略の体系的な研究はあまりなされていない。戦略の研究を阻んでいる一つの要因に、氷上の氷の物理的な運動の不確定性がある。カーリングでは、髪の毛一本でも大きく軌道が変わると言われるほどストーンの動きが繊細な上、氷の状態は刻々と変化していく。戦略を議論する以前に、氷の状態を読むことなどのスキルの議論に終始してしまう傾向がある。カーリングの戦略性のみを抽出して議論するために、我々はデジタルカーリングという理想的なカーリングシートをコンピュータ上に提案することで、人でも人工知能でも同様にプレイできる場を提供することにした。講演では、この試みについて説明するとともに、不確定性を含むゲームの人工知能研究のチャレンジについて紹介する。

伊藤　毅志（電通大）
1994 年名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻修了（工学博士）。同年電気通信大学情報工学科助手。2007 年同大学助教。電気通信大学エンターテイメントと認知科学研究ステーション代表。情報処理学会ゲーム情報学研究会主査。コンピュータ囲碁フォーラム理事。将棋、囲碁など思考ゲームを題材とした人間の思考過程を調べる認知科学的研究に従事。著書には、「先を読む頭脳」「一人称研究のすすめ」など。

●［10:25-10:50］講演（3）「サッカーにおける戦術モデリングとシミュレーション」

［講演概要］
サッカーのような集団ゲームにおける選手の行動予測は難しいが、その中にも一定の規則性はあり、我々は選手の行動をある程度予測できる。サッカーには物理的な制約も多く、選手の行動決定を定量的にモデル化できれば、人工的な手段でもある程度の予測は可能であろう。これこそが、集団戦術のモデル化という意味で人工知能のチャレンジである。サッカーでは、ボール保持者のパス戦術の選択と他の味方の選手の判断が同じになった時に、戦術的な行動が実現される。一方の敵味方間では、相手チームの戦術選択を予測してそれを妨害する。その際、味方同士は練習にした基づく他者の意図推定が、敵同士はフェイントなどの騙しがあり、サッカーとは集団行動の視点では意図推定とだましのゲームである。講演では、我々が行ってきたパスコース選択における物理制約のモデル化と、ロボカップサッカーシミュレーションリーグにおける試合データからの、ありうるモデル化について議論する。

大森　隆司（玉川大）
1980 年東京大学工学研究科修了、1981 年東京大学助手、1987 年東京農工大学工学部講師を経て 88 年より同助教授、1998 年同大学電気電子工学科教授、2000 年北海道大学大学院工学研究科教授を経て、2006 年 4 月より玉川大学教授、現在にいたる。工学博士。脳という神経機構に知的な行動が生まれる情報的なメカニズムに興味があり、認知科学、人工知能、発達、神経科学などの諸学問を足をつっこみながら、心に関わる脳の情報処理過程の解明と工学的な方法による実現を試みている。日本認知科学会会長、電子情報通信学会フェロー。

●［10:50-11:15］講演（4）「ミニ四駆 AI 大会の意味するもの」

［講演概要］
AI 技術の実応用プラットフォームとして高速なミニ四駆を作ることを目指す。ここで提案するのは「安価高有用システム」のパラダイムであり、特注品でない、ばらつきや強い制限のある安価な大量生産品の中でこそ、知的で高度な学習や適応アルゴリズムの本領が発揮され、より便利な日常生活を作るための必要技術であるという考えである。大会として勝つ為の参加者どうしの競争の中で「使える技術」が熟成されることを期待している。この大会の狙いとこれまでに開催された結果の報告、今後の野望について話し、パネル討論を行なう。

西野　順二（電通大）
東京工業大学総合理工学研究科システム科学専攻退学。博士（工学）。福井大学情報工学科助手、同知能システム工学科、電気通信大学システム工学科を経て、同情報・通信工学専攻助教。2003 年 RoboCup 世界大会シミュレーションリーグチェア、2005 年 IPA 天才プログラマー。ファジィ理論、ゲーム情報学、知能ロボット、協調システム、ソフトコンピューティングに関する研究に従事。

●［11:15-12:00］パネル討論「ゲーム研究の人工知能への貢献とは」

［討論概要］
各ゲーム研究において、人工知能研究へどのような寄与が考えられるか、そして互いに連携するとしたらどのようなことができるのかを議論する。

司会：篠田　孝祐（電通大）
写真および略歴は「人工知能のため標準問題としてのゲーム研究」の司会紹介を参照。

パネリスト：伊藤　毅志（電通大）
写真および略歴は「講演（2）カーリングを科学する」を参照。

パネリスト：大森　隆司（玉川大）
写真および略歴は「講演（3）サッカーにおける戦術モデリングとシミュレーション」を参照。

パネリスト：西野　順二（電通大）
写真および略歴は「講演（4）ミニ四駆 AI 大会の意味するもの」を参照。

パネリスト：稲葉　通将（広島市大）
2012 年名古屋大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。同年広島市立大学大学院情報科学研究科助教、現在に至る。博士（情報科学）。対話システム、対話処理に関する研究に従事。

パネリスト：大澤　博隆（筑波大）
2009 年慶應義塾大学大学院開放環境科学専攻博士課程修了。同年、慶應義塾大学訪問研究員および米国マサチューセッツ工科大学 AgeLab 特別研究員。2010 年日本学術振興会特別研究員 PD に採択され、国立情報学研究所へ出向。同年から 2011 年にかけて JST さきがけ専任研究員に従事。2011 ～ 13 年まで慶應義塾大学理工学部情報工学科助教。2013 年より現在まで、筑波大学システム情報系助教。ヒューマンエージェントインタラクション、人工知能の研究に従事。人工知能学会、情報処理学会、日本ロボット学会、IEEE、ACM などの各会員。博士（工学）。

オノマトペ利活用技術の最前線　［パネルセッション］
9 月 16 日（水）15:30-17:30［第 3 イベント会場（講義棟 1 階 講 11）］

［セッション概要］
本企画では、従来主に自然言語処理的観点から取り組まれてきた「オノマトペ」の利活用技術について、近年「質感」というマルチメディア的観点からも注目されはじめていることをふまえて、その最新の研究動向を紹介する。当該分野において様々な側面から先端的な研究を行っている 5 名の司会者及び研究者をお招きし、分野全体の研究動向及び各自の研究についてご紹介いただいたうえで、今後の展開についてパネル討論を行う。これにより、マルチメディアやコミュニケーションの分野にも広がりつつあるオノマトペの利活用技術に関する動向を共有し、新しい研究の発展の契機となる議論をすることを狙っている。

司会：小松　孝徳（明大）
オノマトペの利活用研究のこれまでそしてこれから
2003 年東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士（学術）。2003 年公立はこだて未来大学システム情報科学部助手。2007 年信州大学ファイバーナノテク国際若手研究者育成拠点助教、2012 年信州大学繊維学部准教授、2013 年明治大学総合数理学部先端メディアサイエンス学科准教授、現在に至る。人間の「いい加減な能力」という視点から、人間と人工物とのインタラクションを考察する研究活動に従事。

パネリスト：坂本　真樹（電通大）
オノマトペ感性評価、自動生成、色彩推薦システムによる商品宣伝広告への利活用
1998 年東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士後期課程単位取得退学。博士（学術）。1998 年東京大学助手、2000 年電気通信大学電気通信学部情報通信工学科講師、同学部人間コミュニケーション学科准教授、総合情報学専攻准教授を経て、2015 年 4 月より同専攻教授。専門は認知科学、感性情報学。言語と五感の関係性を被験者実験により分析し、その知見を工学的に応用した研究に従事。

パネリスト：松下　光範（関西大）
コミックエ学とオノマトペ
1995 年大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻制御工学分野博士前期課程修了。同年日本電信電話株式会社入社。2008 年関西大学総合情報学部准教授。2010 年同教授、現在に至る。情報編纂、ヒューマンコンピュータインタラクションに関する研究に従事。博士（工学）。

パネリスト：柳井　啓司（電通大）

Web 大規模画像データを用いた画像とオノマトペの関係分析

［概要］ Web 上にはキーワードが関連付けられた「単語付き画像」が多数存在する。本講演では、オノマトペに関係した「単語付き画像」を Web から大量に収集し、オノマトペと画像の関係を分析した結果について報告する。近年、大規模物体認識のためのデータセットで学習した Deep Convolutional Neural Network DCNN) の活性化信号を bag-of-features や Fisher Vector などの代わりに画像特徴ベクトルとして用いることが物体認識やシーン認識、属性認識など様々な認識に対して有効であることが示されている。特に、DCNN 特徴を利用して、物体の質感や状態に関する直感的な印象を表す擬音語であるオノマトペの画像からの認識可能性について分析を行った結果を報告する。

［略歴］ 1995 年東京大学工学部計数工学科卒業。1997 年東京大学大学院情報工学専攻修士課程修了。1997 年電気通信大学情報工学科助手。2003 年～ 2004 年文部科学省在外研究員として米国アリゾナ大学に滞在。2006 年電気通信大学情報工学科准教授。2015 年電気通信大学大学院総合情報学専攻教授。博士学)。一般物体認識、マルチメディアデータマイニングなどに興味がある。情報処理学会、電子情報通信学会、人工知能学会、ACM、IEEE-CS の会員。

パネリスト：渡辺　知恵美（筑波大）

オノマトペによる料理レシピの検索

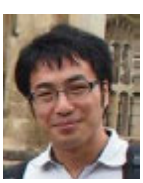
［概要］ オノマトペは形容詞や文章などで伝えきれないあいまいなニュアンスを伝えるのに重宝される言葉であり、事物の印象を伝える際によく使われる。本講演では料理レシピを対象にレシピの印象による検索システム「オノマトペロリ」の開発について紹介する。オノマトペロリでは料理レシピに含まれる材料、調理法、レビューに含まれる語とオノマトペとの共起度を用いて、レシピとオノマトペとの適合度を求め、料理レシピをランキングすることでオノマトペと印象の近いレシピを提示する。また、料理表現におけるオノマトペ間の類似関係を考慮するために各オノマトペとレシピを味に関する 15 次元の印象語特徴空間にマッピングし、特徴空間内の距離に基づいたレシピとオノマトペの適合度算出法を定義した。これらの適合度算出法を使って料理レシピのランキングすることにより、オノマトペを含まないレシピも対象に指定されたオノマトペと印象の近い料理レシピを検索することができる。

［略歴］ 1975 年生。筑波大学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻助教。2003 年お茶の水女子大大学院人間文化研究科博士後期課程修了。同年奈良女子大学理学部情報科学科助教、2005 年お茶の水女子大学理学部情報科学科講師、2013 年現職に至る。データベースシステムに関する技術、特にアウトソーシングデータベースにおけるプライバシ保護化処理、プライバシリスク提示などの研究活動に従事。情報処理学会、日本データベース学会会員。博士（理学）。

ビッグデータ解析のための機械学習技術
9 月 17 日（木）9:30-12:00［第 3 イベント会場（講義棟 1 階 講 11)］

［セッション概要］

ビッグデータを有効に活用するための技術として注目されている機械学習のチュートリアル企画です。機械学習はマーケティング、自然言語処理、画像分析など多様な分野で利用されています。また、情報通信技術やセンサ技術の発展とともに様々なデータが入手できるようになっており、機械学習の適用分野はますます広がっています。本企画では、3 人の機械学習研究者を招き、機械学習技術をやさしく解説するとともに、応用事例を紹介します。データを活用しきれていないと感じている学生や実務家を対象に、各自の課題に対してどのようにアプローチすればよいかを考える際に参考になる講演を行います。



司会：岩田　具治（NTT）

2001 年慶應義塾大学環境情報学部卒業。2003 年東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了。2003 年日本電信電話株式会社入社。2008 年京都大学大学院情報学研究科博士課程修了。博士 (情報学)。データマイニング、機械学習の研究に従事。

●［9:30-10:20］講演（1）「統計的パターンマイニング」

［講演概要］
マーケットバスケット解析に端を発するパターンマイニングは、共起して発現する遺伝子の検出や、特定の活性をもつ化合物が共有している構造の発見など、ビッグデータに潜む組合せ的構造を見つけるための中心的手法として研究が進み、超高速アルゴリズムが発達している。一方、データから発見した知識の信頼性を担保するためには、統計的手法による分析が欠かせない。本講演では、パターンマイニングと多重検定法を融合した、最新の統計的パターンマイニング手法について紹介する。

杉山　麿人（阪大）
2006 年京都大学工学部情報学科卒業。2012 年京都大学大学院情報学研究科知能情報学専攻博士課程修了。京都大学博士（情報学）。独マックスプランク研究所研究員、フンボルト財団ポスドクフェローを経て、2014 年から大阪大学産業科学研究所助教。JST さきがけ研究者を兼任。機械学習、データマイニングの研究に従事。

●［10:20-11:10］講演（2）「Deep Learning の基礎と応用」

［講演概要］
Deep Learning は主に音声認識や画像認識を中心に様々なタスクにおいて大幅な性能改善を果たし、これらの分野において避けては通れない技術となっている。さらに近年では自然言語処理や質問応答などにも適用されるなど、適用範囲はさらに広がっている。現在成功している Deep Learning は巨大なニューラルネットを基礎としたもので、アルゴリズムとしては誤差逆伝播法と確率的最適化の単純な組み合わせだが、ニューラルネット自体の設計には様々な工夫が必要となる。本講演では、Deep Learning の応用例に触れながら、その背後で使われる基礎技術やノウハウを解説し、実際の使い方も簡単に紹介する。

得居　誠也（Preferred Networks）
2010 年、東京大学理学部数学科卒業。2012 年、東京大学大学院情報理工学研究科修士課程修了。同年、株式会社 Preferred Infrastructure 入社。2014 年、株式会社 Preferred Networks 入社。機械学習、特に深層学習の技術を映像認識や IoT に応用するための技術研究・開発に従事。

●［11:10-12:00］講演（3）「コンパクトなデータ表現による機械学習」

［講演概要］
日々のビッグデータ処理において、大規模かつ多様性のあるデータからモデルを学習し、意味のある情報を抽出しなければならい状況がよくある。このような状況において、データをコンパクトに表現してモデルを学習することは、ビッグデータ処理における有効なアプローチの一つである。そこで、本講演では始めに、locality sensitive hashing（LSH）や minwise hashing（minhash）などのハッシュ法と大規模データ上でのモデル学習との関わりを紹介する。次に、データを圧縮した状態で様々な操作を提供する簡潔データ構造が、省メモリーかつ高速にデータから意味のある情報を抽出することにどう貢献するかを説明する。適用例として、大規模文書分類データ、評判分析データ、ドラッグ - ターゲット相互作用データなどを用いた実験結果を提示する。

田部井　靖生（JST）
2009 年 9 月東京大学大学院新領域創成科学研究科情報生命科学専攻博士号（科学）取得。2009 年 10 月産業技術総合研究所生命情報工学研究センター（日本学術振興会 PD）。2010 年 4 月科学技術振興機構 ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト研究員。2013 年 10 月現職。

講演論文集の内容

発行日　平成 27 年 8 月 24 日

講演論文集　第 1 分冊

査読付き論文
- 分野 A：モデル・アルゴリズム・プログラミング
- 分野 C：ハードウェア・アーキテクチャ

一般論文
- 分野 A：モデル・アルゴリズム・プログラミング
- 分野 B：ソフトウェア
- 分野 C：ハードウェア・アーキテクチャ

講演論文集　第 2 分冊

査読付き論文
- 分野 D：データベース
- 分野 F：人工知能・ゲーム

一般論文
- 分野 D：データベース
- 分野 E：自然言語・音声・音楽
- 分野 F：人工知能・ゲーム
- 分野 G：生体情報科学

講演論文集　第 3 分冊

査読付き論文
- 分野 I：グラフィクス・画像
- 分野 J：ヒューマンコミュニケーション＆インタラクション
- 分野 K：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

一般論文
- 分野 H：画像認識・メディア理解
- 分野 I：グラフィクス・画像
- 分野 J：ヒューマンコミュニケーション＆インタラクション
- 分野 K：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

講演論文集　第 4 分冊

査読付き論文
- 分野 L：ネットワーク・セキュリティ
- 分野 N：教育・人文科学
- 分野 O：情報システム

一般論文
- 分野 L：ネットワーク・セキュリティ
- 分野 M：ユビキタス・モバイルコンピューティング
- 分野 N：教育・人文科学
- 分野 O：情報システム

講演論文集　DVD-ROM

上記全論文およびプログラムを収録（著者、所属、キーワードによる索引付き）

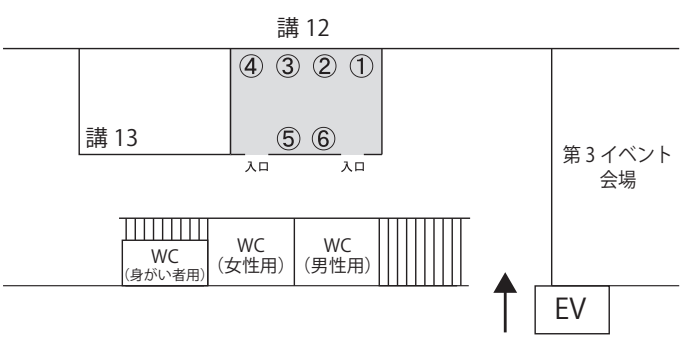
展示会の御案内

FIT2015 では会期中、以下による展示会を開催いたします。
展示会場：共通教育講義棟　講義室 12
展示日時：9 月 15 日（火）・16 日（水）9：30 ～ 17：00、17 日（木）9：30 ～ 15：00

ブース番号	出展者名・出展者 Web サイト・展示名 展示概要
①	**株式会社インフォテック・サーブ**（http://www.infotech-s.co.jp/） 情報技術教育用の教材＜展示と教材見本送付（無料）の受付＞
	■■■　教材見本の展示　■■■ アルゴリズム／ Java ／ C 言語／システム開発／ PBL ／データベース／オブジェクト指向／基本情報技術者試験／ IT パスポート試験／応用情報技術者試験…他 ■■■　教材見本送付（無料）の受付　■■■ 次年度以降の教材検討用に，教材見本の無料送付を展示ブースで受付けます。 ■■■　会社紹介　■■■ 1998 年に設立し，「情報技術教育用の教材出版」を中心に手掛けています。 全国の大学・企業・専門学校・高等学校等 400 を超える団体に採用いただき，指導ガイド・スライド教材・確認テスト等の補助教材が充実しているのが特徴です。一般書店への陳列は行っていないため，内容の確認ができる展示ブースへお立ち寄りください。 （※教材開発や基本情報技術者試験の午前試験免除制度に関するご要望も承ります。）
②	**パンドウィットコーポレーション**（http://www.panduit.co.jp/） 物理レイヤーセキュリティーと電源マネージメントソリューション
	最高のセキュリティー、それは繋げないこと、そして抜かせないこと。パンドウィットはネットワークの物理層ソリューションのマーケットリーダーとしてシンプルでリーズナブルなセキュリティーソリューションのご紹介、展示をさせて頂きます。また、ネットワークのラック内、ラック群の環境監視、電力使用量監視の可能な製品群の展示をさせて頂きます。
③	**株式会社　愛媛キャンパス情報サービス**（http://www.ecis.co.jp/） e-learning と授業支援システム
	愛媛大学発情報系ベンチャー企業として、この種の企業の設立は、全国の旧国立大学では最初。当初の計画によって、①大学内部の状況を熟知したシステムやウェブサイトの開発と、②情報系学生・院生の実学体験、をテーマに掲げ、その方向で進んでいる。大学関係で開発したいくつかのシステムの中で、学生が自分の情報端末でアクセスし、講義中に教員の指示に従って、ミニテストやアンケート等に回答する授業支援システムを中心に展示する。
④	**PTC ジャパン株式会社**（http://ja.ptc.com/） IoT 向け開発プラットフォーム PTC ThingWorx のご紹介
	PTC ThingWorx は、IoT 向けの開発プラットフォームでセンサー等のデバイスからの情報データをドラックアンドドロップの簡単操作により従来の 10 倍の高速で開発処理を行います。また可視化のための 50 以上のウィジェットも用意されております。現在、学校向けに IoT アカデミックプログラムを行っており、PTC サーバ上でデータの分析、可視化にもご使用頂けます。
⑤	**富士通株式会社**（http://www.fujitsu.com/jp/） 富士通が提供するソリューション
	キャンパスクラウド他ネットワーク活用事例を展示。
⑥	**株式会社 UBIC**（http://www.ubic.co.jp/） 人工知能による、非構造化テキストからの情報発見―法務・知財・医療・マーケティング分野における活用例
	ビジネスで利用される様々なデータのビッグデータ化が進んでいます。それはメールや報告書など日常的なものから、電子カルテや特許のような専門的な文書まで及びます。 このような状況の中、業務遂行のための価値ある情報をビッグデータの中から見つけ、活用することが、困難になってきています。専門性が高く、高度な判断が要求されるような業務であれば尚更です。また、ビッグデータ化は、量のみならず、利用されるデータそのものの複雑化・多様化を伴っている場合が多く、これも効率的な情報発見を妨げる要因となっています。 人工知能による、情報発見のサポートは、このような状況を打破するために有効です。UBIC の人工知能は、非構造化テキストの中から、弁護士や調査士、病院スタッフといったエキスパートの判断を学び、大量データに対する判断の代替を行います。大規模なシステムリソースを必要とせず軽量であること、少量データからの学習が可能であるといった UBIC 人工知能の特徴を踏まえながら、いかに人工知能が、ビジネス現場の情報発見において人間をサポートすることができるのか、事例を交えつつご紹介いたします。

展示会場図

①株式会社インフォテック・サーブ
②パンドウィットコーポレーション
③株式会社　愛媛キャンパス情報サービス
④ PTC ジャパン株式会社
⑤富士通株式会社
⑥株式会社 UBIC



査読付き論文について

情報処理学会および電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループが共同開催する情報科学技術フォーラム（FIT: Forum on Information Technology）は、2002 年に創設され今回が第 14 回となる日本の情報科学分野最大の学会大会である。査読採択論文は各分野の講演論文集に収録されている。

FIT2015 では、本フォーラムで最も特徴となる FIT 査読付き論文について、情報分野のより一層の活性化を目指すべく、前回と同様の「コンファレンスペーパー」としての査読に加えて、優秀な論文を FIT として情報処理学会または電子情報通信学会の論文誌へ推薦する「論文誌推薦制度」を継続した。査読はこれまでと同様、各分野に分野責任者を置き、各研究会から推薦された担当委員と協力して、それぞれの分野および研究会で独立に論文査読を行った。

以上の過程を踏まえて、6 月 8 日に査読会議を開催し、採択論文の決定、船井ベストペーパー賞・FIT 論文賞候補論文の決定、論文誌への推薦論文候補を決定し、それに引き続きプログラム編成会議で FIT2015 プログラムを策定した。論文査読を行った各分野の投稿数、採択件数、採択率は次の通りである。

	投稿数	採択件数	採択率
A：モデル・アルゴリズム・プログラミング	4	3	75.0%
B：ソフトウェア	-	-	-
C：ハードウェア・アーキテクチャ	14	12	85.7%
D：データベース	6	1	16.7%
E：自然言語・音声・音楽	2	0	0%
F：人工知能・ゲーム	12	8	66.7%
G：生体情報科学	-	-	-
H：画像認識・メディア理解	-	-	-
I：グラフィクス・画像	13	6	46.2%
J：ヒューマンコミュニケーション＆インタラクション	11	6	54.5%
K：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用	24	6	25.0%
L：ネットワーク・セキュリティ	10	4	40.0%
M：ユビキタス・モバイルコンピューティング	-	-	-
N：教育・人文科学	1	1	100%
O：情報システム	35	21	60.0%
合計	132	68	51.5%

以下の 5 編は、FIT2015 学術賞選定委員会が採択された査読付き論文の中から所定の選定手続きを経て選んだ船井ベストペーパー賞 3 編・FIT 論文賞 2 編である。

船井ベストペーパー賞

・RA-001 正モジュラ関数の最適化
　　○石井 利昌（北海道大学）・牧野 和久（京都大学）
・RF-007 マルコフ的動的分散制約最適化問題への非厳密解法の適用
　　◎増田 清貴・松井 俊浩（名古屋工業大学）
・RK-001 OpaqueLusion: 動的マスクを用いた多層空中像におけるオクルージョン表現
　　◎梶田 創・小泉 直也・苗村 健（東京大学）

FIT 論文賞

・RC-003 ファイル格納位置制御による Hadoop MapReduce ジョブの性能の向上
　　◎藤島 永太・山口 実靖（工学院大学）
・RO-019 採点ミス発見支援システムの開発 : ～部分点と採点記号の認識を用いた採点ミス発見手法～
　　◎西川 雅清・松尾 賢一（奈良工業高等専門学校）

最後になったが、多忙の中、査読プロセスの運営および論文賞候補選考にご尽力頂いた FIT2015 プログラム委員会および FIT2015 学術賞選定委員会の方々、限られた短期間で論文査読の責務を果たして頂いた査読者の方々に深く感謝する。

FIT2015 プログラム委員会
FIT2015 学術賞選定委員会
委員長　佐藤　敦

A 分野：モデル・アルゴリズム・プログラミング（第 1 分冊）

[プログラミング]
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　1A 会場（講義棟 2 階 講 23）　座長　富永　浩之（香川大）

A-001　変数値域限定による充足可能性判定効率化手法の検討 ……◎中山寛己・千代英一郎（成蹊大）
A-002　文法推論に基づくシステム仕様からのモデル生成高速化手法の検討 ……◎金子　舟・千代英一郎（成蹊大）
A-003　（講演取消）
A-004　混合型時間アンビアント計算の CTL モデル検査 ……樋口昌宏・◎稲森啓太（近畿大）
A-005　混合型時間アンビアント計算の記述性 ; Timed Mobile Ambient との比較 ……◎藤坂吉秀・樋口昌宏（近畿大）
A-006　（講演取消）
A-007　JavaScript へのオウン変数機能と関数クローニング機能の追加 ……◎柏倉　歩・大谷　真（湘南工科大）

[アルゴリズム]
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　2A 会場（講義棟 2 階 講 23）　座長　河村　泰之（愛媛大）

RA-001　正モジュラ関数の最適化 …… ○石井利昌（北大）・牧野和久（京大）
RA-002　区分線形関数に対する最適合成順問題の計算量 …◎河瀬康志（東工大）・牧野和久（京大）・勢見賢人（トーア再保険）
A-008　内部 3 連結グラフの外 7 角格子凸描画 ……○三浦一之（福島大）
A-009　ZDD のトップダウン構築における変数順序付け法の実験と考察 ……◎伊藤　華・井上祐馬・湊　真一（北大）
A-010　ビット数の大きな整数の乗算アルゴリズムの実験的性能評価 ……◎橋本翔太・上土井陽子・若林真一（広島市大）

[コンピュテーション]
9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　3A 会場（講義棟 2 階 講 23）　座長　河村　泰之（愛媛大）

A-011　正規表現の接頭辞及び接尾辞を用いた NFA 構成法の実験的評価 ……○南波龍一・宮本純平・山本博章（信州大）
A-012　A Semigroup of Homomorphisms Based on Vertex Connectivity of Weighted Directed Graphs
……○國持良行（静岡理工科大）
A-013　ファジィ符号について ……◎大橋由侑・荒木智行（広島工大）
RA-003　キャッシュの効果を考慮したルーフラインモデルの拡張によるプログラムの性能予測 …… ○南　一生（理研）・井上俊介（富士通システムズ・イースト）・千葉修一（富士通）・横川三津夫（神戸大）
A-014　ペトリネット状態空間生成器への高効率ハッシュマップの適用 ……◎古市隼汰・和崎克己（信州大）
A-015　ペトリネット設計検証ツール HiPS における On-the-fly LTL モデル検査器 ……◎張江洋次朗・和崎克己（信州大）

[数理モデル化と問題解決]
9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　4A 会場（講義棟 2 階 講 23）　座長　但馬　康宏（岡山県大）

A-016　（講演取消）
A-017　サッカーの攻守推移のモデルからのパスの抽出 ……◎佐藤祐亮・山中　亮・大塚　寛（愛媛大）
A-018　観光情報源種別による旅行者の共感状態が旅行先決定過程に与える影響
……◎金子将之・中平勝子・岡本満喜子（長岡技科大）
A-019　16 進数コードの出現状況に着目したバッファオーバーフロー攻撃の特徴抽出
……◎南後吉秀（中大）・松田　健（静岡理工科大）・園田道夫・趙　晋輝（中大）
A-020　線形分類器によるクロスサイトスクリプティング (XSS) 攻撃の検知に関する考察 …… ◎梅原章宏（中大）・松田　健（静岡理工科大）・園田道夫（中大）・水野信也（静岡理工科大）・趙　晋輝（中大）
A-021　IoT に向けたシステム融合に関する一考察 ……○三木良雄（工学院大）
A-022　Bag of Systems を用いた運転行動解析
…… ○柏倉俊樹・三宮千尋・田中雄介・栗原慶典・那和一成（トヨタ IT 開発センター）

B 分野：ソフトウェア（第 1 分冊）

[ソフトウェア開発]
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　5A 会場（講義棟 2 階 講 23）　座長　土屋　達弘（阪大）

B-001　アプリケーションの挙動に影響を及ぼしている要因の測定方法に関する考察 ……○井上哲哉（所属なし）
B-002　工数予測支援ツール e^3の機能拡張と追加評価 ……◎古田雄基・楠本真二・肥後芳樹（阪大）
B-003　オープンソースソフトウェア開発におけるコミュニティ活動の課題分析とその解決方法の提案
…… ○夏目貴史・市原裕史・市川俊一・坂井　博（NTT）
B-004　VDM++ 分散モデル実行環境を用いたプロトタイピングと非同期 UI への適用 ……◎多田圭佑・和崎克己（信州大）
B-005　エンドユーザ向けゲーム開発ツールの試作：トランプゲームを対象としたオブジェクトベースの解釈実行方式
……◎米澤　剛・中所武司（明大）

[ソフトウェア科学・知識・教育]
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　6A 会場（講義棟 2 階 講 23）　座長　飯島　正（慶大）

B-006　コレスポンデンス分析におけるデータ変動の影響 ……○井田正明（大学評価・学位授与機構）

※ このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2015 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

B-007　バレーボール動画におけるサーブデータ抽出に関する研究 ……◎菊池拓磨・小嶋和徳・伊藤慶明（岩手県大）
B-008　プログラミング教育におけるオブジェクトの構成比率による課題プログラムの分類と特徴 ……○野口孝文（釧路高専）
B-009　Java メソッドの純粋性の変化と不具合の混入および除去に関する調査
……◎小倉直徒・楊　嘉晨・堀田圭佑・肥後芳樹・楠本真二（阪大）
B-010　MDA: その数学的定式化 ……○中村正治（所属なし）

［高性能計算］
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7A 会場（講義棟 2 階 講 23）　　座長　横川　三津夫（神戸大）
B-011　HPC システムにおける障害監視および動的再構成機能 …… ○齊藤隆之（アンクル）・善甫康成（法大）
B-012　ストレージイベント駆動型ジョブ制御システム：TaNAS……○平松和剛・齊藤隆之（アンクル）
B-013　スイッチを用いないトーラス接続 PC クラスタの実装と評価 ……○福永隆文（熊本技術短大）
B-014　結合ソフトウェア ppOpen-MATH/MP の性能評価と最適化
…… ○荒川　隆・井上孝洋（海洋研究開発機構）・松本正晴・佐藤正樹（東大）
B-015　GPU による回遊中心性及び利便中心性の並列計算 ……◎大石真生・渡邉貴之（静岡県大）
B-016　（講演取消）
B-017　無誤差演算のための最小演算精度の提案と評価 ……◎井川尚幸・古賀雅伸（九工大）

［システムソフトウェアと OS］
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1B 会場（講義棟 2 階 講 24）　　座長　毛利　公一（立命館大）
B-018　システムコール発行頻度に基づくバッファキャッシュ制御法における重要度更新の遅延方式
……◎寺岡明彦・山内利宏・谷口秀夫（岡山大）
B-019　仮想化環境におけるゲスト OS ページキャッシュの監視によるホスト OS ページキャッシュのヒット率の向上
……◎杉本洋輝（工学院大）・光来健一（九工大）・山口実靖（工学院大）
B-020　ハイパバイザによる災害警報通知 ……○大山恵弘（電通大）
B-021　CPU 資源の割当て制御による KVM の動作制御評価
…… ◎森山英明・木下椋司・菅沼　明（有明高専）・山内利宏・谷口秀夫（岡山大）
B-022　通信制御サーバを用いた AnT の OS サーバ入替え機能の評価……◎澤田　淳・山内利宏・谷口秀夫（岡山大）
B-023　ファイル読み込み処理における AnT オペレーティングシステムの OS サーバの優先度逆転抑制法の評価
……◎鴨生悠冬・山内利宏・谷口秀夫（岡山大）

［ソフトウェアテスト・検証］
9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　　3B 会場（講義棟 2 階 講 24）　　座長　山本　博章（信州大）
B-024　故障木図からのモデル検査式導出手法の提案 ……○長田知之・原内　聡（三菱）
B-025　組み合わせテスト集合生成におけるテストケース候補数の最適化について ……◎大橋　輝・土屋達弘（阪大）
B-026　Java プログラムの逆方向解析 ……◎稲船哲也・平中幸雄・武田利浩（山形大）
B-027　受け入れテスト駆動開発による実行可能な仕様に関する検証結果
……○張　　嵐・藤井　拓・木村めぐみ（オージス総研）

C 分野：ハードウェア・アーキテクチャ（第 1 分冊）

［専用計算機とアーキテクチャ］
9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4B 会場（講義棟 2 階 講 24）　　座長　三好　健文（イーツリーズ・ジャパン）
RC-001　カスタム計算機におけるメモリレイアウト最適化のためのチューニングツールの開発
……新垣　誠・喜屋武克樹・平井裕介・仲宗根宏貴・○長名保範（琉球大）
RC-002　FPGA 上でのデュアルパイプラインを用いた BLOB 検出と前方車両検出への応用
……○野尻直人・孟　　林・山崎勝弘（立命館大）
C-001　ストレージの高性能化へ向けた汎用ハードウェアによるキャッシュメモリの設計
……◎坂下悠貴・工藤晋太郎・揚妻匡邦（日立）
C-002　拠点間高可用ストレージを実現するデータ二重化方式 ……◎長尾　尚・斎藤秀雄・川口智大（日立）
C-003　高速度デジタルホログラフィのための専用計算回路の並列化 …… ○増田信之・松田美由妃・臼倉圭亮・
難波慎太郎（東理大）・的場駿介・角江　崇・下馬場朋禄・伊藤智義（千葉大）
C-004　A Gradable Electric Equipment based on Open Source Platform with Linked Open Data …… ○大橋　正（iLICT）

［コンピュータシステム］
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5B 会場（講義棟 2 階 講 24）　　座長　天野　英晴（慶大）
RC-003　ファイル格納位置制御による Hadoop MapReduce ジョブの性能の向上……◎藤島永太・山口実靖（工学院大）
RC-004　シングル空間光位相変調器用マルチ GPU クラスタシステムによる計算機合成ホログラムの計算高速化
…… ◎庭瀬裕章・藤原将人・荒木啓充・前田祐貴（高知大）・中山弘敬（国立天文台）・
角江　崇・下馬場朋禄・伊藤智義（千葉大）・高田直樹（高知大）
RC-005　デジタル補聴器用 DSP を対象とした非同期式直列加算器
…… ◎近藤真史（川崎医療福祉大）・岡本大地・横川智教・有本和民・佐藤洋一郎（岡山大）
C-005　スレッドレベル並列投機実行のためのデータ値予測機構 …◎小路勇気・布目　淳・平田博章・柴山　潔（京都工繊大）
C-006　クラウド型知的照明システムによる大規模オフィス環境での照明制御における制御コンピュータにかかる
負荷検証とメモリ使用量削減手法の提案 ……◎中原蒼太・三木光範・松下昌平・間　博人（同志社大）
C-007　クラウド型知的照明システムを用いる際に制御コンピュータの CPU の負荷軽減手法の検討
……◎提中慎哉・三木光範・松下昌平・間　博人（同志社大）

※ このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2015 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

[システムと LSI の設計技術]
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6B 会場（講義棟 2 階 講 24）　　座長　曾　剛（名大）

RC-006　多重様相論理による遅延依存非同期回路の形式検証体系
……○西村俊二・久我守弘・飯田全広・尼崎太樹・末吉敏則（熊本大）
RC-007　屈折数および交差数による論理回路図の視認性評価法 ……◎原　一彰・山口賢一・岩田大志（奈良高専）
C-008　A High Density Escape Routing Method for Staggered-Pin-Array Based Mixed-Pattern Signal Model
……◎徐　倩影・潘　鉄源・張　　然・田　　楊・渡邊孝博（早大）
C-009　A Novel Routing Algorithm based on Path Diversity and Congestion Estimation
……◎洪　　揚・曾　　瀛・蒋　　欣・渡邊孝博（早大）
C-010　自己学習型超解像に適用する K-means クラスタリング処理のハードウェアによる実現
……◎村田大智・切山亜弓・雫　　譲・廣瀬哲也・黒木修隆・沼　昌宏（神戸大）
RC-008　分散型リアルタイムプライシングにおける需要供給量予測とスケーラブルシミュレータの開発
……◎三浦政司・桜間一徳（鳥取大）
RC-009　DRC 検証作業の負荷を軽減するシステムの開発…… ○亀井智紀（早大 /TOOL）・渡邊孝博（早大）

[組込みシステム]
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7B 会場（講義棟 2 階 講 24）　　座長　枝廣　正人（名大）

C-011　小型描画 IC による低コスト機器向け GUI プラットホーム ……◎行田知晃・向井卓也（三菱）
C-012　A System Generator for a Distributed Real-Time Operating System with Distributed Shared Memory
…… ◎ Truong Thi Doan・田村宥士・兪　明連・横山孝典（東京都市大）
C-013　センサやデバイスに着目した要求分析方法の提案 ……◎下山直起・松野　裕・平山雅之（日大）
C-014　アクティビティ図生成機能を付加した Simulink・UML モデル変換ツール
……◎田中亨祐・黒木裕太・横山孝典・兪　明連（東京都市大）
C-015　Energy Efficient Motion Capturing System Using Functional Vision Sensor …… ◎ Georgios Dikaros・Ioannis Papakostas（半導体エネルギー研 /KTH Royal Institute of Technology）・前田修平・王丸拓郎・池田隆之・山崎舜平（半導体エネルギー研）
C-016　GNSS を用いた時刻同期機能を有するリアルタイム OS……◎松原彩音・兪　明連・横山孝典（東京都市大）
C-017　危険要素抽出に基づく高安全知能システムの高品質化と VLSI プラットフォーム …◎大河原茂樹・亀山充隆（東北大）

[ディペンダブルシステム]
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1C 会場（共通教育講義棟 3 階 講 31）　　座長　金川　信康（日立）

RC-010　A Method for Aging Estimation of CMOS Circuits Using Ring Oscillators ……○三浦幸也・池田龍史（首都大）
C-018　BIST 環境下におけるメルセンヌ・ツイスタアルゴリズムの評価
……◎吉田拓弥（奈良高専）・里中沙矢香（奈良先端大）・山口賢一・岩田大志（奈良高専）
C-019　On-line Divided Diagnosis for High-availability Systems ……○真矢　譲（日立）
C-020　組込み自己診断におけるテストパターン系列の診断能力に関して
…… ○宮本夏規・村上陽紀・王森レイ・樋上喜信・高橋　寛（愛媛大）・大竹哲史（大分大）
C-021　適応的消失訂正符号化とデータ圧縮によるディスクアレイの修復バンド幅の削減 …◎長谷川雄大・金子晴彦（東工大）
RC-011　一般化 BP アルゴリズムを用いた LDPC 符号復号回路の設計と評価 ……○橋本顕義・森野東海（日立）
RC-012　系統間交換型誤り検出符号によるフォールトマスク冗長系の一提案 ……○岩井仁司（所属なし）

D 分野：データベース（第 2 分冊）

[情報抽出]
9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　　3C 会場（共通教育講義棟 3 階 講 31）　　座長　藤原　真二（日立）

D-001　極小生成子を用いた負の相関ルール抽出の高速抽出アルゴリズム
……◎佐生隼一・岩沼宏治・山本泰生・黒岩健歩（山梨大）
D-002　Detecting Reused Contents in Text Documents …… ◎ Pei Wang・Chuan Xiao・石川佳治（名大）
D-003　潜在意味解析などを利用した英文用例の自動生成
……○来住伸子（津田塾大）・岸　康人（神奈川大）・久島智津子・田近裕子（津田塾大）
D-004　SVM による商品レビューの評価値の根拠となる語の抽出…○清瀬太一朗・湯本高行・新居　学・上浦尚武（兵庫県大）
D-005　オンラインショップで購入できない土産を提示するシステムの構築 ……◎長尾哲志・安藤一秋（香川大）
D-006　料理知識の自動抽出による料理概念ベースの構築 ……◎岡田篤典・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）

[情報推薦]
9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4C 会場（共通教育講義棟 3 階 講 31）　　座長　山口　実靖（工学院大）

D-007　個人情報を重視した時事情報提供手法 ……◎津田健太郎・後藤和人・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
D-008　印象語フィルタを用いた映画推薦方式 ……◎有本裕亮・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
D-009　個人の嗜好情報を考慮した旅行提案システム ……◎久保田賢人・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
D-010　イベント履歴に基づくレコメンデーション機能の開発 ……○浦田啓介・成　凱（九産大）
D-011　ゲームにおけるレコメンダの研究開発 - 重み付け攻撃対策 -……○張　亜偉（電機大）
D-012　SNS での注目度と教育的知識に基づいた小学生のための Web ニュースランキング手法
……◎田中翔也・安藤一秋（香川大）

[情報推定]
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5C 会場（共通教育講義棟 3 階 講 31）　　座長　波多野　賢治（同志社大）

D-013　スパースコーディングを用いた熱間薄板圧延の異常検知に関する一検討 … ◎永島元貴・菅沼　睦・亀山　渉（早大）・
手塚知幸・今成宏幸・篠永裕之・新田勤子（東芝三菱電機産業システム）
D-014　（講演取消）
D-015　エレベーター動作履歴に基づく乗場待ち客数の推定 ……○田口　浩・鈴木直彦・鹿井正博（三菱）
D-016　現在待ち時間の見える化による通院患者の不満軽減に関する提案 ……◎中本陽一・藤原明生（神戸情報大）
D-017　マイクロブログを用いた生物季節観測によるピーク期推定手法の検討 …… ○遠藤雅樹（職能開発大 / 首都大）・
廣田雅春（大分高専）・大野成義（職能開発大）・石川　博（首都大）
D-018　料理レシピサイトから抽出される特徴に基づいた調理時間予測 ……◎阿部卓也・立間淳司・青野雅樹（豊橋技科大）

[情報分類]
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6C 会場（共通教育講義棟 3 階 講 31）　　座長　安藤　一秋（香川大）

RD-001　低次元特徴空間におけるランダムフォレストを用いた書誌同一性判定の性能評価
……◎中島良平（日立）・高須淳宏・安達　淳（NII）
D-019　デンドログラムに基づくグラフィカルなクラスタ分析支援ツールの開発
……◎筧　和政・青砥直弘・蓬莱尚幸（茨城高専）
D-020　機械学習による商品レビューの文の役割の分類 ……◎民岡佑規・湯本高行・新居　学・上浦尚武（兵庫県大）
D-021　係り受け関係に基づく多義語の語義曖昧性解消法 ……◎宮崎義隆・塩井隆円・波多野賢治（同志社大）
D-022　テキストマイニングを用いた金融時系列変化点の要因分析 …◎東　明翔・山崎高弘・大野麻子・常盤欣一朗（阪産大）

[Web データ応用]
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7C 会場（共通教育講義棟 3 階 講 31）　　座長　蓬莱　尚幸（茨城高専）

D-023　昔の住所を持つ人物の地図上への表示 ……◎張　　鋼・村上晴美（大阪市大）
D-024　マイクロブログからの口コミ情報抽出に関する研究 ……◎友利明央・青江順一・泓田正雄・森田和宏（徳島大）
D-025　Hadoop を用いた電子書籍ユーザのアクセスデータ分析 …… ○佐藤　哲（NHN PlayArt）
D-026　クエリ情報を用いた多言語タグ付けの効果 ……◎高橋有礼・菱山玲子（早大）
D-027　書籍のキャッチコピー自動生成に向けたキャッチコピーの収集と分析 ……◎橋本浩典・安藤一秋（香川大）
D-028　データ取得制限のある Deep Web からのサンプルデータ収集方式
……杜　　翔・大森　匡・○藤田秀之・新谷隆彦・邱　　原（電通大）
D-029　位置・方向情報付写真群を用いた Data storytelling に向けた Storyline 構成手法
……◎相楽翔太・藤田秀之・大森　匡・新谷隆彦（電通大）

[情報検索アルゴリズム]
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1D 会場（共通教育講義棟 3 階 講 32）　　座長　青野　雅樹（豊橋技科大）

D-030　再帰的な DCC 戦略による mCK 検索の高速化……◎邱　　原・大森　匡・新谷隆彦・藤田秀之（電通大）
D-031　Efficient Top-k Dominating Query on Uncertain Database ……◎余　　翔・徳山　豪・全　眞嬉（東北大）
D-032　Centroid Path Decomposition によるダブル配列の検索の高速化
……◎上野祐聖・神田峻介・泓田正雄・森田和宏・青江順一（徳島大）
D-033　多様な移動体連続検索の為の道路網距離での safe-region 高速生成方式…… ○大沢　裕・Htoo Htoo（埼玉大）
D-034　Generalized Vicinity Query Algorithm in Road Network Distance……○ Htoo Htoo・Yutaka Ohsawa（埼玉大）

※ このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2015 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

［DBMS］
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　　2D 会場（共通教育講義棟 3 階 講 32）　　座長　大森　匡（電通大）
D-035　スケールアップ指向のインメモリデータベースエンジン開発
……◎礒田有哉・友田　敦・牛嶋一智・田中　剛・上村哲也・花井知広・青木英郎・山本祐介（日立）
D-036　SQLite へのハッシュ結合の導入と評価 …… ◎片山大河・嶋村　誠・山地　圭・
金松基孝（東芝インダストリアル ICT ソリューション社）
D-037　列指向型データ格納可能な RDBMS の問合せ内述語に基づく問合せ処理最適化 …◎塩井隆円・波多野賢治（同志社大）
D-038　データ仮想化における効率的なクエリ処理手法の提案
……◎米田信之・渡辺泰之・齋藤和広・村松茂樹・小林亜令（KDDI 研）
D-039　ディスク I/O を考慮した KVS の動的ノード追加時間の短縮手法の一考察
……◎御代川翔平・徳田大輝・藤島永太・山口実靖（工学院大）
D-040　機器データ向け時系列追記型データベース管理システムの評価 ……◎藤井雄規・郡　光則・高山茂伸（三菱）

［データ基盤］
9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　　3D 会場（共通教育講義棟 3 階 講 32）　　座長　大沢　裕（埼玉大）
D-041　サービス利用状況に着目した情報格差観測データ流通基盤の設計 ……◎岩田翔汰・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
D-042　シミュレーションデータの分析管理のためのデータウェアハウスについて
……石川佳治・◎王　元元・董テイテイ・杉浦健人・佐々木勇和（名大）
D-043　複数ドメインのデータストリームにおける意味的な複合イベント検出について
……◎佐々木勇和・石川佳治・杉浦健人（名大）
D-044　機械学習によるセンサー異常値検出 …… ◎栗原慶典・根山　亮・三宮千尋・那和一成（トヨタ IT 開発センター）
D-045　MapReduce 上の編集距離結合における 2 段階ハッシュ分割技法の効果……○大森　匡・今野篤人・新谷隆彦（電通大）
D-046　応用の動作情報を用いたデータ保存位置の最適化による仮想化環境におけるストレージ電力の低減
……◎谷貝俊輔・山口実靖（工学院大）

E 分野：自然言語・音声・音楽（第 2 分冊）

［音楽情報処理］
9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4D 会場（共通教育講義棟 3 階 講 32）　　座長　帆足　啓一郎（KDDI 研）
E-001　高調波成分の畳み込みによる多重音解析法の有効性の検証 ……◎岩元建悟・安達　季・大田健紘（日本工大）
E-002　Twitter を用いた Web 上の投稿にもとづくヒット現象解析によるパフォーマーの TV 主演時の分析の手法の検討
……◎川畑泰子（東大）・源田悦夫（九大）・石井　晃（鳥取大）
E-003　時間指定を考慮したメドレー曲自動生成手法に関する研究 ……◎柏田　成・獅々堀正幹・大野将樹（徳島大）
E-004　Proposal of strategic piano learning method
-Train the self-discipline force by the combined water exercises with BGM- …… ○堀川澄弘（AI-Culture）
E-005　リズム練習支援のためのリアルタイム発音検出手法の検討
……◎松尾章弘・原　佑輔・土江田織枝・山田昌尚（釧路高専）

［自然言語処理・基礎］
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5D 会場（共通教育講義棟 3 階 講 32）　　座長　松本　和幸（徳島大）
E-006　句構造に着目した作家の文体の類似性 ……◎佐原諒亮・岡留　剛・金川絵利子（関西学院大）
E-007　標準語用のパラメータを流用した岡山弁向け統計的形態素解析 ……◎福圓琢真・但馬康宏・菊井玄一郎（岡山県大）
E-008　構文情報を考慮した検索英文集合に対する汎化手法
……◎天野　翼・渡部孝幸（静岡大）・田中省作（立命館大）・宮崎佳典（静岡大）
E-009　英文と日本語文の両文に適応可能なリーダビリティ指標の検討 ……◎赤木信也・納富一宏（神奈川工科大）
E-010　クラウドソーシング翻訳のコスト削減のための翻訳者割り当て手法の提案
…… ◎江原　遥（NICT）・馬場雪乃（京大）・内山将夫・隅田英一郎（NICT）

［自然言語処理と Web］
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6D 会場（共通教育講義棟 3 階 講 32）　　座長　奥村　紀之（香川高専）
E-011　掲示板における炎上分析のためのノイズ除去手法 ……◎前川和輝・松本和幸・吉田　稔・北　研二（徳島大）
E-012　Q&A サイトを対象にした地域別土産物情報収集ツール ……◎川野　覚・溝渕昭二（近畿大）
E-013　文法的な表現を手がかりとした宿泊施設レビュー文の意見分類 ……◎大塚達也・立間淳司・青野雅樹（豊橋技科大）
E-014　Twitter を用いたニューストピックにおける少数意見の抽出 ……○熊田研治・久保田稔（千葉工大）
E-015　影響力の範囲を考慮した Twitter における影響力推定手法 ……◎岡本拓馬・松本和幸・吉田　稔・北　研二（徳島大）
E-016　ニコニコ動画におけるコメント分布の相関に着目した不正動画検出
……◎清水隼人・松本和幸・吉田　稔・北　研二（徳島大）
E-017　子供向け Web サイト収集のためのクローリング手法の検討……◎泉川洸一郎・安藤一秋（香川大）

［自然言語処理・応用］
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7D 会場（共通教育講義棟 3 階 講 32）　　座長　江原　遥（NICT）
E-018　ブロック単位の語句の出現頻度に基づく特許分類支援システムの提案 ……○榑松理樹（岩手県大）
E-019　動詞概念と名詞概念の共起関係に基づく事象における名詞概念の選択：
統合物語生成システムにおけるストーリー生成のための機構 ……◎小野淳平・小方　孝（岩手県大）
E-020　分割誤りに頑健な新語のカテゴリ分類 ……◎山田達史・松本和幸・吉田　稔・北　研二（徳島大）

E-021　常識的大きさ判断システムにおける大きさの曖昧性を表現可能な未知語処理手法
……◎竹中　愼・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
E-022　修飾関係を利用してニュース記事を表形式に要約する手法
……◎中西隆博・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
E-023　少数キーでの入力が可能な携帯端末向け Web 検索手法の有効性について……○松原雅文（岩手県大）

[音声情報処理]
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1E 会場（共通教育講義棟 4 階 講 41）　　座長　西村　竜一（和歌山大）
E-024　会話ロボットにおける繰り返し応答の生成 …… ◎村田匡輝（豊田高専）・大野誠寛・松原茂樹（名大）
E-025　Joining-in-type Humanoid Robot Assisted Language Learning Systems
……○ AlBara Khalifa・谷添友哉・石田　充・加藤恒夫・山本誠一（同志社大）
E-026　運転中等に用いる音声対話継続システム ……◎橋本拓観・小嶋和徳・伊藤慶明（岩手県大）
E-027　（講演取消）
E-028　ウェアラブル端末向けシングルチャネル音声区間検知の一検討 ……○須藤　隆（東芝）
E-029　周波数領域における離散 Gaussian の畳み込みによる高精度な高速 Gabor wavelet 変換
……◎石川貴宣・荒井秀一（東京都市大）
E-030　離散ガウシアンと Gabor スペクトルとの時間 , 周波数畳み込みによる局所時空間領域での分解能変換
……◎高木雅之・荒井秀一（東京都市大）

F 分野：人工知能・ゲーム（第 2 分冊）

[ユーザモデルと応用]
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　　2E 会場（共通教育講義棟 4 階 講 41）　　座長　峯　恒憲（九大）
F-001　投票者モデルに基づくユーザ影響度分析 ……◎永倉卓弥・小林えり・斉藤和巳（静岡県大）
F-002　Balanced Random Forest を用いた特徴量抽出に基づく重症度判定システムの構築
……◎山田雄基・濱上知樹（横浜国大）
RF-001　時間減衰付きカテゴリ選択モデルを用いたレビュー傾向分析
……◎伏見卓恭・佐藤哲司（筑波大）・斉藤和巳（静岡県大）・風間一洋（和歌山大）
F-003　洋上映画視聴によって船酔いを軽減する上映法の研究
……◎趙　　慧・高橋周平・井上康之・河合敦夫・井須尚紀（三重大）
F-004　ユーザー行動データによる回遊中心性の拡張 … ◎岩崎一輝・鈴木優伽・斉藤和巳（静岡県大）・風間一洋（和歌山大）
F-005　最尤推定による回遊行動モデリング …… ◎鈴木優伽・斉藤和巳（静岡県大）・風間一洋（和歌山大）

[知能ロボット]
9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　　3E 会場（共通教育講義棟 4 階 講 41）　　座長　菅原　俊治（早大）
F-006　ZMP 安定領域に基づくヒューマノイドロボットの立位姿勢保持スイッチング制御
……◎前田紘希・加藤昇平・中村宗広（名工大）
F-007　画像・音声刺激を用いた対話的逐次学習から獲得された知識の捨象による言語シンボル概念獲得モデル
……◎椎野友博・荒井秀一（東京都市大）
F-008　音声の音響的特徴を考慮した感情を付与した音声合成手法
……◎平井秀人・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
F-009　ステレオカメラと距離センサを用いた障害物検出による知能ロボットの自律移動手法
……◎打井裕基一・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
F-010　一般物体認識における画像知識ベースの雑音除去手法の提案
……◎高岡賢人・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
F-011　係り受け関係を考慮した難解な語句を平易な表現へ変換する手法の提案
……◎財満利希・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）

[AI 応用システム]
9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4E 会場（共通教育講義棟 4 階 講 41）　　座長　大囿　忠親（名工大）
RF-002　医師国家試験を自動解答するプログラムの構築
……◎伊藤詩乃・田中佑岳・佐藤健吾・洪　　繁（慶大）・狩野芳伸（静岡大）・榊原康文（慶大）
RF-003　時空間情報を考慮した統計モデルに基づく観光スポットのランキング手法 ……◎山岸祐己・斉藤和巳（静岡県大）
F-012　小売店の内側エリアにおける顧客の行動パターンと購買額に関する分析
……◎大畑善裕・大野麻子・山崎高弘・常盤欣一朗（阪産大）
F-013　地域活性化のためのスマートフォンアプリを用いた実店舗および商品の推薦
……○酒井政裕・高　明淑・西沢孝浩・阿部真美子（東芝）
F-014　非タスク指向型対話システムの比較評価 ……◎竹村圭祐・大村英史・太原育夫（東理大）

[ゲームに勝つ人工知能]
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5E 会場（共通教育講義棟 4 階 講 41）　　座長　保木　邦仁（電通大）
F-015　ペンタゴの完全解析結果に基づいた完全プレーヤーの設計 ……○神保秀司・小林祐貴（岡山大）
F-016　コンピュータ大貧民におけるモンテカルロ法プログラムとの対戦でのヒューリスティック要素の効果
……◎田頭幸三・但馬康宏・菊井玄一郎（岡山県大）
F-017　不確実性を含むカーリングにおける先読み手法の提案と有効性検証 ……◎加藤　修・飯塚博幸・山本雅人（北大）

※ このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2015 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

[学習とアルゴリズム]
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6E 会場（共通教育講義棟 4 階 講 41）　　座長　清　雄一（電通大）

F-018　クエリ分布を考慮した一般化ピボット法の距離定義による特性評価
……◎小林えり・斉藤和巳・池田哲夫（静岡県大）・青山一生・服部正嗣（NTT）
F-019　SpikeProp において余分なスパイクを抑制する学習法 : ネットワーク構造の自動調整による構造依存性の軽減
……◎松本　崇・高瀬治彦・川中普晴・鶴岡信治（三重大）
RF-004　時系列シンボルから頻出な部分列を抽出するニューラルネットワークに関する一考察
……◎森田賢太（東海大）・高瀬治彦（三重大）・森田直樹（東海大）
F-020　集中多段交叉（CMX）の定量的評価手法の研究……◎久我元士・髙橋良英（八戸工大）
F-021　MEET 演算を用いた組合せ集合間の類似度の定義と応用
……◎竹内文登・鈴木浩史・白石恒介・井上祐馬・湊　真一（北大）
F-022　Earth Mover's Distance を用いた記事関連度計算方式における高速化手法
……◎八尾学人・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
F-023　Passive-Aggressive アルゴリズムにおける更新パラメータの改良 ……◎吉田幸平・大村英史・太原育夫（東理大）

[機械学習]
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7E 会場（共通教育講義棟 4 階 講 41）　　座長　岩田　具治（NTT）

F-024　Gaussian-Bernoulli restricted Boltzmann machine に対する平均場近似
……◎高橋茶子・安田宗樹（山形大 / 科学技術振興機構）
F-025　反辞書確率モデルを用いた監視カメラの人物異常行動の検出
… ◎酒井啓正・森田啓義・眞田亜紀子（電通大）・陳　　鞏（インフォメーション・ディベロプメント）
F-026　データ多様体の内在的リーマン空間への等長埋め込みと非線形次元削減への応用 ……◎藤田裕也・趙　晋輝（中大）
F-027　回帰分析を用いた企業価値評価モデルの構築と検証 ……◎田中綾乃・荒川正幹（宇部高専）
F-028　単体測度に基づく位相多様体の次元推定と多様体学習への応用 ……◎田﨑　元・趙　晋輝（中大）
F-029　Artificial Bee Colony における学習パラメータの影響に関する検討 ……◎竹内広樹・荒川正幹（宇部高専）
F-030　デジタル危険予知訓練システム開発のための回答文の正否判定システムの開発
……○箕輪弘嗣（岡山商科大）・藤本宏美（岡山県大）・竹内孔一（岡山大）
F-031　音環境理解のための音データ分類に関する一手法 ……○河本　満・幸島明男・車谷浩一（産総研）

[エージェントと最適化]
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1F 会場（共通教育講義棟 4 階 講 42）　　座長　松原　繁夫（京大）

RF-005　外部性を考慮した複数枠入札に対応可能なスポンサードサーチオークション ……◎今田隆資・藤田桂英（農工大）
RF-006　分散制約最適化問題の解法 DUCT における冗長なサンプリング結果の削減……◎冨板雅大・松井俊浩（名工大）
RF-007　マルコフ的動的分散制約最適化問題への非厳密解法の適用 ……◎増田清貴・松井俊浩（名工大）
F-032　（講演取消）
F-033　知的照明システムにおける照度実現可能範囲の数理計画法による推定と可視化
……◎山口周平・三木光範・上南遼平・間　博人（同志社大）
RF-008　整数計画法による変数選択を用いた店舗選択モデル …… ◎佐藤俊樹（筑波大）・高野祐一・中原孝信（専大）

[知能システム]
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　　2F 会場（共通教育講義棟 4 階 講 42）　　座長　大原　剛三（青学大）

F-034　屋外広告の多目的最適化に関する研究 ……◎土斐崎龍一・佐藤寛之・坂本真樹（電通大）
F-035　マルチエリア型人感センサを用いた在席・離席検知と知的照明システムへの応用
……◎寺井大地・三木光範・上南遼平・川田直毅・間　博人（同志社大）
F-036　辞書引き支援による協調的外国語学習支援システムの試作 ……◎鈴木智也・丹羽佑輔・大囿忠親・新谷虎松（名工大）
F-037　学生の SNS 利用実態の調査とプライバシー漏洩リスク評価に関する検討……◎山下晃弘・松林勝志（東京工業高専）
F-038　画像・音声刺激から学習した近時記憶の睡眠時想起による言語シンボル概念獲得モデル
……◎佐藤一生・荒井秀一（東京都市大）

G 分野：生体情報科学（第 2 分冊）

[ME とバイオ情報学]
9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　　3F 会場（共通教育講義棟 4 階 講 42）　　座長　神原　裕行（東工大）

G-001　くも膜下出血モデル動物に関する行動評価指標の検討 …… ○中村和浩・
武藤達士（秋田県立脳血管研究センター / 東北大）・佐々木一益・瀧　靖之（東北大）・
石川達哉（秋田県立脳血管研究センター）
G-002　導電性布電極を用いた心電計測のノイズ低減に関する要素研究 ……○鈴木　裕・阪田　治・森澤正之（山梨大）
G-003　細胞内シグナル伝達系の伝達特性学習用シミュレータの試作 ……◎末吉智奈佐・仲　　隆（九産大）
G-004　藤森法を用いた P300 の単一試行検出に関する一検討 ……◎大場　匡・吉田　嵩・相川直幸（東理大）
G-005　タンパク質の情報理論－発癌メカニズムのエントロピー仮説 ……○得丸公明（所属なし）

［医用画像］

9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4F 会場（共通教育講義棟 4 階 講 42）　　座長　平野　靖（山口大）

G-006　見かけの Noise SD を用いた CT 画像のノイズ評価…… ○今井國治・森　政樹・山元勇輝・内藤啓介・川浦稚代・藤井啓輔・池田　充（名大）・遠地志太（阪大医学部附属病院）・西本卓矢・米田和夫（名大）

G-007　モルフォロジーフィルタバンクと AdaBoost を用いた眼底画像からの血管抽出
……◎井上知紀・橋本隆太郎・内山良一・内村圭一・上瀧　剛（熊本大）

G-008　超解像手法の適用によるレントゲン画像の高精細化とその応用
…… ◎清水雅人・苅谷英俊・後藤富朗・平野　智・桜井　優（名工大）・舟橋康治（名大）

G-009　超音波動画像に対する Snakes アルゴリズムを用いた正中神経の抽出
……◎片山康太郎・柴田啓司・笹木　亮・長田龍介・堀田裕弘（富山大）

G-010　スマートフォンを用いた涙液量測定のフィージビリティスタディ
……○岡崎善朗・武長龍樹・三宅　琢（東大）・大久保俊之（立川相互病院）・巌淵　守（東大）

※ このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2015 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

H 分野：画像認識・メディア理解（第 3 分冊）

[線、文字認識]
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5F 会場（共通教育講義棟 4 階 講 42）　　座長　宮田　繁春（近畿大）

H-001　（講演取消）
H-002　semi-CNF による手書き日本語文字列認識の弱教師学習 ……◎田中瑛一・木村俊一・越　　裕（富士ゼロックス）
H-003　プリントした画像上に描かれた線画の抽出 ……◎山谷拓也・森　博志・外山　史・東海林健二（宇都宮大）
H-004　印字画線の劣化程度を指標とした電子写真方式プリンタの固体識別 ……○古川　猛（茨城県警）
H-005　試射弾丸の異同識別を目的としたヒストグラムインターセクションとダイバージェンスによる類似性評価の検討
…… ◎藤井　周・中田英紀・前田俊二（広島工大）・飯塚正美・安野拓也・仁戸部勤（科学警察研）・
中山　透（神奈川県警）・金子俊一・渋谷久恵（北大）
H-006　試射弾丸の画像類似性評価のための局所領域の寸法決定 …… ◎中田英紀・藤井　周・前田俊二（広島工大）・
飯塚正美・安野拓也・仁戸部勤（科学警察研）・中山　透（神奈川県警）・金子俊一・渋谷久恵（北大）

[3D ビジョン]
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6F 会場（共通教育講義棟 4 階 講 42）　　座長　岡部　孝弘（九工大）

H-007　（講演取消）
H-008　SLAM に基づく片づけロボットによる物体の力学的操作結果の確認方法に関する検討
……◎高　　斯・立松直倫・大谷　淳（早大）
H-009　全方位動画像を用いた自己位置推定高速化のための特徴空間の構築 ……◎佐々木勇人・濱上知樹（横浜国大）
H-010　RGB-D カメラを用いた物体の体積推定手法の構築 ……◎齊藤圭佑・酒井　道・宮城茂幸（滋賀県大）
H-011　カメラアレイから得たエッジ強度画像群の合成による三次元空間エッジ抽出法 …○桑原　崇・荒井秀一（東京都市大）
H-012　超音波画像中の胎児の組織抽出のための SuperVoxel に基づくセグメンテーション法の検討
……◎王　元晨・立松直倫・大谷　淳・徐　　栄・石川牧子・岩田浩康（早大）

[実世界モデリングとパターン認識]
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7F 会場（共通教育講義棟 4 階 講 42）　　座長　岩田　浩康（早大）

H-013　少数の画像からの物体表面の分光反射率と法線の推定 ……◎北原雅啓・岡部孝弘（九工大）
H-014　Automatic Object Separation of Detected Objects in Free Viewpoint Application
…… ○ホウアリ サビリン・三功浩嗣・内藤　整（KDDI 研）
H-015　携帯 AR 型ネットワークトポロジー可視化システムにおける機器検出手法の検討 ……○原槙稔幸・西野浩明（大分大）
H-016　物体認識技術と電子地図情報を用いた航空写真からの変化検出
…… ◎郡司直之・新垣　仁・島村　潤・小島　明（NTT）
H-017　（講演取消）
H-018　ロボットとの対話における人間の「退屈」状態の解析
…… ◎芝崎泰弘（東工大）・船越孝太郎（ホンダ RIJ）・篠田浩一（東工大）

[シーン解析]
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1G 会場（工学部講義棟 1 階 EL15）　　座長　佐藤　真一（NII）

H-019　一般物体認識技術を利用したテレビ番組からの人物検索手法 …… ○河合吉彦・望月貴裕・住吉英樹（NHK 放送技研）
H-020　HEVC/H.265 規格で圧縮されたニュース番組からのトピック抽出法
……森田啓義・眞田亜紀子（電通大）・山本太一（リコー）・◎名和拓朗（電通大）
H-021　HLAC 特徴を用いた暴力シーンリアルタイム検出 ……◎千田恭平・菊池拓磨・伊藤慶明・小嶋和徳（岩手県大）
H-022　Dedormable Part Models による映像中の異常行動検出……◎杉本　有・黒木修隆・廣瀬哲也・沼　昌宏（神戸大）
H-023　事前教師あり学習を適用した Network in Network による画像認識の高精度化
……◎古井秀弥・廣瀬哲也・黒木修隆・沼　昌宏（神戸大）
H-024　固有空間法とパーティクルフィルタを用いたサーマルカメラによる湾岸領域監視
……○岡村健史郎・藤本　武（大島商船高専）

[特徴量、物体認識]
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　　2G 会場（工学部講義棟 1 階 EL15）　　座長　小嶋　和徳（岩手県大）

H-025　時間情報を埋め込んだ新たな映像特徴についての理論的検討
…… ◎塚谷俊介（東大）・Sebastien Poullot（NII）・Hervé Jégou（INRIA）・佐藤真一（NII）
H-026　SIFT 特徴量の検出位置を考慮した同一人物検索手法に関する研究 ……◎竹添亮平・大野将樹・獅々堀正幹（徳島大）
H-027　速度規制標識の検出に対する機械学習に用いる特徴量の検討 ……◎岡　兼治・宮田繁春（近畿大）
H-028　（講演取消）
H-029　色不変特徴を用いた部分複写画像の検出
……◎竹本雅矢（神戸情報大）・西　省吾（大阪電通大）・大寺　亮（神戸情報大）
H-030　A Method for Tracking Guitar Neck and Fingertips:
Necking Tracking Robust against Occlusions Based on Geometry Analysis and Fingertips Tracking Based
on Temporal Probability Map …… ◎ Zhao Wang・Jun Ohya（早大）

I 分野：グラフィクス・画像（第 3 分冊）

[AVM・画像表現]

9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　　3G 会場（工学部講義棟 1 階 EL15）　　座長　森　博志（宇都宮大）

I-001　ペーパークラフトを用いた可搬型スクリーンによるプロジェクションマッピング ……○白木厚司（千葉大）・大前友哉（木更津高専）・中山弘敬・檜山大輔・角江　崇・下馬場朋禄・伊藤智義（千葉大）

I-002　小袖屏風画像を利用した模様画像の合成 …◎井田有香（青学大）・白川真一（筑波大）・大原剛三・豊田哲也（青学大）

I-003　人工物モーションエディタの開発 ……◎西條涼平・小山泰生・安藤敏彦（仙台高専）

I-004　キャラクタービジネスにおける Twitter の活用法と経営戦略上の位置づけ～株式会社サンリオのケーススタディ～ ……◎井上智晶・森本祥一（専大）

I-005　抽出ピッチの拡張による PICOLA アルゴリズムの高速化……○藤澤義範・伊藤祥一・清水省吾（長野高専）

RI-001　FOBOS を用いたスパース性を持つインパルス応答の推定 ……○斎藤圭人・田中　諒・村上隆啓（明大）

[画像認識]

9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4G 会場（工学部講義棟 1 階 EL15）　　座長　高村　誠之（NTT）

RI-002　線集中度を用いた画像局所特徴の記述法 ……◎丸山智央・吉永幸靖・坂本博康（九大）

I-006　DCT 成分解析等を用いた JPEG 画像の総合的改ざん検出ツールの開発……◎多谷邦彦（京都府警）・竹田直人（関西大 / 扶桑プレシジョン）・宿院康昭（扶桑プレシジョン）・小林　正（京都府警）・川島成平（阪産大）・尾崎吉明（京都府警）

I-007　コンクリート画像からのクラック検出におけるフィルタの検討 …… ◎栗野直之（成蹊大）・小堀研一（大阪工大）

I-008　超解像手法を利用した画像認識の改善 ……◎村上隆昭・竹内泰斗・後藤富朗・平野　智・桜井　優（名工大）

I-009　少数特徴点追跡に基づく動画像からの樹木全体の動き追跡の検討 ……◎沈　渊超・大谷　淳（早大）

I-010　顔画像の特徴を用いたモノクロ人物画像のカラー化 ……加茂碧唯・○篠沢佳久（慶大）

I-011　着物の染め直し補助のためのディジタル画像の色合い変換 :HSV 色空間における着物の地と柄の領域分割 ……◎中山　仁（龍谷大）・桶谷新也（京都府計量検定所）・藤田和弘（龍谷大）

[画像処理一般]

9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5G 会場（工学部講義棟 1 階 EL15）　　座長　内藤　整（KDDI 研）

I-012　デジタルカメラ画像を用いた照度測定の検討 ……◎坂本優大・安藤夏生・岡本健司・宇佐美真・三栖貴行・一色正男（神奈川工科大）

I-013　画像の規則性を用いた圧縮データへの情報付加の方法 ……◎大井政典・伊藤　浩（日大）

I-014　（講演取消）

I-015　ニューラルネットワークを利用する顔画像からの似顔絵自動生成の検討 - 主観評価に基づく比較検討 - ……◎郭　　帥・榎本　誠・川村春美・大谷　淳（早大）

I-016　記憶色特性を利用した色弱度の推定及び色弱補正に関する研究 …… ◎高田峻太郎・趙　晋輝（中大）・阿山みよし（宇都宮大）

I-017　コントラスト不変性に基づく着目領域の TV-L1 画像分解高速化…… ◎佐々木崇元・谷田隆一・清水　淳（NTT）

[画像ノイズ除去]

9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6G 会場（工学部講義棟 1 階 EL15）　　座長　坂東　幸浩（NTT）

I-018　遺伝的アルゴリズムによる低解像度 QR コード画像の復元 ……○古屋　保・森　邦彦（鹿児島大）

I-019　カメラ映像のぼかし程度の設定に関する検討 ……◎菊地勇典・堀江祐貴也・中林沙也・鉄谷信二（電機大）

I-020　画像強調を用いた超解像手法 ……◎後藤恭平・後藤富朗・平野　智・桜井　優（名工大）

I-021　局所的加重平均を用いた医用断層画像のノイズ除去手法 ……◎加藤　裕・黒木修隆・廣瀬哲也・沼　昌宏（神戸大）

I-022　連写画像におけるノイズ除去のための三次元 NL-Means 法 ……◎小堀寛和・黒木修隆・廣瀬哲也・沼　昌宏（神戸大）

I-023　Total Variation フィルタの平滑化パラメータの FPGA 実装 ……◎小林恵太・仲西　篤・辻　裕之・木村誠聡（神奈川工科大）

I-024　ICA を用いた布の汚れの鮮明化画像処理 …◎伊藤良太（龍谷大）・桶谷新也（京都府計量検定所）・藤田和弘（龍谷大）

[コンピュータグラフィクス]

9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7G 会場（工学部講義棟 1 階 EL15）　　座長　阿倍　博信（三菱）

I-025　対話型遺伝的プログラミングを用いた立体モデル生成手法の検討 …… ◎阿部直樹・向井伸治（前橋工科大）・福崎健志（ナカヨ）

I-026　ドロネー四面体分割を用いた三次元点群からの凸物体の形状復元 ……◎鉢呂隆太朗・阿部真之・森　博志・外山　史・東海林健二（宇都宮大）

I-027　周囲の形状を考慮した点群の欠損補間手法の検討 ……○村木祐太・西尾孝治（大阪工大）・金谷孝之（広島国際大）・小堀研一（大阪工大）

I-028　高信頼度姿勢情報と蓄積モーションセグメントの合成による CG アバタ動作の構成 ……◎田中里奈・森　博志・外山　史・東海林健二（宇都宮大）

I-029　鑑賞者の評価に基づいた視線動作アニメーション制作支援システム ……◎中平智也・森　博志・外山　史・東海林健二（宇都宮大）

I-030　実写画像を用いた木版画風画像の生成に関する研究 ……◎宇野啓祐・村木祐太・西尾孝治・小堀研一（大阪工大）

I-031　自発光光源の 4 次元ライトフィールドの適応的計測 ……◎中村基裕・岡部孝弘（九工大）

I-032　トリックアートを用いたプロジェクションマッピング制作に関する研究 ……◎赤松克馬・村木祐太・西尾孝治・小堀研一（大阪工大）

※ このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2015 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

[映像符号化]
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1H 会場（工学部講義棟 1 階 EL16）　　座長　高橋　桂太（名大）

I-033　信号値の疎性を考慮した動的計画法ベース最適量子化の演算量削減 …… ○坂東幸浩・高村誠之・清水　淳（NTT）
I-034　幾何変換を伴う多重解像度分解成分の標本化構造を考慮した時空間レジストレーションによる空間超解像法の検討 …… ○松尾康孝・境田慎一（NHK）
RI-003　動きベクトル差分を用いた高速スキップベクトル判定に関する検討 …… ◎工藤　忍・北原正樹・清水　淳（NTT）
I-035　HEVC における 64x64CU の符号化効率改善 …… ○市ヶ谷敦郎・岩村俊輔・境田慎一（NHK）
RI-004　Poisson 画像合成を用いた動画像符号化方式 …… ◎渡邊真由子・北原正樹・清水　淳（NTT）
I-036　超解像復元技術を用いる 4K 12 ビット実時間映像符号化システム …… ○三須俊枝・松尾康孝・岩村俊輔・境田慎一（NHK）
I-037　イントラ参照画素の成分間予測手法の検討 ……○河村　圭・内藤　整（KDDI 研）

[ホログラム]
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　　2H 会場（工学部講義棟 1 階 EL16）　　座長　宮田　高道（千葉工大）

RI-005　空間方向の勾配及びバンド間の相関を考慮したマルチスペクトル画像のデモザイキング手法 …… ◎小川　衆・篠田一馬・長谷川まどか・加藤茂夫（宇都宮大）・石川雅浩・駒形英樹・小林直樹（埼玉医科大）
RI-006　観測波長と配置を考慮したマルチスペクトルフィルタアレイの設計手法 …… ◎柳　悠大・篠田一馬・長谷川まどか・加藤茂夫（宇都宮大）・石川雅浩・駒形英樹・小林直樹（埼玉医科大）
I-038　計算機合成ホログラムを用いた複数の 2 次元映像投影 ……◎川島徹也・長浜佑樹・下馬場朋禄・角江　崇・老川　稔・杉江崇繁・伊藤智義（千葉大）
I-039　時分割表示方式電子ホログラフィによる階調を持つ像の再生 …… ◎藤原将人・荒木啓充・庭瀬裕章・前田祐貴（高知大）・中山弘敬（国立天文台）・角江　崇・下馬場朋禄・伊藤智義（千葉大）・高田直樹（高知大）
I-040　Inside-Out カメラを用いた単眼による注視点推定手法の性能評価 ……◎川田健司・齊藤剛史（九工大）
I-041　画像解析によるアーカイブス検索の試験運用とユーザ評価 …… ○望月貴裕・河合吉彦・佐野雅規・住吉英樹・岩崎康彦・新井宏和・竹口佳那子・杉森克幸（NHK）

J 分野：ヒューマンコミュニケーション＆インタラクション（第 3 分冊）

[視線・視覚]
9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4H 会場（工学部講義棟 1 階 EL16）　　座長　湯浅　将英（湘南工科大）

J-001　特定視覚刺激に対する注意推定のための瞳孔径変動解析 ……◎森田悠生・高野博史・中村清実（富山県大）
RJ-001　注意散漫状態の検出に向けたドライバ身体情報の分析 …… ○佐藤和人・勝又健太郎（秋田県大）・伊藤桃代（徳島大）・間所洋和（秋田県大）・門脇さくら（スマートデザイン）
J-002　視線計測データに基づく習熟度別ピアノ演奏者の読譜方略の特徴抽出 ……◎笠原翔平・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
J-003　芸術作品における作品解説の印象・視行動への影響 ……◎志水翔之・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
J-004　画面配色パターンが作業者に与える影響　－ NIRS を用いた分析－ ……○福住伸一（NEC）・渡邊伸行・神宮英夫（金沢工大）・笠松慶子・太田裕介（首都大）・谷川由紀子（NEC）

[会話・協業]
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5H 会場（工学部講義棟 1 階 EL16）　　座長　飯塚　重善（神奈川大）

RJ-002　グループにおける意思決定への支援のための発話群からの会話抽出方法の提案 …… ○河野　進（総研大）・相原健郎（総研大 /NII）
J-005　第 2 言語会話における言語能力と視線動作に関する量的分析 …… ○馬田一郎（NICT）・谷添友哉・伊集院幸輝・山本誠一（同志社大）
RJ-003　筆記行動分析に見る集団と個人のシナリオ生成プロセスと矛盾解消行動の比較 ……◎早矢仕晃章・大澤幸生（東大）
J-006　満足度の高い討論における会話の明示的・暗黙的情報流通による記述 ……◎後藤義貴・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
J-007　コミュニケーションロボットのための自然言語入力に基づいた感情判断システムの構築 ……◎小野彰利・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
J-008　共同注意が計測可能なモバイル視線計測システムの開発 …… ◎今渕貴志（岩手県大）・落合貴之（富士通ビー・エス・シー）・堀江友祐・Oky Dicky A. Prima・伊藤久祥（岩手県大）

[認知・行動]
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6H 会場（工学部講義棟 1 階 EL16）　　座長　田中　貴紘（名大）

J-009　顔の物理的特徴を用いた顔選好における自己顔の影響 ……◎原田晋吾・杉浦彰彦（静岡大）
J-010　顔顔追跡による継続認証システムの構築 ……◎田所龍介・納富一宏（神奈川工科大）
RJ-004　認知的要因による視覚性自己運動感の違いが映像酔いに与える効果 ……○井上康之・中口和馬・河合敦夫・井須尚紀（三重大）
J-011　行動観察方式 AOS と脳の 3D モデルを利用した認知症の人の状況提示システム …… ◎神谷直輝・柴田健一（静岡大）・近藤　誠（西条市役所）・中矢暁美（託老所あんき）・玉井　顯（敦賀温泉病院）・石川翔吾・竹林洋一（静岡大）
RJ-005　可視光通信を用いた歩行支援システムの構築 …… ◎伊木俊介・渡邉弘貴・紀　宏俊・大柴小枝子・村田佑介・長井佑樹・山崎　洵・吉久雅人・森本一成・木谷庸二・北口紗織（京都工繊大）
J-012　拡張現実感と筋電位を利用する筋疲労軽減システムの設計と評価 ……◎山下政人・小俣昌樹（山梨大）
J-013　電気メーターの誤検針防止対策に関する評価 …… ○池田利夫・野上雅史・上田勝彦（関西電力）・松井裕子（原子力安全システム研）

[人の状態推定・知覚]
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7H 会場（工学部講義棟 1 階 EL16）　　座長　繁桝　博昭（高知工科大）

J-014　脳波の分布の偏りを考慮した脳波特徴量概念ベースの構築 …◎杉本聖弥・森本麻代・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
J-015　メンタルヘルスケアのための情動体験を考慮した気分予測 …◎米倉慎哉・岡村　瞬・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
J-016　顕著性マップ再構築のための文字に対する誘目性 ……◎長嶋太良・高野博史・中村清実（富山県大）
J-017　視線計測を用いた芸術作品の鑑賞におけるスキャンパスと共感の関係性の評価
……◎山田航平・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
J-018　中心・周辺視野に同時に瞬間提示された自然・人工シーンのカテゴリ化実験 ……○田邊喜一（松江高専）

[コミュニケーション]
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1J 会場（工学部講義棟 2 階 EL23）　　座長　倉本　到（京都工繊大）

J-019　テーブルトップ型ロボットに対する人の興味の誘起 ……◎小山泰生・西條涼平・安藤敏彦（仙台高専）
J-020　行動履歴に応じた情報提示に基づく場に対する気づきの支援
……◎安尾　萌・盛山将広・白水菜々重・松下光範（関西大）
J-021　日本語 WikiTalk の開発 …… ◎小此木謙一（同志社大）・
Wilcock Graham（University of Helsinki/CDM Interact）・山本誠一（同志社大）
J-022　（講演取消）
J-023　コミュニケーション場周辺情報の共有によるアバタベース AR コミュニケーションシステム
……◎宮津研士郎・高井昌彰（北大）
J-024　作業中の閲覧を考慮した透明レイヤーに基づくツイッタークライアントの試作
……◎山添久稔・丹羽佑輔・大囿忠親・新谷虎松（名工大）
J-025　シナリオプランニングにおける合意形成支援のための関連概念可視化の提案 …　◎ Quexuan Zhang・大澤幸生（東大）

[実環境]
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　　2J 会場（工学部講義棟 2 階 EL23）　　座長　松下　光範（関西大）

J-026　モバイル端末画面を見る瞳孔の運動からの興味範囲推定手法の提案 ……◎伊藤翔平・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
J-027　札同士の重なりを考慮した花札画像認識とその応用 ……◎圓谷将大・高井昌彰（北大）
J-028　顔認識技術を用いた点字の認識 ……大和優介・藤澤義範・○伊藤祥一（長野高専）
J-029　抽象絵画における鑑賞者の注視情報を利用した音楽生成システム ; 抽象絵画の特徴が鑑賞者の抽象的な発想の
変化に及ぼす影響 ……◎小楠竜也・大谷　淳（早大）・棚沢　順（千葉商科大）・米村俊一（芝浦工大）
J-030　（講演取消）
J-031　紙への着色を用いた色光制御システム ……◎松井健人・間　博人・市川　燿・相馬啓佑・三木光範（同志社大）

[入力手法]
9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　　3J 会場（工学部講義棟 2 階 EL23）　　座長　大囿　忠親（名工大）

J-032　片手親指特性に基づくフリック入力手法を用いたソフトウェアキーボード
……◎渡部博紀・佐藤晴彦・小山　聡・栗原正仁（北大）
J-033　つまずき検出に基づくスマートフォン文字入力練習支援システム
…… ◎萩谷俊幸・堀内俊治・矢崎智基（KDDI 研）・加藤恒夫（同志社大）
J-034　楽な姿勢による空中手書き文字認識 ……◎川端凌平・中井　満（富山県大）
J-035　立位・座位によるポインティングジェスチャーの差異
……◎杉原慶哉・中道　上（福山大）・渡辺恵太（DNP 情報システム）・山田俊哉（NTT アイティ）
J-036　空中におけるつまむ動作を用いた効率的な文字入力の検討 ……◎小澤宗馬・梅澤　猛・大澤範高（千葉大）

[生体センシングとその応用]
9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4J 会場（工学部講義棟 2 階 EL23）　　座長　安藤　英由樹（阪大）

J-037　近傍電磁界式シートセンサを用いた特定人物の位置推定
……◎川合　諒（NEC）・高橋祐介（NEC Asia Pacific）・高橋清彦・服部　渉・宮野博義（NEC）
J-038　画像処理技術を応用した静電容量式タッチパッドのタッチ信号とノイズの識別 …… ◎原田　敦・三宮千尋・
那和一成（トヨタ IT 開発センター）・岩下明暁・花木秀信（東海理化電機製作所）
J-039　OpenCV を用いた Eye Glance 入力インタフェースの改良
……◎明比宏太・松野省吾・板倉直明・水戸和幸・水野統太（電通大）
J-040　競技自転車における初心者向け乗車ポジションのフィッティング評価システムの構築
……◎浅野裕也・土江田織枝・林　裕樹（釧路高専）
J-041　Kinect を用いた心肺蘇生時の姿勢確認学習支援アプリケーションの開発
……◎渋谷卓磨・渡邊宏尚・土田　栞・小林絵里奈・村山沙樹・皆月昭則（釧路公大）
J-042　内受容感覚とバイオフィードバックに注目した筋電情報ジェスチャ認識によるエンタテインメント
……○長嶋洋一（静岡文化芸術大）

[行動と多言語コミュニケーション]
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5J 会場（工学部講義棟 2 階 EL23）　　座長　中平　勝子（長岡技科大）

J-043　物流倉庫のオーダピッキング作業における従業員の作業方略に含まれる行動パターンの抽出
……◎中町　望（長岡技科大）・一刈良介・蔵田武志（産総研）・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
J-044　ディスカッションにおけるユーザ状態の推定 ……◎岡村　瞬・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
J-045　第二言語での会話構造が視線動作に及ぼす影響についての分析 …… 伊集院幸輝・◎石田　充・堀内保大（同志社大）・
馬田一郎（同志社大 /NICT）・山本誠一（同志社大）
RJ-006　機械翻訳サービスを用いた専門知識伝達サービスの分析 ……○鈴木　宏・菱山玲子（早大）
J-046　異文化を考慮した新規ビジネスモデル開発サービスの提案 ……◎末廣　学・菱山玲子（早大）

※ このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2015 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

[ロボットインタラクション]
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6J 会場（工学部講義棟 2 階 EL23）　　座長　大澤　博隆（筑波大）

J-047　ロボットとスマートフォンを用いた学習習慣形成のための基礎検討
……◎近藤隆路・高浜宏実・山崎慎太郎・松井謙二（大阪工大）
J-048　音声対話と身体表現を持つ人型ロボットの受容性検証
…… ○高山伸也・酒澤茂之（KDDI 研）・愛澤伯友（名古屋学芸大）
J-049　高齢者のためのウェアラブルカメラと対話センシングによるブログ投稿支援システム …… ◎高濱康太郎・神原誠之・川波弘道（奈良先端大）・萩田紀博（奈良先端大 / 国際電気通信基礎技術研）
J-050　嗜好に基づく自動二輪車の経路推薦のための走行データ収集インタフェースの構築
…… ○西村祥吾・神原誠之（奈良先端大）・萩田紀博（奈良先端大 / 国際電気通信基礎技術研）

K 分野：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用（第 3 分冊）

[MVE]
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7J 会場（工学部講義棟 2 階 EL23）　　座長　三上　弾（NTT）

RK-001　OpaqueLusion: 動的マスクを用いた多層空中像におけるオクルージョン表現
……◎梶田　創・小泉直也・苗村　健（東大）
K-001　視点追跡による立体視を用いたプロジェクション型 AR の提案
……◎道後千尋（東理大）・小林達也・柳原広昌（KDDI 研）・半谷精一郎（東理大）
K-002　プライバシー情報利活用空間への入場時における利用者ガイダンスシステム
……◎大西祐貴・小野　士・中村和晃・馬場口登（阪大）
K-003　エージェントモデルによるリスク意識向上の研究 ……○齋藤耕一（コウゲツ）
K-004　ディープラーニングのための訓練データ自動生成 ……◎大西一徳・全　炳東（千葉大）

[サイバーワールド]
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1K 会場（工学部講義棟 2 階 EL24）　　座長　磯　和之（NTT）

RK-002　オープンソースソフトウェア技術の傾向分析 ……○飯尾　淳（中大）
K-005　包括的な支援環境における義肢装具の研究開発支援ツール開発 ……○梶谷　勇（産総研）
K-006　電動ブラインドと一般照明を用いた照度最適化システムの検討
…… ◎岡本健司・杉村　博・三栖貴行・一色正男（神奈川工科大）・今吉秀幸（ニチベイ）
K-007　（講演取消）

[教育工学（1）]
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　　2K 会場（工学部講義棟 2 階 EL24）　　座長　國宗　永佳（信州大）

K-008　ビジュアルプログラミングツールを用いたプログラミング導入教育の試み
…… ○松村寿枝・内田眞司・西野貴之（奈良高専）・清水忠昭（鳥取大）
K-009　キーボード操作の時系列情報を活用したコーディング学習支援手法の提案
……◎星野裕樹・納富一宏・西村広光・示野浩士（神奈川工科大）
K-010　文法最小化を目指した日本語プログラミング言語「敷島」…… ○大岩　元（慶大）・中鉢欣秀（産業技術大）
K-011　動機づけ要因を考慮したプログラミング初学者に対する教授法の構成
……◎山内義晴・加藤桃子・伊藤翔平・島川博光（立命館大）
RK-003　オンラインジャッジシステムと連携可能な Moodle プラグインの実装と比較
……◎古谷勇樹・林　真史・山本隆弘・長尾和彦（弓削商船高専）
K-012　ソフトウェア公開による小規模 e ラーニングに対するニーズの分析 ……○小島一秀（阪大）

[教育工学（2）]
9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　　3K 会場（工学部講義棟 2 階 EL24）　　座長　光原　弘幸（徳島大）

K-013　OpenFlow をベースとしたネットワーク制御の実験について (1)
……◎神田未来・中野陽太・松浦　崇・荒木智行（広島工大）
K-014　OpenFlow をベースとしたネットワーク制御の実験について (2) ……◎中野陽太・神田未来・荒木智行（広島工大）
K-015　大学における情報セキュリティ教育課程の技術能力分析
……○孫　英敬・山口由紀子・嶋田　創（名大）・高倉弘喜（NII）
K-016　学習履歴と実行環境を考慮した情報処理技術者試験学習支援システム …… ○宮本行庸（神戸情報大）・児玉真悟（神戸情報大 / 神戸電子専門学校）・宋　佳蓉・今田理恵・須藤克彦（神戸情報大）
K-017　情報基礎演習における自己評価観点に関する分析 ……○藤本宏美（岡山県大）
K-018　「情報科教育法」履修者の分析……○土肥紳一・今野紀子（電機大）

[教育工学（3）]
9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4K 会場（工学部講義棟 2 階 EL24）　　座長　山元　翔（近畿大）

K-019　ICT を利用した誘導電動機学習支援システム
…… ○福本尚生・瀬戸口和明・石橋　眞・古川達也・伊藤秀昭（佐賀大）・相知政司（千葉工大）
K-020　２値論理関数の簡単化に関する教育方法の提案 ……◎金光智幹・荒木智行（広島工大）
K-021　薬用植物園における支援アプリを用いた観察方法の改善 …… ○北池秀次（徳島大）・葉田善章（放送大）
K-022　歩行者認知訓練システム TRAIN を用いた反応時間の計測と分析
……◎須藤　匠・猿田和樹・寺田裕樹・陳　国躍（秋田県大）
RK-004　物語行為を促す問いかけ機能の評価 ……◎藏屋沙那恵・神里志穂子（沖縄高専）
K-023　実影提示を選択可能な影ポインティングシステム
…… ○土江田織枝・林　裕樹・山田昌尚（釧路高専）・宮尾秀俊（信州大）

[教育工学（4）]
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5K 会場（工学部講義棟 2 階 EL24）　　座長　小尻　智子（関西大）

RK-005　初出の知識に関連する教材を学習者が検索する際に Wikipedia などを活用して関連検索キーワードの提示と理解を支援するサービス ……◎横山　誠・村上貴彦・中村太戯留・上林憲行（東京工科大）
K-024　探索型検索を用いた学習ナビゲーションツールの検討 …○村上貴彦・横山　誠・中村太戯留・上林憲行（東京工科大）
RK-006　テキストメタデータを用いたオープン教材のための学習順序推定手法の提案 ……◎中島克也・小林亜樹（工学院大）
K-025　英語コースウェアにおける繰り返し学習時間の MTS を用いた分析 ……○渡邊博之・川嶋正士（日大）
K-026　特別支援におけるタブレットを用いた学習支援システムの実践利用
……◎山元　翔（近畿大）・平嶋　宗（広島大）・荻原昭夫（近畿大）
K-027　少人数クラスの運営に汎用型ソーシャルネットワークを活用した教育事例の研究 ……○田島博之（秀明大）

[福祉情報工学：空間支援]
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6K 会場（工学部講義棟 2 階 EL24）　　座長　布川　清彦（東京国際大）

K-028　距離センサによる障害物認識と音声による視覚障害者向け歩行支援システム
……○越智　徹（大阪工大）・高先修平（豊國）・中西通雄（大阪工大）
K-029　行き交いの多い通りにおける先行歩行者経路を用いた視覚障碍者歩行支援
……◎北村浩貴・竜田　力・植村喜弘・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
K-030　RFID タグを用いた視覚障害者の位置と足取りによる状態推定
……◎田中龍太郎・浅野正義・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
K-031　触知 VR 上での仮想把持感による白杖歩行について …… ○巽　久行（筑波技術大）・村井保之（日本薬科大）・関田　巌（筑波技術大）・徳増眞司（神奈川工科大）・宮川正弘（筑波技術大）
K-032　触指位置追跡による図形イメージ獲得過程の理解 …… ○巽　久行（筑波技術大）・村井保之（日本薬科大）・福永克己・関田　巌・宮川正弘（筑波技術大）
K-033　弱視者の視認を支援する HMD（補視器）のフィッティング手法の開発 …… ○村井保之（日本薬科大）・巽　久行（筑波技術大）・徳増眞司（神奈川工科大）・宮川正弘（筑波技術大）
K-034　Kinect を用いた身体合成重心の測定による歩容解析の検討
……○稲垣　潤・春名弘一・昆　恵介・本郷節之・岡崎哲夫（北海道科学大）

[福祉情報工学：情報支援]
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7K 会場（工学部講義棟 2 階 EL24）　　座長　苅田　知則（愛媛大）

K-035　患者満足度調査による医療機関向けのサービスサイエンス概念の導出 ……○皆月昭則・水野凌太郎（釧路公大）
K-036　カラー手袋を装着した実手話画像認識に向けた動作者差異の類似度分析 …… ◎柴田紘俊・西村広光・田中　博（神奈川工科大）・小林大輔・岩本典夫・加藤秀司（ケイ・シー・シー）
K-037　要約筆記品質向上システムにおける音声認識ツール利用の検討 ……○高尾哲康（富山国際大）
K-038　聴覚代行を目的とする透過型ヘッドマウントディスプレイを用いた発話可視化システム
……◎徳留規裕・川澄正史・小山裕徳（電機大）
K-039　発達障がい児と教育支援ロボットの共同学習における教育支援効果に関する報告
～その 2：複数の児童とロボット間の共同作業で生じるインタラクション～
…… ◎フェリックス ジメネス・吉川大弘・古橋　武（名大）・加納政芳（中京大）・中村剛士（名工大）
K-040　模倣と共振への芸術的アプローチ：発達障害研究による身体イメージのアナザーモデルの構築
……○村上泰介（愛知産業大）
K-041　タブレット端末による視野狭窄に対応した教科書表示方法の検討
…… ◎上藤貴之・川村秀憲（北大）・鈴木恵二（はこだて未来大）
K-042　タッチスクリーン端末を利用する視覚障害ユーザのための音声フィードバックを活用した入出力インタフェース
……○大橋　隆（筑波技術大）・三浦貴大（東大）・坂尻正次・大西淳児・小野　東（筑波技術大）

[マルチメディアエンリッチメント]
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1L 会場（工学部講義棟 2 階 EL26）　　座長　薗田　光太郎（長崎大）

K-043　造形物内部への情報埋め込みによる 3D プリンター用データの著作権保護技術
……○鈴木雅洋・Piyarat Silapasuphakornwong・上平員丈（神奈川工科大）・高嶋洋一（NTT）・海野　浩・鳥井秀幸（神奈川工科大）
K-044　（講演取消）
K-045　高密度二次元コードのブロック誤りとランダム誤りに対応する二重誤り訂正システムの検討
……○寺浦信之（テララコード研 / 九大）・井上　徹（広島修道大）・櫻井幸一（九大）
K-046　最適予測を用いた可逆電子透かしのための適応的予測誤差拡張手法
……◎鈴木裕一郎・山登一輝・篠田一馬・長谷川まどか・加藤茂夫（宇都宮大）
K-047　スケーリング攻撃に対する SIFT に基づく電子透かし法の評価 ……◎内田洸太・川村正樹（山口大）
K-048　コード進行を利用した音楽電子透かし法 …… ◎村田晴美（中京大）・荻原昭夫（近畿大）

※ このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2015 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

L 分野：ネットワーク・セキュリティ（第 4 分冊）

[マルウェア]
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　　2L 会場（工学部講義棟 2 階 EL26）
座長　須賀　祐治（インターネットイニシアティブ）

L-001　人の行動を考慮したマルウェア感染シミュレータの作成 …… ◎麻生大貴・甲斐　博（愛媛大）・森井昌克（神戸大）
L-002　マルウェア可視化システムの実装について
…… ◎浦辻和也（愛媛大）・松重雄大（神戸大）・甲斐　博（愛媛大）・森井昌克（神戸大）
L-003　パケット情報を用いたトラフィック可視化システムの作成 …… ◎田村尚規・甲斐　博（愛媛大）・森井昌克（神戸大）
L-004　複数のダークネットに対するトラフィックデータ解析とそこからの情報漏洩について …… ◎村井健祥・古本啓祐（神戸大）・村上洸介（KDDI）・中尾康二（KDDI/NICT）・森井昌克（神戸大）
L-005　構成要素の関係性を利用した悪性 PDF ファイルの検知 ……◎ Khambolisouth Duangphachan・今泉貴史（千葉大）
L-006　（講演取消）

[認証]
9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4L 会場（工学部講義棟 2 階 EL26）　　座長　森井　昌克（神戸大）

L-007　画像と連想語を用いた音声認証システムの開発
…… ◎河合博之・納富一宏（神奈川工科大）・斎藤恵一（国際医療福祉大）
L-008　スマートフォンの複数センサを用いた歩容識別に対する様々な状況の比較検討 ……○渡邊裕司（名古屋市大）
L-009　携帯端末の加速度センサを用いた個人認証方式に関する研究
……◎武井勇樹・長谷川まどか・篠田一馬・加藤茂夫（宇都宮大）
L-010　携帯端末搭載の加速度センサを用いて手首動作を測定する個人認証システム
……◎古賀尭志・小高知宏・黒岩丈介・白井治彦（福井大）
L-011　空中筆記者識別のための学習用文字セットの検討 ……◎青木康祐・中井　満（富山県大）
L-012　主観的輪郭を応用した CAPTCHA の強度評価 ……◎小宮山哲俊・梅澤　猛・大澤範高（千葉大）
RL-001　公衆無線 LAN サービスのための NFC に基づくユーザアカウントプロビジョニングシステムの構築
…… ◎延　優介（慶大）・貫井裕太・原　正悟・八槇博史（電機大）

[アクセス制御と安全性]
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5L 会場（工学部講義棟 2 階 EL26）　　座長　南　和宏（統計数理研）

L-013　通信可能な範囲を限定した無線ネットワークの自動構築 ……○川村晋太郎・黒田　勝・大平浩貴・王　　洋（リコー）
L-014　WEP の安全な運用方法とその実装について ……◎渡辺優平・入山敬大・森井昌克（神戸大）
L-015　システムの状態に基づく強制アクセス制御の設計と実装 ……◎赤坂翔太・小林孝史（関西大）
L-016　スパム送信行動の再起性変動に着目した管理者 / 利用者行動の考察 …◎太田大智・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
L-017　ライブフォレンジックにおける有効性の検討及び具体的実施手法の提案
……○今野直樹・田中英彦（情報セキュリティ大）
L-018　共通番号（マイナンバー）制度の民間サービス利用時における個人情報漏洩のリスク評価に関する研究
……○新山剛司・北　寿郎（同志社大）

[システム運用開発]
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6L 会場（工学部講義棟 2 階 EL26）　　座長　山之上　卓（福山大）

L-019　動的制御機能を持つデータ収集システムフレームワークの提案 …… ◎堀　裕貴・長坂康史（広島工大）・千代浩司・濱田英太郎（高エネルギー加速器研）・山木戸啓亮・西村俊彦（広島工大）
RL-002　スケジューリング手法を用いた選択型コンテンツの放送型配信システムの実現と評価
……◎藤田拓郎・後藤佑介（岡山大）
L-020　分散 Web システムにおけるキャッシュサーバ管理機能の試作と評価……◎堀内晨彦・最所圭三（香川大）
L-021　優先アクセス機構を持つ Web サーバの開発およびその評価……◎溝渕久哲・最所圭三（香川大）
L-022　大規模 IoT システムにおける計算機リソースサイジングの研究 …◎小杉　優・佐藤尚也・魚住光成・鶴　　薫（三菱）
L-023　初期化処理を含む待ち行列を用いた計算機リソースサイジング …◎佐藤尚也・小杉　優・魚住光成・鶴　　薫（三菱）
L-024　セキュアプロセッシングにおける先行処理による処理時間改善に対する定量的評価
……廣瀬吉隆・○稲元　勉・樋上喜信・小林真也（愛媛大）

[ネットワーク開発]
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7L 会場（工学部講義棟 2 階 EL26）　座長　松本　直人（さくらインターネット）

L-025　位置アドレスを用いたネットワークのプライバシー保護 ……青木太一・○佐藤　直（情報セキュリティ大）
L-026　Wi-SUN を用いた小規模農家向け侵入通知ネットワークの提案 ……◎谷口　渉・嶋　久登（神戸情報大）
L-027　（講演取消）
L-028　大規模データ収集システムにおける無損失転送技術を用いた通信効率の向上に関する研究
……◎山木戸啓亮・長坂康史・堀　裕貴・西村俊彦（広島工大）
L-029　FreeBSD カーネルから Linux カーネルへの SCTP 実装の移植 …… 立花篤男（KDDI 研）・◎横田侑樹・工藤千加子・塩澤暁広（NTT データ数理システム）・渋谷恵美（KDDI 研）・柳谷尚寿・中谷俊和（KDDI）・長谷川輝之（KDDI 研）
L-030　OpenFlow を用いたデータ収集トラフィックの動的制御に関する研究
……◎西村俊彦・長坂康史・山木戸啓亮・堀　裕貴（広島工大）
L-031　SDN を用いた手術戦略デスク間ネットワークの提案……○中田友貴・佐藤生馬・藤野雄一（はこだて未来大）

［脆弱性］
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1M 会場（工学部講義棟 3 階 EL33）　　座長　甲斐　博（愛媛大）
L-032　ウェブサイト脆弱性診断対象ページ検出システムの提案 ……◎王　森宇・嶋　久登（神戸情報大）
RL-003　ハイブリッドアプリケーションの脆弱性に関する分析
……○西村宗晃（ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ）・熊谷裕志（JPCERT/CC）・奥山　謙（ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ）・戸田洋三・久保正樹（JPCERT/CC）
L-033　構造方程式モデリングの応用による SQL インジェクション攻撃の検出と可視化技法……○松田　健（静岡理工科大）
L-034　Export-grade な暗号アルゴリズムを用いたダウングレード攻撃に対する SSL/TLS サーバの対処状況について
……○須賀祐治（インターネットイニシアティブ）
L-035　OpenSSL キャッシュタイミング攻撃の実現性について……長谷川淳・◎渡辺優平・森井昌克（神戸大）
L-036　セキュリティインシデント管理機能に関する関連インシデント抽出方法の提案
……◎小野裕美・白木宏明・大松史生（三菱）

［暗号］
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　　2M 会場（工学部講義棟 3 階 EL33）　　座長　未定
L-037　擬似的 2 次拡大環上の楕円曲線法 ……◎森下拓也・趙　晋輝（中大）
L-038　楕円曲線暗号における曲線パラメータに対する Fault 攻撃 ……◎林　弘悦・趙　晋輝（中大）
L-039　サイドチャネル攻撃に安全な Granger-Scott 法 …… ◎久木崎聖矢・趙　晋輝（中大）・松尾和人（神奈川大）
RL-004　カメラ撮影画像を用いた秘密分散法 ……◎福嶋貴幸・甲斐　博・木下浩二（愛媛大）
L-040　有理関数補間を用いた (k, n) しきい値秘密分散法の不正者検知・特定 ……◎坂口昌隆・甲斐　博（愛媛大）
L-041　メニーコア・コプロセッサによる複数ファイルの並列共通鍵暗号実装 ……○白勢政明・吉田　努（はこだて未来大）

M 分野：ユビキタス・モバイルコンピューティング（第 4 分冊）

［ITS］
9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　　3M 会場（工学部講義棟 3 階 EL33）　　座長　中村　嘉隆（はこだて未来大）
M-001　移動体通信を併用した位置情報管理に基づく VANET 性能の向上 ……◎野村晃啓・多田正範・佐藤健哉（同志社大）
M-002　パケット認証を用いた DoS 攻撃に起因するトラフィック問題の回避手法の提案
……◎今野裕太・市田智也・佐藤健哉（同志社大）
M-003　車載スマートフォンによるプローブデータ収集の一検討 ……◎岩切龍一・柿澤浩仁・清原良三（神奈川工科大）
M-004　単眼カメラを用いた車両追跡と加速度制約条件を用いた車間距離推定方式の研究 ……◎辻　和史・横田孝義（鳥取大）
M-005　スマートシティの 3D 地理空間表現とコミュニティサービスのためのデータモデル
…… ◎西脇彩香（国際航業）・橋本和夫（早大）・山田啓二・田端謙一・小田三千夫（国際航業）・Abdur Rahim（Create-Net Trento, Italy）・Panagiotis Vlacheas・Vera Stavroulaki・Dimitrios Kelaidonis・Andreas Georgakopoulos（WINGS ICT Solutions, Athens, Greece）
M-006　階層型協調交通システムにおけるデマンドバス輸送の経路計画手法
…… ◎新垣隆伍・赤嶺有平・上原和樹・遠藤聡志（琉球大）・根路銘もえ子（沖縄国際大）

［位置推定］
9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4M 会場（工学部講義棟 3 階 EL33）　　座長　清原　良三（神奈川工科大）
M-007　ビーコンを用いた屋内位置情報の取得方法に関する一検討 ……◎藤野慶汰・田中康一郎・岡　大貴（九産大）
M-008　複数 iBeacon を利用した位置精度向上の検討 ……◎岩見泰周・鬼木明日香・佐藤健哉（同志社大）
M-009　Bluetooth Low Energy ビーコンを用いた屋内測位手法に関する研究
……◎古舘達也・堀川三好・工藤大希・岡本　東（岩手県大）
M-010　Wi-Fi の電界強度情報とその方向依存性を考慮した屋内位置推定手法の研究 : アクセスポイント数による影響
……◎今宮秀晴・横田孝義（鳥取大）
M-011　無線センサデバイスによる屋内における移動体の動線推定
……◎細川了史（千葉工大）・青木　満（東京エネシス）・久保田稔（千葉工大）
M-012　携帯端末による環境センシングによる自己位置推定手法の検討 ……○梅澤　猛・大澤範高（千葉大）

［仮想化と負荷分散］
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5M 会場（工学部講義棟 3 階 EL33）　　座長　金子　雄（東芝）
M-013　マルチプラットフォーム対応 GUI 試験システムにおける画面照合方式 ……◎鶴崎真理子・阿倍博信（三菱）
M-014　ワーキングセットとキャッシュヒット率を考慮した動的 VM メモリ割り当て ……◎坂本雅哉・山口実靖（工学院大）
M-015　複数 VM 環境における KSM を用いた KVS 性能の向上に関する一考察
……◎徳田大輝・御代川翔平・山口実靖（工学院大）
M-016　サーバ負荷情報に基づく OpenFlow を用いた経路分散方式の提案 ……◎吉村　悠・木村真乃介・佐藤健哉（同志社大）

［スマートデバイス応用］
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6M 会場（工学部講義棟 3 階 EL33）　　座長　山口　実靖（工学院大）
M-017　マージンアナウンスに基づく節電スマートコンセント ……◎水澤孝生・平中幸雄・武田利浩（山形大）
M-018　協調型エネルギーマネジメントによる分散型蓄電池制御のためのインセンティブモデルの検討
…… ◎鈴木達哉・川嶋宏彰・加藤丈和・Rodrigo Verschae・松山隆司（京大）
M-019　赤外線を利用したトラッキングによる指動作認識システム
……◎森田健太郎・長田剛典・三村洸揮・佐藤健哉（同志社大）

※ このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2015 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

M-020　BLE による位置推定を用いた監視カメラ追跡制御システム ……◎岡原浩平・相浦利治（三菱）
M-021　放送通信統合型コンテンツ視聴プラットフォームの提案
……◎遠藤大礎・大亦寿之・松村欣司・藤澤和也・加井謙二郎（NHK）
M-022　育児ログを用いたジェンダー役割意識の変容に向けたクラウドアプリケーションの開発
……◎清水貴文・渡邊宏尚・皆月昭則・土田　栞（釧路公大）
M-023　透過型 Web コンテンツ表示環境に基づくリアルタイム協調作業支援環境の試作
……◎松浦辰雄・丹羽佑輔・大囿忠親・新谷虎松（名工大）

［スマートフォン］
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7M 会場（工学部講義棟 3 階 EL33）　　座長　薄井　智貴（名大）
M-024　表示内容の彩度に着目した色表現制御による Android 端末の消費電力低減手法の選択
……◎坂本寛和・濱中真太郎・井上知美・山口実靖・小林亜樹（工学院大）
M-025　Android ART の GC の性能に関する一考察……◎濱中真太郎・坂本寛和・山口実靖（工学院大）
M-026　WakeLock と Alarm の観察による無操作状態の消費電力の増加の原因となるアプリケーションの推定
…… ◎栗原　駿・福田翔貴（工学院大）・小柳文乃（お茶の水女子大）・窪田　歩・
半井明大（KDDI 研）・小口正人（お茶の水女子大）・山口実靖（工学院大）
M-027　操作履歴に基づき個人向けにニュースを選択表示するスマートフォンアプリの開発
……◎小野智士・稲元　勉・樋上喜信・小林真也（愛媛大）
M-028　近傍内の一時的な情報共有機能を有する P2P チャットアプリの開発 ……◎木谷有生誠・高井昌彰（北大）
M-029　携帯端末のカメラで撮影した画像による照度推定方法の検討
……◎親泊泰智・間　博人・岡田　基・松井健人・三木光範（同志社大）
M-030　iBeacon による利用者位置情報に基づく Web 認証手法の提案
……◎森本諒子・佐々木雅茂・出村友秀・佐藤健哉（同志社大）
M-031　口唇領域の動きの画像認識を用いたスマートデバイス向けパターンロックシステム ……◎岸里正樹・高井昌彰（北大）

［ユビキタスコンピューティング］
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1N 会場（共通教育講義棟 3 階 講 34）　　座長　中澤　仁（慶大）
M-032　鑑賞行動モデル構築に向けた美術館アプリケーションの実装
……◎村松真帆・牛場千乃（静岡県大）・泰井　良（静岡県立美術館）・渡邉貴之（静岡県大）
M-033　トピックモデルに基づく人行動分析技術 ……◎八田俊之・三輪祥太郎（三菱）
M-034　農業ノウハウの可視化のための作業日誌と農地センサデータを用いた分析システムの実装
…… ◎村上　惇（はこだて未来大）・小泉真祈・宍戸健吾・黒坂　愛（元はこだて未来大）・
中村嘉隆・高橋　修（はこだて未来大）
M-035　赤外線温度センサを用いたウエアラブル熱中症対策手法の一検討
……◎川瀬瑞貴・野中直樹・中下　岬・横田知樹・岩井将行（電機大）
M-036　創生電力マネージメントシステムの定常利用のためのシステム改善と利用状況
……◎海老原樹・村田翔太郎・田中　博・松尾啓利・小池真由美・久保田昌彦（神奈川工科大）
M-037　ホームネットワークにおける家電協調支援プラットホームの提案
……◎秋田浩也・川上智史・陳　　洵・佐藤健哉（同志社大）
M-038　拡張現実におけるオブジェクト連携を用いた空間制御システムの検討
……◎加藤立真・間　博人・市川　燿・松井健人・三木光範（同志社大）

N 分野：教育・人文科学（第 4 分冊）

［教育システム開発］
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　　2N 会場（共通教育講義棟 3 階 講 34）　　座長　森本　康彦（東京学芸大）
N-001　Twitter 発言の危険度判定による情報倫理学習支援システム ……◎我妻　了・井上拳斗・岩田　一（神奈川工科大）
N-002　Web ニュースを関連付けた地図学習支援システムの構築……◎黒田晃史・安藤一秋（香川大）
N-003　Android 端末におけるモデル計算機 KERNEL の教育用シミュレータの開発
……◎白川涼平・前田洋征・安武芳紘（九産大）
N-004　情報処理技術者試験の効果的な学習方法と支援システムに関する研究 ……◎秋山純一・粂野文洋（日本工大）
N-005　プレゼンテーション上達支援システムの試作 ……◎金本勇紀・末吉智奈佐・仲　　隆（九産大）

［コンピュータと教育・教材］
9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　　3N 会場（共通教育講義棟 3 階 講 34）　　座長　中鉢　直宏（島根大）
N-006　スマートフォンの利用実態に基づくセキュリティリスク要因に関する一考察
……◎半井明大・浦川順平・澤谷雪子・松中隆志・山田　明・窪田　歩（KDDI 研）
N-007　連立一次方程式解法理解のためのタブレット PC を用いた教育用ソフトウェア開発
……◎宮本　優・藤井健一（大阪工大）
N-008　平面から立体へ可逆変化する構造を用いた教材開発 …… ◎大島哲平・白木厚司（千葉大）・
関谷信吾（木更津高専）・佐野麻理恵・中山弘敬・角江　崇・下馬場朋禄・伊藤智義（千葉大）
N-009　Web 上の英字新聞を使った英語多読支援システムのユーザインタフェースの検討 ……◎谷本祐次・安藤一秋（香川大）
N-010　ハッキング競技 CTF と余興ゲームを組み合わせたセキュリティを意識させる情報リテラシ教育の
導入イベントの運営サーバ ……◎中矢　誠・赤木智史・富永浩之（香川大）

[社会とデータ分析]
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7N 会場（共通教育講義棟 3 階 講 34）　　座長　耒代　誠仁（桜美林大）
RN-001　従業者と組織の心理的関係からみた内部不正行為の抑止に関する考察 ……○北野晴人（情報セキュリティ大）
N-011　インターネット上でのパーソナルデータ流通におけるダメージのコントロールに関する基礎的研究
……○橋本誠志（徳島文理大）
N-012　学位情報に基づいた日本の研究者ネットワークの分析 : 専攻分野名称に着目して ……◎田中恭平・芳鐘冬樹（筑波大）
N-013　Wikipedia のハイパーリンク構造を用いた漫画家の影響力の定量化 ……◎高橋佑樹・田中恭平・芳鐘冬樹（筑波大）
N-014　ネットワーク理論による疾病データの可視化 ……○村舘靖之（東大）
N-015　地域研究史資料を対象とした時空間的特徴の抽出と場面の構造化 ……○山田太造（東大）
N-016　興行条件の重み付けを考慮した幕末歌舞伎の興行形態の定量的分析の検討 ……◎川畑泰子（東大）

O 分野：情報システム（第 4 分冊）

[照明システム・センシング]
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5N 会場（共通教育講義棟 3 階 講 34）　　座長　森井　昌克（神戸大）
O-001　輝度分布センサを用いた高齢者の IADL における丁寧さ判定
……◎島吉翔太・岡村　瞬・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
O-002　複数の執務者が共用する家具付きタスクライトの選好照度および選好色温度の検証
……◎三好綾夏・三木光範・川島梨沙・橋本瑠璃亜・間　博人（同志社大）
O-003　天井照度センサを用いた外光照度分布推定手法の提案 ……◎穐西克弥・三木光範・清水祐希・間　博人（同志社大）
O-004　上下可動型照明を用いた知的照明システム ……◎外村篤紀・三木光範・川田直毅・間　博人（同志社大）
O-005　知的照明における執務者の好みの照度を基にした配席手法の検討
……◎三輪和広・三木光範・上南遼平・間　博人（同志社大）
O-006　擬似窓の有効性に関する研究 : 有窓環境と無窓環境における執務者の印象評価ならびに擬似窓に映写する
映像に関する検討 ……◎川田直毅・三木光範・上南遼平・寺井大地・間　博人（同志社大）

[サービスコンピューティング]
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6N 会場（共通教育講義棟 3 階 講 34）　　座長　細野　繁（NEC）
O-007　ウェブ閲覧履歴を用いた農産物購入者の志向度の推定 ……◎竜田　力・中西　惇・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
RO-001　スマートフォンユーザの依存傾向を考慮した機能制限アプリケーションの開発
……◎渡邊宏尚・水野凌太朗・土田　栞・皆月昭則（釧路公大）
O-008　画像による旅行地推薦における目的の具体化と未知の嗜好の取り入れ …◎加藤桃子・安井顕誠・島川博光（立命館大）
O-009　AR を応用した現場作業支援システムのプラント運転作業への応用 ……◎瀧　隼人・坪倉徹哉・浦野雄大（日立）
O-010　（講演取消）
RO-002　電子タグを用いた単独歩行視覚障害者の誘導 ……◎浅野正義・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
O-011　TPO にふさわしくユーザが望む印象を与える服装の推薦 ……◎桂　慶介・加藤桃子・島川博光（立命館大）

[ネットワークと電力システム]
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1P 会場（共通教育講義棟 3 階 講 35）　　座長　岡本　学（NTT）
RO-003　多属性グラフへのエッジバンドリングの適用 ……◎山下敬史・佐賀亮介（大阪府大）
O-012　（講演取消）
O-013　設備機器の網羅的な通信試験におけるモデル検査の活用
……◎中野裕梨・黒岩丈瑠（三菱）・青山裕介・久代紀之（九工大）
O-014　電源中の非定常変動電流の検出方式の高性能化 ……○樋熊利康（三菱）
O-015　CONCON: 節電を継続するための HEMS 支援ツール
……◎有馬一貴・金子将之・宇佐美真・杉村　博・一色正男（神奈川工科大）
O-016　配電 SCADA ネットワークにおける情報収集時間短縮手法 ……○小島英春・芳中宗一郎・土屋達弘（阪大）
O-017　OpenADR 2.0 Profile B の課題と対策の一検討 ……○金子　雄・毛カイ毅（東芝）

[安全安心情報通信システム]
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　　2P 会場（共通教育講義棟 3 階 講 35）　　座長　塚田　晃司（和歌山大）
O-018　MANET を利用した災害時における情報配信システムのシミュレーション評価 …◎山中祐樹・諏訪敬祐（東京都市大）
RO-004　災害時に備えた有線・無線ネットワーク協調復旧システム …◎中山　悠（東大）・丸田一輝（九大）・瀬崎　薫（東大）
O-019　スマートフォン向け岐阜県防災情報システムアプリの有用性 ……◎西中智樹・白石裕輝　・廣瀬康之・
塚本暢弥（岐阜工業高専）・浅井博次・藤井勝敏・棚橋英樹（岐阜県情報技術研）
RO-005　モバイル通話データによる異常検知 : セネガルにおけるインフラ整備への示唆 ……○濱岡　豊（慶大）・
赤松直樹（千葉商科大）・竹内亮介・末野正訓・劉蜀ミン・蒲　英・韓　貞烈・邱　騰箴（慶大）
O-020　業務構造と連携した動的情報管理システムのプロトタイプ版の開発 ……○井ノ口宗成・田村圭子（新潟大）
RO-006　長期追跡研究のための複数機関にある匿名化データの共有におけるセキュリティ対策の検討
……○白石善明（神戸大）・中井敏晴（長寿医療研究センター）・毛利公美（岐阜大）・
福田洋治（愛知教育大）・廣友雅徳（佐賀大）・森井昌克（神戸大）

※ このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2015 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

[非常時支援・異常検知]
9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　　3P 会場（共通教育講義棟 3 階 講 35）　　座長　山下　倫央（産総研）

RO-007　被災時避難誘導に向けたフェロモン調節による改良 ACO アルゴリズムの提案
……◎後藤大貴・太田飛鳥・松澤智史・滝本宗宏（東理大）・神林　靖（日本工大）・武田正之（東理大）
O-021　小型無人航空機を用いた大規模災害時における避難誘導の MAS による有効性検証 ……◎田中和幸・古市昌一（日大）
RO-008　車車間通信を用い多様な通信環境を想定した道路情報共有システム
……◎伊藤健太・平川　剛・新井義和・柴田義孝（岩手県大）
O-022　（講演取消）
O-023　（講演取消）
O-024　被災がれき量推定に向けた画像解析を利用した倒壊建造物の自動抽出
……◎利根川凜・飯塚博幸・山本雅人（北大）・古川正志（北海道情報大）・大内　東（東北大）

[Web 情報システム]
9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4P 会場（共通教育講義棟 3 階 講 35）　　座長　刀川　眞（室蘭工大）

RO-009　サーバサイドイメージレンダリングによる Web UI コンポーネントフレームワークの試作と評価
……○内海宏律・黄　双全・菊地大介・齋藤邦夫・手塚　大（日立ソリューションズ東日本）
RO-010　深夜アニメ番組に関するつぶやきに着目した Twitter 分析 …… 相川実穂（NEC）・仙海かおり（マイソフト）・
安田智亜紀（MS&AD システムズ）・◎酒井啓江（東京都市大）・
小川祐樹（立命館大）・梅原英一（東京都市大）
O-025　複数の位置情報付きソーシャルメディアから得られた POI の比較 …◎大久保航太朗・望月崇廣・渡邉貴之（静岡県大）
O-026　レシピサイトにおける提供者と使用者の嗜好抽出と可視化 ……◎江本　守・大澤幸生（東大）
O-027　WEB コンテンツの分析に基づくユーザーの潜在要求抽出手法 ……◎春日　瑛・大澤幸生（東大）
O-028　文書に付与された特徴語に基づく特定の話題に関する評価文書群抽出手法に関する検討
…… ◎加藤　亮・吉川大弘・古橋　武（名大）・奥山賢治（東邦ガス）
O-029　透明 Web サムネイルに基づく Web ブラウジング支援システムの試作
……◎吉田圭佑・丹羽佑輔・大囿忠親・新谷虎松（名工大）

[業務支援システム]
9 月 16 日（水）15:30 ～ 17:30　　5P 会場（共通教育講義棟 3 階 講 35）　　座長　上杉　志朗（松山短大）

O-030　多目的 GA を用いた麻酔医不足に対応した手術スケジューリング手法の検討 ……◎立石隆浩・杉本千佳（横浜国大）
RO-011　オープン・システム障害の分類と対策立案方法の提案 ……○篠原昭夫・泉　　隆（日大）
O-031　IT ベンダにおけるプロジェクト成否予測の試み……○河村智行・高野研一（慶大）
O-032　オフショアにおけるアプリケーション保守サポート要員の人材育成手法 ……○三好きよみ（筑波大）
O-033　ECM による共同執筆マネジメントシステムの構築と運営 ……○古園　豊（日本プロジェクトマネジメント協会）
RO-012　マタニティ支援アプリケーションを用いた出産に対するジェンダー意識の変容期待に向けた研究
…… ◎土田　栞・渡邊宏尚（釧路公大）・上川原ひろみ・斉藤　唯（釧路総合病院）・
小松　望（白糠町役場）・皆月昭則（釧路公大）

[位置情報とセンサシステム]
9 月 17 日（木）9:30 ～ 12:00　　6P 会場（共通教育講義棟 3 階 講 35）　　座長　西　宏之（崇城大）

O-034　Wi-Fi パケットセンサを用いた人流・交通流解析の手法 ……◎森本哲郎・白浜勝太・上善恒雄（大阪電通大）
RO-013　スマートフォンの内蔵マイクを用いた屋内測位方式の提案 ……◎岩崎　改・五百蔵重典（神奈川工科大）
O-035　スマート環境センシング基盤の構築と地域デザインへの応用に関する研究開発 …… ○都築伸二・森脇　亮・
山田芳郎（愛媛大）・柴田裕輔（愛媛 CATV）・森本健一郎・
阿部幸雄（アイムービック）・越智正昭・須東博樹（ハレックス）
O-036　NFC 歌留多を用いた熱中症予防見守りシステムの開発とその応用
…… ◎日野景太・都築伸二（愛媛大）・兼久信次郎（日本 Android の会）・山田芳郎（愛媛大）
O-037　スマートグラスを用いた車いす利用者のための道案内システムの提案 ……◎鈴木貴大・吉田博哉（神戸情報大）
O-038　ライフイベントセンサを用いた消費電力予測
…… ○久代紀之・井手太一・近藤貴裕（九工大）・小川雄喜・樋熊利康（三菱）
O-039　スマートフォン向け岐阜県外来生物情報システムアプリの開発
…… ○廣瀬康之・西中智樹（岐阜工業高専）・浅井博次・藤井勝敏・棚橋英樹（岐阜県情報技術研）

[システム開発]
9 月 17 日（木）13:00 ～ 16:00　　7P 会場（共通教育講義棟 3 階 講 35）　座長　神沼　靖子（情報処理学会フェロー）

O-040　地域商店群を対象とした O2O アプリケーションの開発……◎長島弘志・湯瀬裕昭・渡邉貴之（静岡県大）
O-041　（講演取消）
O-042　意思決定支援機能を備えた Web-DB 型電子投票システム ……◎藤村春輝・凌　暁萍（神奈川工科大）
O-043　実用化を指向した低コスト高性能なポータブルディジタルホログラフィック顕微鏡の開発
……◎佐野麻理恵・糸井淳一・遠藤　優・白木厚司・下馬場朋禄・角江　崇・伊藤智義（千葉大）
O-044　ウェアラブル機器を用いた語学学習補助システムの開発 ……◎守屋祐喜・小坂敏文（東京高専）
O-045　見通しが悪い交差点で交通事故の危険を回避するシステムの開発 ……◎上妻健人・小坂敏文（東京高専）
O-046　パターン認識と GMD 復号法を利用した難読 QR コードの高精度認識アルゴリズムの設計と実装
……◎古本啓祐・草薙祥広・森井昌克（神戸大）
RO-014　既存ソフトウェア部品を用いたソフトウェア開発におけるソースコード理解支援ツール
……◎青山裕介（九工大）・黒岩丈瑠（九工大 / 三菱）・久代紀之（九工大）

[行動分析]
9 月 15 日（火）9:30 ～ 12:00　　1Q 会場（共通教育講義棟 4 階 講 45）　　座長　渡部　智樹（NTT）

O-047　複数センサを利用した移動状態の推定手法に関する検討
……◎吉田慶介・小栗悠生（電機大）・松野省吾（電通大）・大山　実（電機大）
O-048　モバイル端末を用いた屋内外判定法の検討
……◎尾崎勝義・田中幹衡・吉田慶介（電機大）・松野省吾（電通大）・大山　実（電機大）
RO-015　ウェアラブルセンサ「ビジネス顕微鏡」を用いた展示施設における顧客満足度に関連する顧客行動分析
……○佐藤信夫・淺原彰規（日立）
RO-016　マーケティング活用に向けた人流計測データ分析手法 ……○辻　聡美・淺原彰規・野宮正嗣（日立）
O-049　唐突な動作と大きな音によるオフィスでのイライラ状態の推定
……◎張　志華・高岡伸明・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
RO-017　日常生活を想定した輝度分布センサによる家庭内行動の視覚化 ……◎高岡伸明・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
RO-018　おもてなしのための足取りベクトルによる顧客の状態推定 ……◎植村喜弘・梶原祐輔・島川博光（立命館大）

[教育支援システム]
9 月 15 日（火）13:00 ～ 15:00　　2Q 会場（共通教育講義棟 4 階 講 45）　　座長　大場　みち子（はこだて未来大）

RO-019　採点ミス発見支援システムの開発 : ～部分点と採点記号の認識を用いた採点ミス発見手法～
……◎西川雅清・松尾賢一（奈良高専）
RO-020　オンライン授業のコンテンツ開発とそのプラットフォーム
…… ○児玉晴男（放送大 / 総研大）・鈴木一史・柳沼良知（放送大）
O-050　実顧客対応の PBL を行う学生チームへの教育支援……○山戸昭三（愛媛大）
O-051　剽窃レポートの検出システムの提案 ……◎森　祐貴・吉田博哉（神戸情報大）
O-052　ニートの予兆が見られる学生の意志力向上を図る手法の提案
……◎松下慎一郎・中西　惇・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
O-053　（講演取消）

[生活支援システム・嗜好推定]
9 月 15 日（火）15:30 ～ 17:30　　3Q 会場（共通教育講義棟 4 階 講 45）　　座長　小舘　亮之（津田塾大）

RO-021　家電製品遠隔制御を用いた複合起床支援システムの開発
……◎金子将之・有馬一貴・村上隆史・杉村　博・一色正男（神奈川工科大）
O-054　ユーザが受容するサービスの学習による漸次的嗜好推定
……◎中田慎一・竜田　力・植村善弘・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
O-055　（講演取消）
O-056　学習によりデータベース化した目標照度および点灯パターンの組み合わせを用いて光度制御する知的照明システム
……◎上南遼平・三木光範・寺井大地・川田直毅・間　博人（同志社大）
O-057　状況に応じた ToDo リストサポートシステムの提案
……◎田中幹衡・吉田慶介（電機大）・松野省吾（電通大）・大山　実（電機大）

[農業・文化]
9 月 16 日（水）9:30 ～ 12:00　　4Q 会場（共通教育講義棟 4 階 講 45）　　座長　丸山　文宏（富士通研）

O-058　農作業実施のルール抽出による作物栽培支援 ……◎中西　惇・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
O-059　知識の取得と実問題への適応の比較を用いた農作業における理解度推定
……◎仁井内淳・島吉翔太・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
O-060　遺伝的アルゴリズムを用いた短角牛の種牛割り当て支援手法の設計
…… ○山田敬三・高木正則・佐々木淳（岩手県大）・星　遼平（筑波大）
O-061　深度情報を利用した害獣の自動計数システムの開発 …… ○北原　司・中井一文・山本陽祐・木村佳嗣・江崎修央（鳥羽商船高専）・山端直人（三重県農業研）
O-062　弁証法論理の構造と中川の「6 箱方式」……○高原利生（所属なし）
O-063　２大モデルによるマルチ・トリレンマ艦戒 (緩解) の研究……○沢　恒雄（遊工学研）
O-064　「世界日本学」の提案……○沢　恒雄（遊工学研）

※ このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2015 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

FIT2015　第 14 回情報科学技術フォーラム　論文査読者一覧

青木　義満（慶大）
赤倉　貴子（東理大）
淺香　俊治
　（ルネサスシステムデザイン）
阿部　昭博（岩手県大）
天野　英晴（慶大）
安東　孝二（mokha）
飯尾　　淳（中大）
飯塚　重善（神奈川大）
伊沢　亮一（NICT）
石井健太郎（大阪工大）
石井　大祐（富士通研）
石井　　亮（NTT）
石橋　勇人（大阪市大）
井島　勇祐（NTT）
泉　　泰介（名工大）
泉　　朋子（立命館大）
五十川麻理子（NTT）
板井　志郎（早大）
市瀬龍太郎（NII）
市野　将嗣（電通大）
一藤　　裕
　（情報・システム研究機構）
稲垣　陽一（きざしカンパニー）
稲積　泰宏（富山大）
稲葉　通将（広島市大）
稲葉利江子（津田塾大）
上椙　英之（神戸学院大）
上原哲太郎（立命館大）
宇田川佳久（東京工芸大）
内種　岳詞（理研）
鵜木　祐史（北陸先端大）
江崎　和博（法大）
大石　和臣（静岡理工科大）
大川　　猛（宇都宮大）
大下　福仁（阪大）
大島　直樹（電機大）
大囿　忠親（名工大）
太田　唯子（富士通研）
大竹　哲史（大分大）
大西　正輝（産総研）
大場みち子（はこだて未来大）
岡崎　泰久（佐賀大）
岡田　将吾（東工大）
岡本　秀輔（成蹊大）
岡本　昌之（東芝）
岡本　　学（NTT）
岡本　吉央（電通大）
小川　浩平（阪大）
荻野　紫穂（武蔵大）
小澤　史朗（NTT）
越智　洋司（近畿大）
落合　純一（産総研）
小野　智司（鹿児島大）
小野　峻佑（東工大）
柿崎　淑郎（電機大）
篭谷　隆弘（仁愛大）
梶原　誠司（九工大）
柏崎　礼生（阪大）
片岡　信弘（元東海大）
片上　大輔（東京工芸大）
加藤　晴久（KDDI 研）
金岡　　晃（東邦大）
金子　晴彦（東工大）
兼宗　　進（大阪電通大）
川原　　純（奈良先端大）
川村　隆浩（東芝）
菊池　浩明（明大）
岸田　和明（慶大）
喜田　拓也（北大）
北神　正人（千葉大）
木村　　敦（電機大）
清河　幸子（名大）
久我　守弘（熊本大）
国井　裕樹（セコム）
國宗　永佳（信州大）
久保田　彰（中大）
栗原　　淳（KDDI 研）
桑原　和宏（立命館大）
小出　哲士（広島大）
黄　　宏軒（立命館大）
河野英太郎（広島市大）
古賀　久志（電通大）
小尻　智子（関西大）
後藤田　中（香川大）
小西　達裕（静岡大）
小林　一樹（信州大）
小林　　稔（明大）
子安　大士（農工大）
阪上　大地（コルグ）
佐藤　鮎美（京大）
三功　浩嗣（KDDI 研）
篠田　一馬（宇都宮大）
生源寺　類（静岡大）
白石　善明（神戸大）
神納　貴生（豊橋技科大）
須川　賢洋（新潟大）
杉本　麻樹（慶大）
鈴木　栄幸（茨城大）
数原　良彦（リクルート）
清　　雄一（電通大）
曾　　剛（名大）
高橋　尚子（國學院大）
鷹岡　　亮（山口大）
高崎　光浩（佐賀大）
高嶋　和毅（東北大）
高橋　桂太（名大）
刀川　　眞（室蘭工大）
立岩佑一郎（名工大）
田仲　正弘（NICT）
田辺　浩介（物材研）
谷　　尭尚（筑波大）
谷川　一哉（広島市大）
谷本　茂明（千葉工大）
塚田　晃司（和歌山大）
辻　　順平（産総研）
唐　　光明（京大）
東本　崇仁（東京工芸大）
戸田　賢二（産総研）
冨澤　眞樹（前橋工科大）
中里　純二（NICT）
中島　　悠（東邦大）
中西　英之（阪大）
中野　浩嗣（広島大）
長原　　一（九大）
中村　一博（日本工大）
中村　勝一（福島大）
中村　裕一（京大）
永森　光晴（筑波大）
新見　道治（九工大）
西　　宏之（崇城大）
西尾　典洋（目白大）
野本　昌子（ヤフー）
橋本　正樹（情報セキュリティ大）
長谷川　忍（北陸先端大）
畑田　充弘
　（NTT コミュニケーションズ）
畑山　満則（京大）
服部　宏充（立命館大）
羽生　貴弘（東北大）
林部　祐太（京大）
坂東　幸浩（NTT）
平山　勝敏（神戸大）
深田　秀実（小樽商科大）
深山　　覚（産総研）
福島　和英（KDDI 研）
福田　直樹（静岡大）
福田　洋治（愛知教育大）
福永　拓郎（NII）
福永　昌勉（ソシオネクスト）
福原　知宏（マルティスープ）
福本　　聡（首都大）
藤尾　正和（日立）
藤田　桂英（農工大）
藤田　　茂（千葉工大）
藤原　　健（大阪経済大）
松原　繁夫（京大）
松原　行宏（広島市大）
松本　直人
　（さくらインターネット）
真部　雄介（千葉工大）
丸山　　広（青学大）

光原　弘幸（徳島大）
峯　　恒憲（九大）
宮川　　勲（NTT）
三宅　　優（KDDI 研）
宮崎　慎也（中京大）
宮田　一乗（北陸先端大）
村山　　綾（関西学院大）
茂木　　学（NTT）
茂出木敏雄（大日本印刷）
森　　達哉（早大）
森本　容介（放送大）
森山　甲一（阪大）
矢島　彩子（富士通）
山内　利宏（岡山大）
八槇　博史（電機大）
山口　佳樹（筑波大）
山崎　俊彦（東大）
山田　一郎（NHK 放送技研）
山之上　卓（福山大）
山本　岳洋（京大）
山本　知仁（金沢工大）
山元　規靖（福岡工大）
横山ひとみ（農工大）
吉田　和幸（大分大）
吉永　　努（電通大）
若原　俊彦（福岡工大）
渡辺　健次（広島大）
渡辺　　大（日立）
渡邊　誠也（岡山大）
渡辺　昌洋（NTT）

他　3 名

以上　計 191 名　（50 音順・敬称略）

IPSJ ：情報処理学会
ISS ：電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ
HCG ：電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ

FIT 委員名簿

FIT 運営委員会

IPSJ 委員長	徳田英幸（慶應）
ISS 副委員長	坂井修一（東大）
IPSJ 委員	大場みち子（公立はこだて未来大），片寄晴弘（関西学院大），清木康（慶大），小林稔（明大），住田一男（東芝），前田章（日立製作所）
ISS 委員	秋山達勇（NEC），天野英晴（慶大），境田慎一（NHK），佐藤敦（NEC），谷口行信（東京理科大），美濃導彦（京大），山崎俊彦（東大）
HCG 委員	新井田統（KDDI 研），井原雅行（NTT）
実行委員長	住田一男（東芝 /FIT2015），天野英晴（慶大 /FIT2016）
プログラム委員長	佐藤敦（NEC/FIT2015）

FIT2015 実行委員会

委 員 長	住田一男（東芝）
幹　　事	谷口行信（東京理科大 /ISS）
会計幹事	市岡怜也（三菱電機 /ISS），大場みち子（公立はこだて未来大 /IPSJ）
IPSJ 委員	尾崎友哉（日立），柿崎淑郎（電機大），小林稔（明大），小町守（首都大），小松文子（IPA），西崎真也（東京工大），保木邦仁（電通大），森本康彦（学芸大），横川三津夫（神戸大）
ISS 委員	北山大輔（工学院大），小林優佳（東芝），境田慎一（NHK），佐藤敦（NEC），仙田修司（NEC），薗田光太郎（長崎大），中村和浩（秋田県立脳血研），宮田高道（千葉工大），吉見真聡（電通大）
委員（現地）	黒田久泰（愛媛大），小林真也（愛媛大）

FIT2015 プログラム委員会

委 員 長	佐藤敦（NEC）
幹　　事	境田慎一（NHK）
IPSJ 委員	大石岳史（東大 /IPSJ），亀岡弘和（東大 /IPSJ），川村春美（NTT/IPSJ），清原良三（神奈川工科大 /IPSJ），蔵川圭（NII/IPSJ），曾剛（名大 /IPSJ），並木美太郎（農工大 /IPSJ），原田要之助（情報セキュリティ大 /IPSJ）
ISS 委員	飯島正（慶大 /ISS），亀井清華（広島大 /ISS），神原裕行（東京工大 /ISS），菅原俊治（早大 /ISS），高倉弘喜（名大 /ISS），谷口行信（東京理科大 /ISS），野田五十樹（産総研 /ISS）
HCG 委員	小澤史朗（NTT/HCG），田中貴紘（名大 /HCG）

FIT2015 現地実行委員会

委 員 長	小林真也（愛媛大）
副委員長	高橋寛（愛媛大）
幹　　事	黒田久泰（愛媛大）
委　　員	一色正晴（愛媛大），稲元勉（愛媛大），宇戸寿幸（愛媛大），遠藤慶一（愛媛大），王森岭（愛媛大），岡野大（愛媛大），甲斐博（愛媛大），木下浩二（愛媛大），樋上喜信（愛媛大），二宮崇（愛媛大），柳原圭雄（愛媛大）

FIT2015 研究会担当委員

IPSJ 委員	阿倍博信（三菱電機），天笠俊之（筑波大），浦川順平（KDDI 研），大石岳史（東大），岡本吉央（電通大），尾崎友哉（日立），柿崎淑郎（電機大），亀岡弘和（東大），川村春美（NTT），北村操代（三菱電機），未代誠仁（桜美林大），吉瀬謙二（東京工大），清原良三（神奈川工科大），蔵川圭（NII），栗原聡（電通大），栗原恒弥（日立），河野健二（慶大），小町守（首都大），小松孝徳（明大），佐藤聡（筑波大），佐藤幸紀（東京工大），櫻井保志（熊大），関嶋政和（東工大），曾剛（名大），高田敏弘（NTT），但馬康宏（岡山県立大），立石孝彰（日本 IBM），中鉢直宏（島根大），中澤仁（慶大），西崎真也（東京工大），野嶋琢也（電通大），野呂正明（富士通研），原田要之助（情報セキュリティ大），保木邦仁（電通大），南和宏（統数研），森本康彦（東京学芸大），横川三津夫（神戸大），李晃伸（名工大）
ISS 委員	天野英晴（慶大），飯島正（慶大），磯和之（NTT），岩田具治（NTT），岩野公司（都市大），亀井清華（広島大），神原裕行（東京工大），北山大輔（工学院大），小尻智子（関西大），小舘亮之（津田塾大），小林隆志（東京工大），小林優佳（東芝），榊剛史（東大），仙田修司（NEC），薗田光太郎（長崎大），菅原俊治（早大），勝康夫（日立），高倉弘喜（名大），中村和浩（秋田県立脳血研），野田五十樹（産総研），平野靖（山口大），細野繁（日本電気），丸山文宏（富士通研），宮田高道（千葉工大），三好健文（イーツリーズ・ジャパン），吉野孝（和歌山大），吉見真聡（電通大）
HCG 委員	薄井智貴（名大），小澤史朗（NTT），田中貴紘（名大），布川清彦（東京国際大），水科晴樹（徳島大）

この度の FIT 開催にあたりましては、愛媛大学様よりキャンパスを会場としてご提供頂き誠にありがとうございました。ここに厚くお礼申し上げます。

FIT 運営委員会